



# LinkCube デスクトップ ユーザーガイド

2025 年 4 月 14 日 第 1 版発行

▶ Copyright© 2013-2025 LinkCube.LLC All Rights Reserved.

本ユーザーガイドの内容はすべて、著作権法によって保護されています。

当社の許諾を得ることなく、複写、複製、転載、頒布等の二次利用を禁止します。また、内容を変形、変更、加筆修正等を行うことも同様に禁止いたします。

▶ 登録商標について

Adobe および InDesign は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。

Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Macintosh、Mac OS は Apple Inc. の登録商標です。

その他、製品名は一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。

# 第 1 章

## LinkCube デスクトップ の基本

組版データの用意、テンプレートの用意、組版実行といった全体の流れを解説します。



LinkCube

# サンプルを試そう

## サンプルをダウンロードする

[https://link-cube.net/cloud/lc\\_desktop](https://link-cube.net/cloud/lc_desktop) からサンプルをダウンロードできます。

ダウンロードした zip ファイルをデスクトップに解凍します。

詳しくは、解凍したフォルダ内のサンプル説明 .pdf をご覧ください。

ファイルメニュー→開く、で任意のサンプルの xml ファイルを開きます。

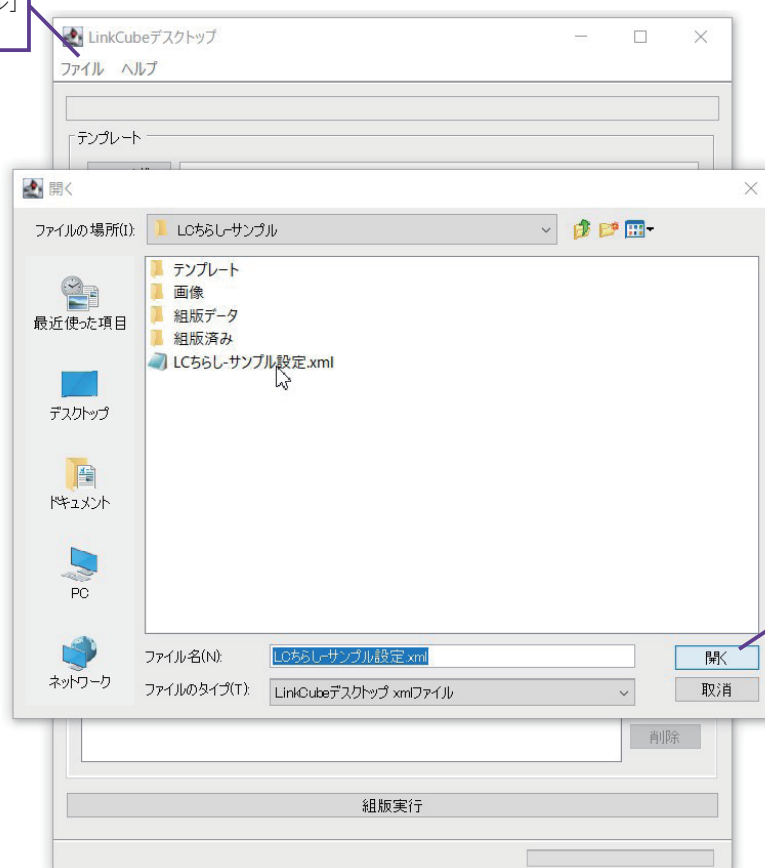
組版実行ボタンをクリックで、組版結果フォルダに組版結果が作成されます。

組版結果やテンプレート、組版データを開き、どのように作られているか確認する事ができます。

サンプルの組版データやテンプレートを修正し、再度組版実行すれば色々試すことができます。

## サンプルを試すには

①メニューの「ファイル」  
「開く」をクリック



②設定ファイルを選択し、  
「開く」をクリック

## 組版用テキストデータを作ろう

### 流し込むデータ（エクセル・テキストファイル）を用意する

流し込むテキストデータの文字コードが Shift-JIS の場合、拡張子を csv にして、項目間の区切り文字をカンマ (,) にします。

流し込むテキストデータの文字コードが UTF-16LE の場合、拡張子を txt にして、項目間の区切り文字をタブにします。

流し込むテキストデータの文字コードが UTF-8 の場合、拡張子を tsv にして、項目間の区切り文字をタブにします。

流し込むデータの先頭行（ヘッダー行）は、必ず項目名にして、項目名は重複しないようにします。

また、データ中にインデザインタグを入力する事も可能です。

例えば、途中で文字サイズを 32 級に変更するには

オークラホテルズ < フォントサイズ :32Q> ホテルイースト 21 東京

と入力します。詳しくは、セクション 9 「インデザインタグとリンクキューブ拡張タグを使おう」を参照してください。

「<」、「>」、「¥(バックスラッシュ : 005C)」を組版する場合、インデザインタグと識別するためエスケープする必要があります。「<」は「¥<」、「>」は「¥>」、「¥」は「¥¥」と入力してください。



### エクセル、Google スプレッドシート、データベース

csv ファイルは、エクセル、Google スプレッドシート、データベースなどで簡単に作成できます。

txt ファイルは、エクセル、データベースなどで簡単に作成できます。

tsv ファイルは、Google スプレッドシート、データベースなどで簡単に作成できます。

ここではエクセルと Google スプレッドシートを例にします。データベースで作成する場合は、各種データベースのユーザーガイドやヘルプを参考にしてください。

### 画像、動画、音声のデータ入力方法

画像、動画、音声を配置する場合は、ファイルのフルパスが必要になります。

例えば、社内ネットワークのパスや、ローカルディスクのパスになります。

/Volumes/Public/ 画像 /LC 金沢店 / アリエール .eps

Windows 版 InDesign を使用する場合は、/ を ¥(バックスラッシュ : 005C) に置き換えても画像を配置しますが、エスケープする必要があります。

Z:¥¥Volumes¥¥Public¥¥ 画像 ¥¥LC 金沢店 ¥¥ アリエール .eps

ファイルのフルパスを作成する方法は3つです。

1 つめは、組版テキストデータにフルパスで入力します。

2 つめは、組版テキストデータにファイル名のみ入力し、組版設定の付加文字で、フォルダパスや拡張子を追加します。詳しくは、セクション 27 「文字を付加しよう」をご覧ください。

3 つめは、組版テキストデータにファイル名のみ入力し、テンプレートに配置してある画像のフォルダパスや拡張子を使用します。

### スニペットファイルのデータ入力方法

画像をフレームに配置するように、スニペットをフレームに配置する場合は、ファイル名のみ入力します。

例えば、「商品紹介 .idms」となります。

スニペットファイルは、テンプレートがあるフォルダに入れてください。

### エクセルファイルや csv、txt、tsv ファイルを表組にする入力方法

エクセルシートを表組として配置する場合は、エクセルファイル名 | シート名と入力します。フルパスでは

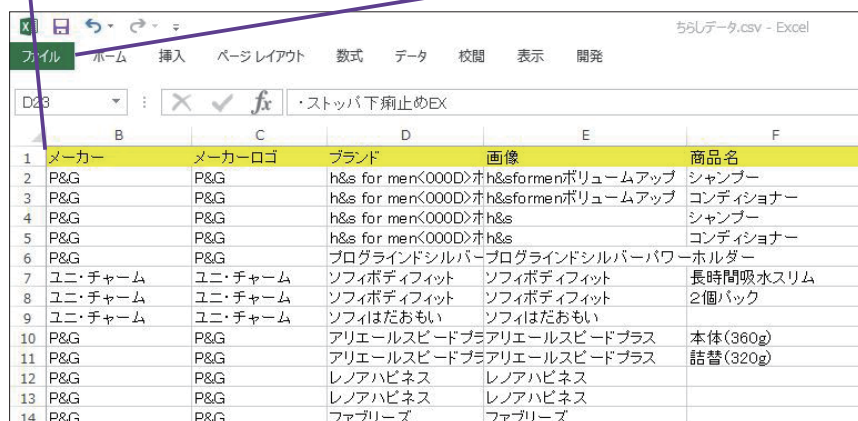
ありません。ファイル名とシート名のみです。例えば、「料金表.xlsx|5-6月」となります。区切り記号「|」以降のシート名は省略可能です。省略時は最初のシートを使用します。入力例は、セクション 18「表組を組版しよう（エクセルファイル）」をご覧ください。

csv、txt、tsv ファイルを表組として配置する場合は、ファイル名のみ入力します。例えば、「料金表.csv」となります。入力例は、セクション 19「表組を組版しよう（csv、txt、tsv ファイル）」をご覧ください。表組にしたいエクセルファイルや csv、txt、tsv ファイルは、組版データと同一フォルダに入れてください。また、セル文字内にインデザインタグを入力する事もできます。

## csv ファイルを作るには

① 1 行目は項目名

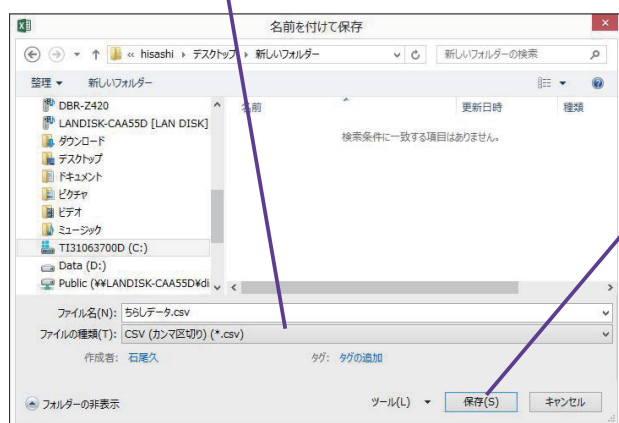
② エクセルメニューの [ファイル] [名前を付けて保存] をクリック



	B	C	D	E	F
1	メーカー	メーカーロゴ	ブランド	画像	商品名
2	P&G	P&G	h&s for men<000D>ホh&sformen	ボリュームアップ	シャンプー
3	P&G	P&G	h&s for men<000D>ホh&sformen	ボリュームアップ	コンディショナー
4	P&G	P&G	h&s for men<000D>ホh&s		シャンプー
5	P&G	P&G	h&s for men<000D>ホh&s		コンディショナー
6	P&G	P&G	プログラインドシルバ	プログラインドシルバ	パワーホルダー
7	ユニ・チャーム	ユニ・チャーム	ソフィボディフィット	ソフィボディフィット	長時間吸水スリム
8	ユニ・チャーム	ユニ・チャーム	ソフィボディフィット	ソフィボディフィット	2個パック
9	ユニ・チャーム	ユニ・チャーム	ソフィはだおもい	ソフィはだおもい	
10	P&G	P&G	アリエールスピードブラ	アリエールスピードプラス	本体(360g)
11	P&G	P&G	アリエールスピードブラ	アリエールスピードプラス	詰替(320g)
12	P&G	P&G	レノアハビネス	レノアハビネス	
13	P&G	P&G	レノアハビネス	レノアハビネス	
14	P&G	P&G	ファブリーズ	ファブリーズ	

① ファイルの種類で、CSV（カンマ区切り）（\*.csv）を選択

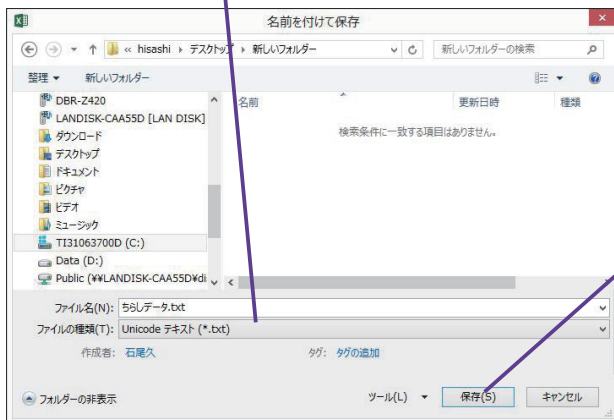
② [保存] をクリック



## txt ファイルを作るには

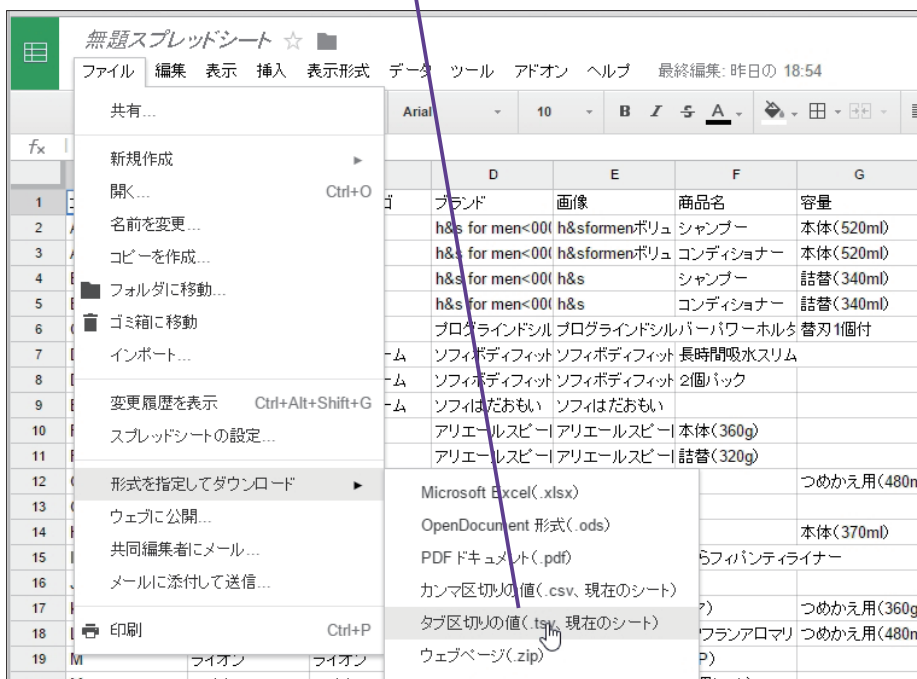
- 1 ファイルの種類で、Unicode テキスト (\*.txt) を選択

- 2 [保存] をクリック



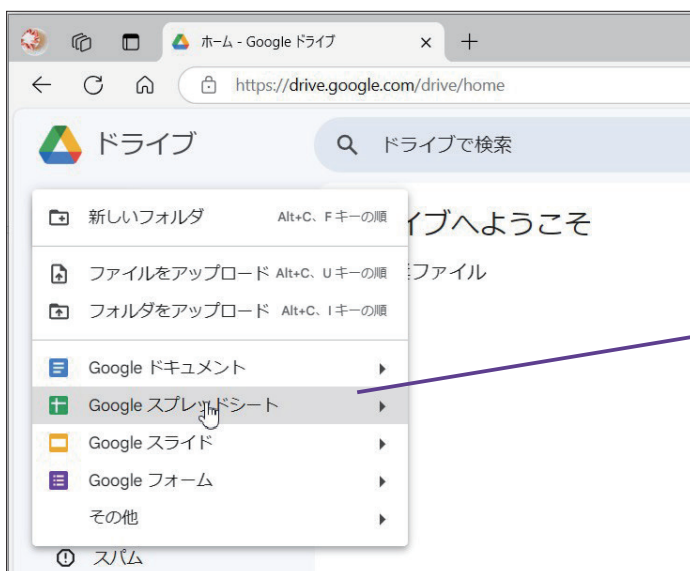
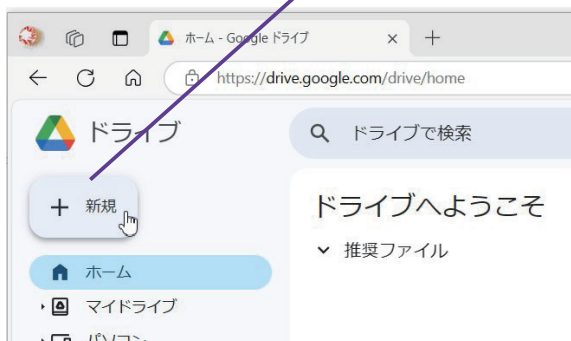
## tsv ファイルを作るには

- 1 Google スプレッドシートメニューの [ファイル] [形式を指定してダウンロード] [タブ区切りの値 (.tsv、現在のシート)] をクリック



## Google スプレッドシートを作るには

① Google ドライブ内の新規ボタンをクリック



① Google スプレッドシートをクリック

# テンプレートを作ろう

## InDesign の標準機能で作成する

テンプレートとして使用できるファイル形式は、InDesign スニペットファイル（拡張子、idms）と、InDesign IDML ファイル（拡張子、idml）です。InDesign テンプレートファイル（拡張子、indt）は使用できません。InDesign の標準機能で、テンプレートを作成します。既存の InDesign ファイルでも構いません。レイアウトが決定すれば、テンプレート作成作業は、8～9割完成です。残りの作業は、流し込みを行いたい箇所に、スタイルを付けます。文字、オブジェクト、表組にスタイルを適用する場合、普段使っているやりやすい方法で、スタイルを適用してください。（先にスタイルを作ったり、既に別のスタイル適用されている場合、基準スタイルを指定してスタイルを作るなど）

 **スタイルグループ内にスタイルがあるか確認**

作成したスタイルが、[データ接続] スタイルグループ内に正しく作成されているか、スタイルグループを展開、折りたたみ表示して確かめてください。

## 文字を組版する（段落・文字スタイルを使用）

文字を流し込みたい場合は、段落スタイル、または文字スタイルに「**データ接続**」スタイルグループを作成します。流し込みたい文字範囲（**必ず選択する文字が必要**）を選択後、作成した「データ接続」スタイルグループを選択します。段落スタイル、または文字スタイルパネルで新規スタイルを作成します。スタイル名は、流し込みたい組版用テキストデータ項目名と同じにします。

## 画像、動画、音声ファイルを配置する（オブジェクトスタイルを使用）

画像、動画、音声ファイルを配置したい場合は、オブジェクトスタイルに「**データ接続**」スタイルグループを作成します。配置したいフレームを選択後、作成した「データ接続」スタイルグループを選択します。オブジェクトスタイルパネルで新規スタイルを作成します。スタイル名は、配置したい組版用テキストデータ項目名と同じにします。

## 表組を組版する（表スタイルを使用）

データ行に応じて、表組行が変動する組版を行いたい場合、2つの方法があります。

1 つめの方法は、エクセルシート、csv、txt、tsv ファイルイメージのまま、表組にする方法です。用意するデータは、組版データ（csv、txt、tsv、xls、xlsx、xlsm）と、表組データ（xls、xlsx、xlsm、csv、txt、tsv）の2つです。テンプレートは、表スタイルの「**データ接続**」スタイルグループ内に、配置したい組版用テキストデータ項目名のスタイルを作成し、表組に適用します。例えば、データ接続／価格表となります。詳しくは、セクション 18「表組を組版しよう（エクセルファイル）」、19「表組を組版しよう（csv、txt、tsv ファイル）」をご覧ください。

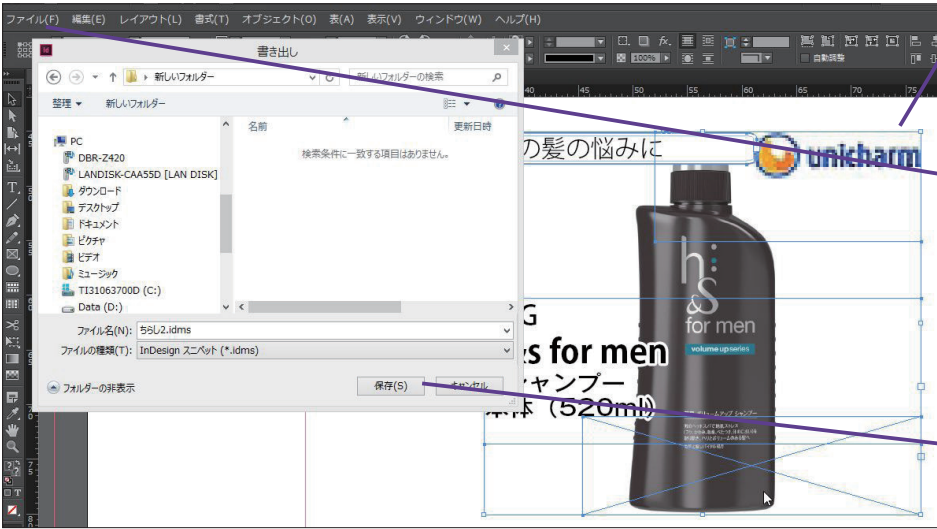
2 つめの方法は、組版データ（csv、txt、tsv、xls、xlsx、xlsm）の必要な項目のみ、セル内の文字やオブジェクトに関連付けて表組にする方法です。用意するデータは、組版データのみです。ただし、組版データに「コマコード」項目が必要になります。1 つの表組にしたいデータ行を、同じコマコード値にします。テンプレートは、表スタイルの「**データエリア**」スタイルグループ内に「**増減行**」スタイルを作成し、表組に適用します。「増減行」スタイルを適用した表組は、テンプレートにある本文行を繰り返します。例えば、テンプレートの本文行が 3 行あり、組版データが 2 行だと、本文行は 6 行になります。詳しくは、セクション 21「複数データ行を表組にしよう（増減行）」をご覧ください。

## idms ファイルを作るには

- ① [データ接続] グループ内のスタイルを適用



- ① テンプレートにしたい  
オブジェクトを選択

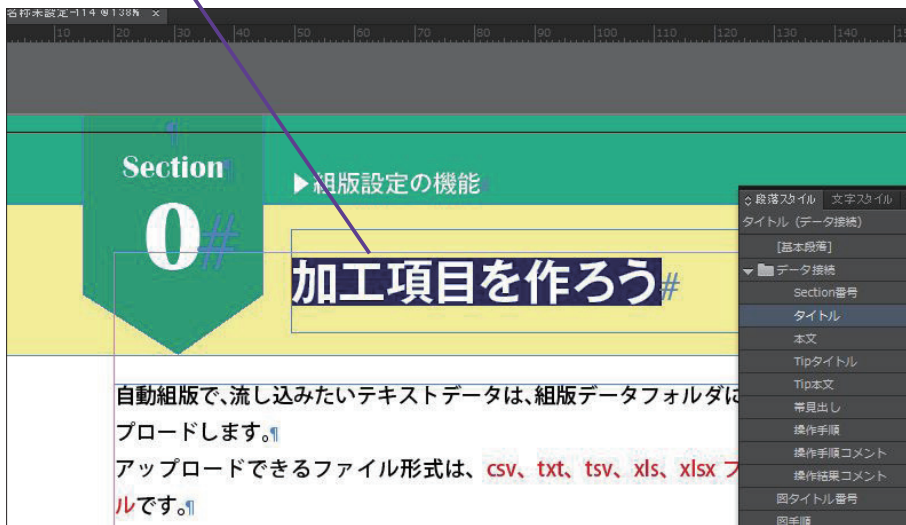


- ②メニューの「ファイル」  
「書き出し」をクリック

- ③ ファイルの種類で、InDesign スニペット (\*.idms) を選択し、  
[保存] をクリック

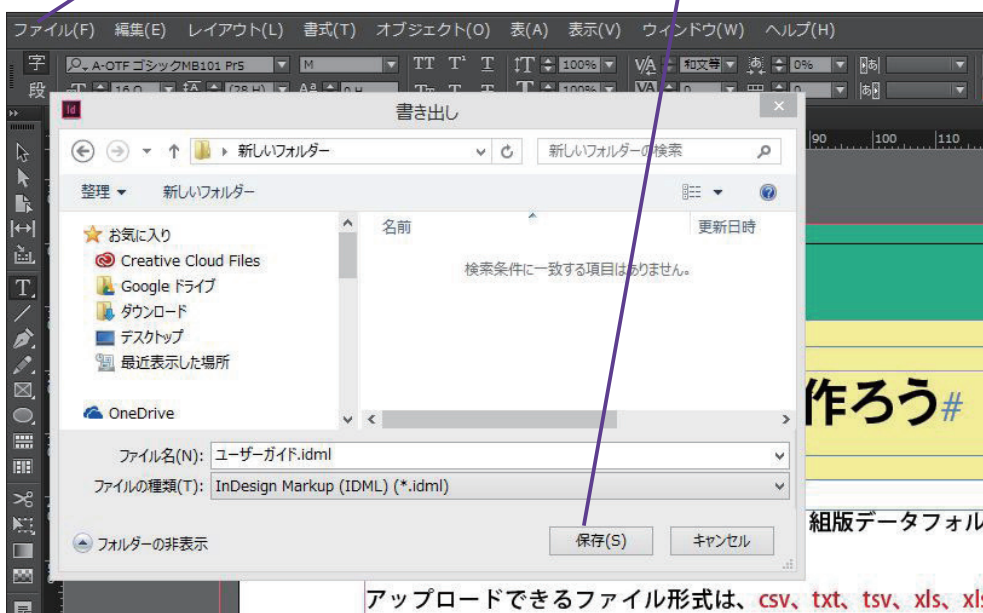
## idml ファイルを作るには

- ① [データ接続] グループ内のスタイルを適用



- ① メニューの [ファイル] [書き出し] をクリック

- ② ファイルの種類で、InDesign Markup (IDML) (\*.idml) を選択し、[保存] をクリック



## 自動組版しよう

### テンプレートと組版データがあれば自動組版できる

自動組版するには、テンプレートと組版データ、組版結果の保存先が必要です。組版設定はなくても大丈夫です。

### 組版用データは、同一フォルダで管理する

自動組版で流し込みたいデータは、全て同じフォルダに入れます。

組版できるファイル形式は、csv、txt、tsv、xls、xlsx、xlsm ファイルです。

組版データの \* (ワイルドカード、\*.csv・\*.txt・\*.tsv) を選択したときは、フォルダ内の拡張子が一致したファイルを一括実行します。例えば、フォルダにデータ 1.csv、データ 2.csv があり、[\* .csv] を選択すると、データ 1.csv、データ 2.csv を一括で実行します。

組版データに \* (ワイルドカード) を使って、任意のファイル名をマッチさせて使用することもできます。例えば、フォルダにデータ .csv、データ 1.csv、データ 2.csv、サンプル.csv があり、[データ \*.csv] と入力すると、データ .csv、データ 1.csv、データ 2.csv だけを一括で実行します。

組版データにエクセル (xls、xlsx、xlsm ファイル) を選択した場合は、組版データとして使用するシート名を選択してください。

ヘッダー行は、組版データのヘッダー行のある行位置を指定します。

組版データの範囲指定は、なにも入力しなければ、組版データ行すべてを組版します。

3-5 と入力すれば、3～5 行目を組版します (3 行目から 5 行分ではない)。その他の例として、カンマで区切ったり、ハイフンで終わらせます。

10- (10 行目以降)

1-5,11-16 (1～5 行目、11～16 行目)

1-3,10,15 (1～3 行目、10 行目、15 行目)

### テンプレートは、同一フォルダで管理する

テンプレートファイルは、全て同じフォルダに入れます。

使用できるファイル形式は、InDesign スニペットファイル (拡張子、ids) と、InDesign IDML ファイル (拡張子、idml) です。InDesign テンプレートファイル (拡張子、indt) は、使用できません。

### 組版結果の保存先フォルダと保存名を決定する

保存名は、なにも入力しなければ、「名称未設定 - 連番 4 桁」となります。

組版データの項目値を保存名にする場合は、組版データの項目リストから追加できます。

保存名に任意の文字も入力できます。例えば任意の文字 (LC カタログ-) と、項目値 [ホテル名] を組み合わせ

LC カタログ-[ホテル名] とすれば、保存名は

LC カタログ-横浜ホテル となります。

保存名が重複した場合は、保存名の後に「\_連番 4桁」を付けます。

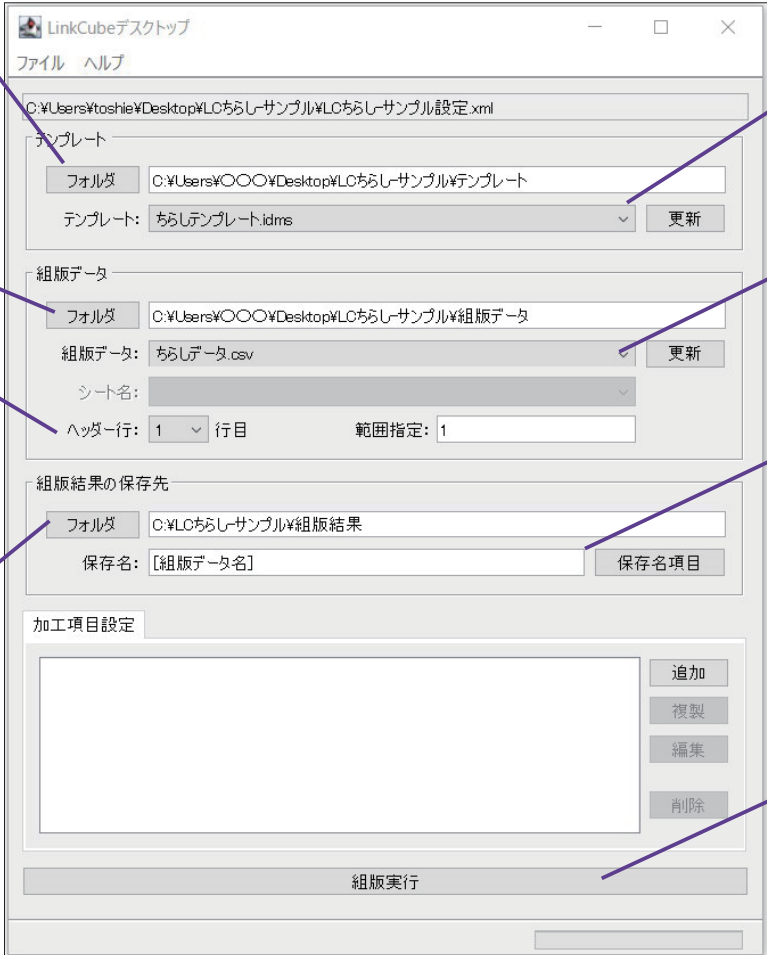
保存名の最長は、80文字です。また、保存名に使用できない文字は、アンダーバーに置き換えます。

ワイルドカード使用時は、保存名に必ず「組版データ名」を指定してください。

## 自動組版するには

### **ファイル追加・削除後は更新ボタンをクリック**

テンプレートフォルダ、組版データフォルダにファイルを追加、削除したときは、[更新ボタン] をクリックすると最新の状態に更新されます。











The screenshot shows the LinkCube Desktop application window with the following fields and buttons:

- テンプレート (Template):** フォルダ (Folder) and テンプレート (Template) fields with an 更新 (Update) button.
- 組版データ (Layout Data):** フォルダ (Folder), 組版データ (Layout Data), シート名 (Sheet Name), and ヘッダー行 (Header Row) fields with an 更新 (Update) button.
- 組版結果の保存先 (Layout Result Save Location):** フォルダ (Folder) and 保存名 (Save Name) fields with a 保存名項目 (Save Name Item) button.
- 加工項目設定 (Processing Item Settings):** A list area with buttons for 追加 (Add), 複製 (Copy), 編集 (Edit), and 削除 (Delete).
- 組版実行 (Layout Execution):** A large button at the bottom.

Numbered callouts (1-8) point to specific elements:

- 1 組版に必要なテンプレートファイルがあるフォルダを選択 (Select the folder containing the template files needed for layout)
- 2 テンプレートファイルを選択 (Select the template file)
- 3 組版に必要な組版データがあるフォルダを選択 (Select the folder containing the layout data needed for layout)
- 4 組版データを選択  
エクセルの場合は、シート名も選択 (Select the layout data  
In the case of Excel, also select the sheet name)
- 5 ヘッダー行の位置を選択 (Select the position of the header row)
- 6 組版結果の保存先フォルダを選択 (Select the folder where the layout result will be saved)
- 7 保存名に、任意の文字を入力したり、保存名項目ボタンから組版データ項目を選択 (Enter arbitrary text in the save name or select the layout data item from the save name item button)
- 8 [組版実行] をクリック (Click [Layout Execution])

## 自動組版結果

名前	更新日時	種類	サイズ
 A-0001.idms	2025/03/03 16:27	InDesign Markup S...	133 KB
 B-0002.idms	2025/03/03 16:27	InDesign Markup S...	187 KB
 C-0003.idms	2025/03/03 16:27	InDesign Markup S...	137 KB
 D-0004.idms	2025/03/03 16:27	InDesign Markup S...	187 KB
 E-0005.idms	2025/03/03 16:27	InDesign Markup S...	132 KB
 F-0006.idms	2025/03/03 16:27	InDesign Markup S...	187 KB
 G-0007.idms	2025/03/03 16:27	InDesign Markup S...	153 KB
 H-0008.idms	2025/03/03 16:27	InDesign Markup S...	119 KB
 I-0009.idms	2025/03/03 16:27	InDesign Markup S...	119 KB
 J-0010.idms	2025/03/03 16:27	InDesign Markup S...	132 KB
 K-0011.idms	2025/03/03 16:27	InDesign Markup S...	119 KB
 L-0012.idms	2025/03/03 16:27	InDesign Markup S...	119 KB
 M-0013.idms	2025/03/03 16:27	InDesign Markup S...	133 KB
 N-0014.idms	2025/03/03 16:27	InDesign Markup S...	114 KB
 O-0015.idms	2025/03/03 16:27	InDesign Markup S...	119 KB

## 設定した内容を保存しよう

### 設定内容の保存し管理する

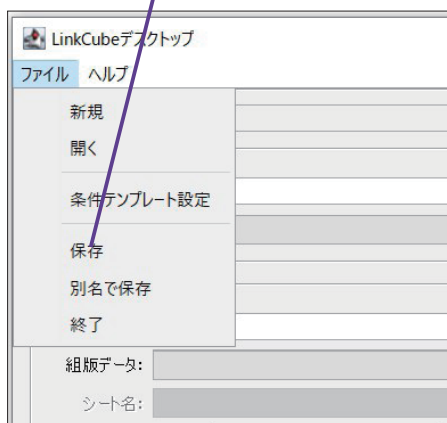
現在の設定内容を xml ファイルで保存することができます。

保存した xml ファイルを開くには、「ファイル」メニューから「開く」し、xml ファイルを選択するか、画面上部の xml ファイル表示領域にドラッグ&ドロップしてください。

そのほか、「ファイル」メニューの「新規」は設定内容をクリアします。「別名で保存」は設定内容を別名で保存します。

### 設定内容を保存するには

- ① メニューの「ファイル」  
「保存」をクリック



## 自動組版しよう

### テンプレートと組版データがあれば自動組版できる

自動組版するには、テンプレートと組版データ、組版結果の保存先が必要です。組版設定はなくても大丈夫です。

### 組版用データは、同一フォルダで管理する

自動組版で流し込みたいデータは、全て同じフォルダに入れます。

組版できるファイル形式は、csv、txt、tsv、xls、xlsx、xlsm ファイルです。

組版データの \* (ワイルドカード、\*.csv・\*.txt・\*.tsv) を選択したときは、フォルダ内の拡張子が一致したファイルを一括実行します。例えば、フォルダにデータ 1.csv、データ 2.csv があり、[\* .csv] を選択すると、データ 1.csv、データ 2.csv を一括で実行します。

組版データに \* (ワイルドカード) を使って、任意のファイル名をマッチさせて使用することもできます。例えば、フォルダにデータ .csv、データ 1.csv、データ 2.csv、サンプル.csv があり、[データ \*.csv] と入力すると、データ .csv、データ 1.csv、データ 2.csv だけを一括で実行します。

組版データにエクセル (xls、xlsx、xlsm ファイル) を選択した場合は、組版データとして使用するシート名を選択してください。

ヘッダー行は、組版データのヘッダー行のある行位置を指定します。

組版データの範囲指定は、なにも入力しなければ、組版データ行すべてを組版します。

3-5 と入力すれば、3～5 行目を組版します (3 行目から 5 行分ではない)。その他の例として、カンマで区切ったり、ハイフンで終わらせます。

10- (10 行目以降)

1-5,11-16 (1～5 行目、11～16 行目)

1-3,10,15 (1～3 行目、10 行目、15 行目)

### テンプレートは、同一フォルダで管理する

テンプレートファイルは、全て同じフォルダに入れます。

使用できるファイル形式は、InDesign スニペットファイル (拡張子、ids) と、InDesign IDML ファイル (拡張子、idml) です。InDesign テンプレートファイル (拡張子、indt) は、使用できません。

### 組版結果の保存先フォルダと保存名を決定する

保存名は、なにも入力しなければ、「名称未設定 - 連番 4 桁」となります。

組版データの項目値を保存名にする場合は、組版データの項目リストから追加できます。

保存名に任意の文字も入力できます。例えば任意の文字 (LC カタログ-) と、項目値 [ホテル名] を組み合わせ

LC カタログ-[ホテル名] とすれば、保存名は

LC カタログ-横浜ホテル となります。

保存名が重複した場合は、保存名の後に「\_連番 4桁」を付けます。

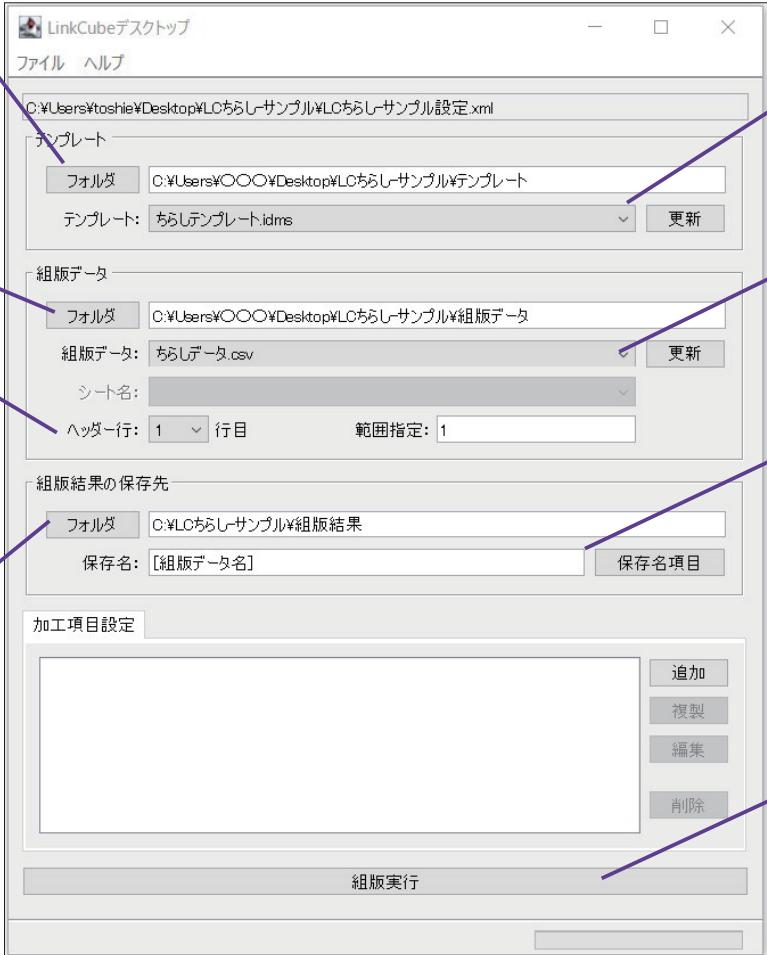
保存名の最長は、80文字です。また、保存名に使用できない文字は、アンダーバーに置き換えます。

ワイルドカード使用時は、保存名に必ず「組版データ名」を指定してください。

## 自動組版するには

### **ファイル追加・削除後は更新ボタンをクリック**

テンプレートフォルダ、組版データフォルダにファイルを追加、削除したときは、[更新ボタン]をクリックすると最新の状態に更新されます。



The screenshot shows the LinkCube Desktop application window with the following sections and callouts:

- 1 組版に必要なテンプレートファイルがあるフォルダを選択** (Select the folder containing the template files needed for layout)
- 2 テンプレートファイルを選択** (Select the template file)
- 3 組版に必要な組版データがあるフォルダを選択** (Select the folder containing the layout data needed for layout)
- 4 組版データを選択  
エクセルの場合は、シート名も選択** (Select the layout data  
In the case of Excel, also select the sheet name)
- 5 ヘッダー行の位置を選択** (Select the position of the header row)
- 6 組版結果の保存先フォルダを選択** (Select the folder where the layout result will be saved)
- 7 保存名に、任意の文字を入力したり、保存名項目ボタンから組版データ項目を選択** (Enter any text in the save name, or select the layout data item from the save name item button)
- 8 [組版実行] をクリック** (Click [Execute Layout])

The application interface includes fields for Template Folder, Template File, Layout Data Folder, Layout Data File, Sheet Name, Header Row, Range Specification, Save Folder, Save Name, and buttons for Update, Add, Copy, Edit, Delete, and Execute Layout.

## 自動組版結果

名前	更新日時	種類	サイズ
A-0001.idms	2025/03/03 16:27	InDesign Markup S...	133 KB
B-0002.idms	2025/03/03 16:27	InDesign Markup S...	187 KB
C-0003.idms	2025/03/03 16:27	InDesign Markup S...	137 KB
D-0004.idms	2025/03/03 16:27	InDesign Markup S...	187 KB
E-0005.idms	2025/03/03 16:27	InDesign Markup S...	132 KB
F-0006.idms	2025/03/03 16:27	InDesign Markup S...	187 KB
G-0007.idms	2025/03/03 16:27	InDesign Markup S...	153 KB
H-0008.idms	2025/03/03 16:27	InDesign Markup S...	119 KB
I-0009.idms	2025/03/03 16:27	InDesign Markup S...	119 KB
J-0010.idms	2025/03/03 16:27	InDesign Markup S...	132 KB
K-0011.idms	2025/03/03 16:27	InDesign Markup S...	119 KB
L-0012.idms	2025/03/03 16:27	InDesign Markup S...	119 KB
M-0013.idms	2025/03/03 16:27	InDesign Markup S...	133 KB
N-0014.idms	2025/03/03 16:27	InDesign Markup S...	114 KB
O-0015.idms	2025/03/03 16:27	InDesign Markup S...	119 KB

## 設定した内容を保存しよう

### 設定内容の保存し管理する

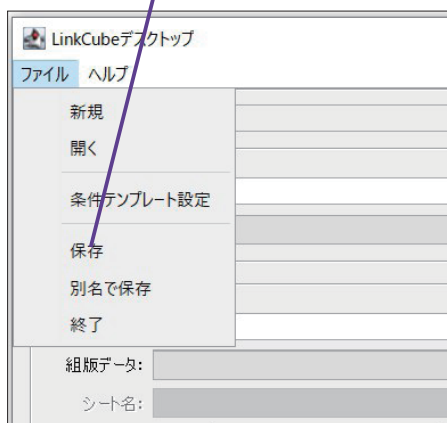
現在の設定内容を xml ファイルで保存することができます。

保存した xml ファイルを開くには、「ファイル」メニューから「開く」し、xml ファイルを選択するか、画面上部の xml ファイル表示領域にドラッグ&ドロップしてください。

そのほか、「ファイル」メニューの「新規」は設定内容をクリアします。「別名で保存」は設定内容を別名で保存します。

### 設定内容を保存するには

- ① メニューの「ファイル」  
「保存」をクリック



# InDesign で開こう、または配置しよう

## 組版結果ファイルを InDesign で使用する

自動組版が終了すると、「組版結果の保存先フォルダ」に組版結果ファイルが作られます。

スニペットファイル（拡張子、idms）は、InDesign メニューのファイル→配置、または InDesign ドキュメントにドラッグ&ドロップ、または Bridge で配置できます。

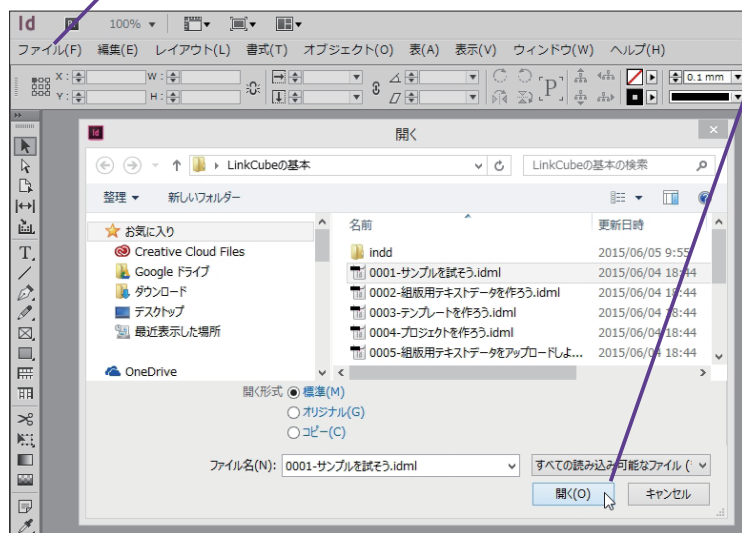
IDML ファイル（拡張子、idml）は、InDesign メニューのファイル→開く、で開く事ができます。

開く、配置ともに複数ファイル選択する事ができます。

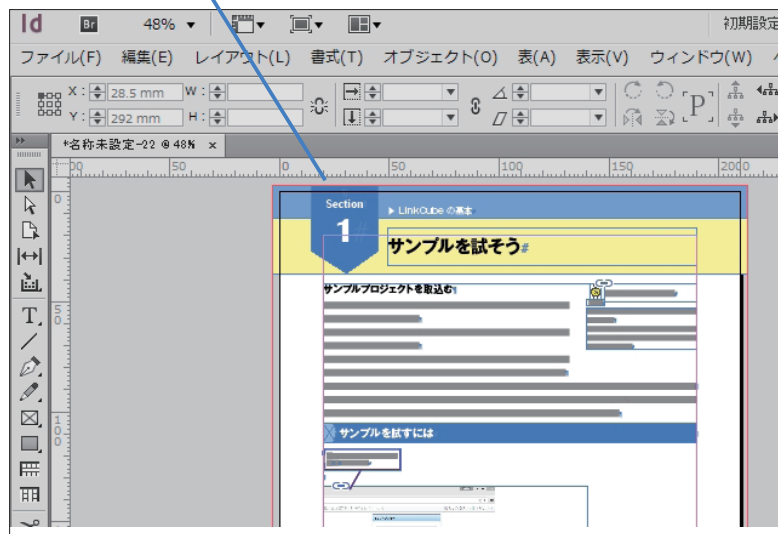
## InDesign で開くには

① メニューの [ファイル]  
[開く] をクリック

② IDML ファイルを選択し、  
[開く] をクリック



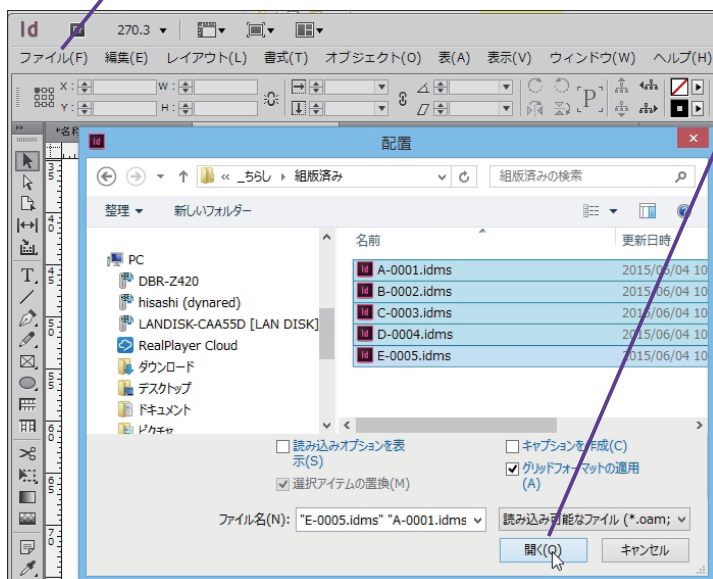
IDML ファイルが表示されました



## InDesign で配置するには

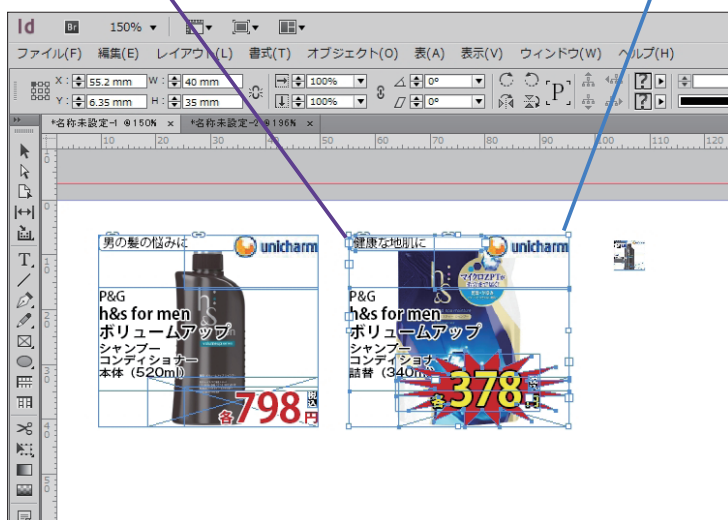
①メニューの「ファイル」  
「配置」をクリック

②スニペットファイルを選択し、  
「開く」をクリック



①任意の位置でクリック

スニペットファイルがドキュメントに  
配置されました



# インデザインタグとリンクキューブ拡張タグを使おう

## リンクキューブ拡張インデザインタグ

インデザインタグを使用しなくても、自動組版は十分可能ですが、インデザインタグを使う事で、より複雑な自動組版にも対応する事ができます。

リンクキューブでは、インデザインタグの値に単位を使用できます。文字サイズや線幅に、Q,H,pt,mm などです。単位を省略するとポイントとして扱います。例えば、文字サイズ 16 級、下線の線幅 0.25mm にする場合、冗長タグでは

<cSize:16Q><cUnderline:1><cUnderlineWeightOffset:0.25mm> クラウド <cUnderline:0> と入力します。

リンクキューブでは、冗長タグ、略書きタグの他に、日本語タグも使用できます。上記の例では

<フォントサイズ:16Q><下線:1><下線線幅:0.25mm> クラウド <下線:0>

となります。タグ名だけでなく、タグの値も日本語で入力可能です。例えば、下線種類の場合は

<下線:1><下線線幅:0.25mm><下線種類:波状> クラウド <下線:0>

となります。日本語タグ名や値は、インデザインで使用されている用語（水平比率、文字前のアキ量など）そのままです。値が%表示されている属性（水平比率など）は、標準インデザインタグで <cHorizontalScale:0.7> と入力しますが、日本語タグでは、<水平比率:70> と入力してください。日本語タグは、インデザイン上で表示されている値を入力します。

また、標準インデザインタグに、アンカー付オブジェクトを発生させるタグや、オブジェクトに対するタグ（線幅や色、オブジェクトスタイルの適用）などを追加しました。

## リンクキューブ拡張インデザインタグ一覧

※フレーム=テキストフレームまたはアンカー付オブジェクトタグ内で使用可能

入力例：テキストフレームがシアン、インライン画像枠の背景色がマゼンタ、角丸 5mm になります。

<オブジェクト塗りカラー:C=100 M=0 Y=0 K=0> こんにちは <アンカー付オブジェクト:=<アンカー付オブジェクトサイズ:30,20><オブジェクト塗りカラー:C=0 M=100 Y=0 K=0><オブジェクト角のシェイプ:Rounded><オブジェクト角のサイズ:5mm><アンカー付オブジェクトリンクパス:/LC サンプル画像/LC ユーザーガイド/移動カーソル.png>>

タイプ	日本語タグ	冗長タグ	略書きタグ	例および注意
フレーム（※）	オブジェクトスタイル	ObjStyle	ostyle	<ObjStyle: オブジェクトスタイル名> <オブジェクトスタイル: オブジェクトスタイル名> スタイルグループを含む場合、コロン「:」で区切ります。 <ObjStyle: グループ名: スタイル名> フレームに指定したオブジェクトスタイルを適用します。
フレーム	オブジェクト塗りカラー	oFillColor	ofc	<oFillColor: スウォッチ名> <オブジェクト塗りカラー:C=100 M=0 Y=0 K=0> 全てのカラー指定タグは、スウォッチ名がテンプレート (idms、idml) にあれば、既存スウォッチを使用し、なければスウォッチを作成します。カラー値を名前にしている場合は、カラー値 (CMYK) を設定します。
フレーム	オブジェクト線カラー	oStrokeColor	osc	<oStrokeColor: スウォッチ名> <oStrokeColor:C=100 M=0 Y=0 K=0>
フレーム	オブジェクト線間隔のカラー	oStrokeGapColor	osgc	<oStrokeGapColor: スウォッチ名> <oStrokeGapColor:C=100 M=0 Y=0 K=0>
フレーム	オブジェクト塗り濃淡	oFillTint	oft	<oFillTint:50>
フレーム	オブジェクト線濃淡	oAttrStrokeTint	oast	<oAttrStrokeTint:50>

タイプ	日本語タグ	冗長タグ	略書きタグ	例および注意
フレーム	オブジェクト線間隔の濃淡	oStrokeGapTint	osgt	<oStrokeGapTint:50>
フレーム	オブジェクト線線幅	oStrokeWeight	osw	<oStrokeWeight:0.5mm>
フレーム	オブジェクト線タイプ	oStrokeType	ost	<oStrokeType: 線種 > 線種に設定する値は Solid= ペ タ、ThickThick= 太 い - 太 い、ThickThin= 太 い - 細 い、ThickThinThick= 太 い - 細 い - 太 い、ThinThick= 細 い - 太 い、ThinThinThick= 細 い - 太 い - 細 い、ThinThin= 二重線、Triple= 三重線、CannedDashed3x2= 点線 (3 & 2)、CannedDashed4x4= 点線 (4 & 4)、LeftSlantHash= 左斜線ハッシュ、RightSlantHash= 右斜線ハッシュ、StraightHash= 直線斜線ハッシュ、CannedDot= 点、SingleWavy= 波状、WhiteDiamond= ホワイトダイヤモンド、JapaneseDots= 句点、Dashed= 点線、またはユーザー定義線種名です。 ユーザー定義線種名を使用する場合、テンプレート (idms、idml) に定義した線種を含めてください。
フレーム	オブジェクト塗りオーバープリント	oFillOverprint	ofp	<oFillOverprint:1> 1= オン、0= オフ (デフォルト)
フレーム	オブジェクト線オーバープリント	oStrokeOverprint	oso	<oStrokeOverprint:1> 1= オン、0= オフ (デフォルト)
フレーム	オブジェクト線間隔オーバープリント	oStrokeGapOverprint	osgo	<oStrokeGapOverprint:1> 1= オン、0= オフ (デフォルト)
フレーム	オブジェクト左上角のシェイプ	oTLCorner	otlc	<oTLCorner: 形状 > 形状に設定する値は None= なし (デフォルト)、Fancy= 飾り、Bevel= 斜角、Inset= 角 (内)、InverseRounded= 丸み (内)、Rounded= 丸み (外)
フレーム	オブジェクト右上角のシェイプ	oTRCorner	otrc	<oTRCorner: 形状 > 形状は oTLCorner と同様
フレーム	オブジェクト左下角のシェイプ	oBLCorner	oblcr	<oBLCorner: 形状 > 形状は oTLCorner と同様
フレーム	オブジェクト右下角のシェイプ	oBRCorner	obrc	<oBRCorner: 形状 > 形状は oTLCorner と同様
フレーム	オブジェクト角のシェイプ	oAllCorner	oac	<oAllCorner: 形状 > 形状は oTLCorner と同様
フレーム	オブジェクト左上角のサイズ	oTLRadius	otlr	<oTLRadius:5mm>
フレーム	オブジェクト右上角のサイズ	oTRRadius	otrr	<oTRRadius:5mm>
フレーム	オブジェクト左下角のサイズ	oBLRadius	oblrr	<oBLRadius:5mm>
フレーム	オブジェクト右下角のサイズ	oBRRadius	obrr	<oBRRadius:5mm>
フレーム	オブジェクト角のサイズ	oAllRadius	oar	<oAllRadius:5mm>
テキストフレーム	組み方向	verticalComposition	vc	<verticalComposition:1> 1= 縦組み、0= 横組み (デフォルト)
アンカー付オブジェクト	アンカー付オブジェクト	AnchoredObj	aobj	●画像の場合 <AnchoredObj:=<oSize:20,30><oContentType:Graphic><oLinkPath:/フォルダ/ファイル.eps>> ●スニペットの場合 <AnchoredObj:=<oLinkPath: スニペット .idms>> ●インラインテキストフレームの場合 <AnchoredObj:=<oSize:20,30><oContentType:Text>> インラインテキスト内容 <AnchoredObj:>
アンカー付オブジェクト	アンカー付オブジェクト内容	oContentType	oct	<oContentType: タイプ > タイプは、Text または Graphic (デフォルト) AnchoredObj タグ内で使用。
アンカー付オブジェクト	アンカー付オブジェクトリンクパス	oLinkPath	olp	<oLinkPath:/ フォルダ / ファイル .eps> Windows 版はバース区切り文字が ¥ (エスケープが必要なので 2 つ) でも可。AnchoredObj タグ内で使用。

タイプ	日本語タグ	冗長タグ	略書きタグ	例および注意
アンカー付オブジェクト	アンカー付オブジェクトサイズ	oSize	osz	<oSize:20,30> 幅, 高さ指定、単位は mm、幅、高さデフォルトは 3.25mm AnchoredObj タグ内で使用。
アンカー付オブジェクト 自動組版の値		@ 項目名	なし	<@ 項目名 : 値 > アンカー付オブジェクトで配置するスニペットに、データ接続項目はあるが、項目名が組版データにない場合、タグで項目名と値を指定できます。項目名が組版データにある場合、このタグは必要ありません。 <AnchoredObj;=<oLinkPath: スニペット .idms><@ コメント : お買い得 !>> AnchoredObj タグ内で使用。
ブックマーク	ブックマーク	Bookmark	Bm	<Bookmark: ブックマーク名 > 階層をつける場合、カンマを入力 <Bookmark: 第 1 階層ブックマーク > 大見出し <Bookmark; 第 2 階層ブックマーク > 中見出し ブックマークタグは、標準インデザインタグに存在しますが、独自形式としました。
項目参照		@ 項目名	なし	<@ 項目名 > 指定した項目名の値に置き換えます。

## リンクキューブ日本語インデザインタグ一覧

上記、リンクキューブ拡張インデザインタグ一覧の日本語タグに加え、以下の日本語タグ名に対応しています。

入力例：< 下線 : 1 > < 行送り : 自動 > < 文字カラー : C=100 M=0 Y=0 K=0 > < 位置 : 下付き文字 >

以下の表のタイプ列、区分別は日本語タグ名には関係ありませんが、段落スタイル、文字スタイル、セルスタイルで表示されるカテゴリーです。

単位が%の属性以外は、日本語タグとインデザインタグを混在しても構いません。例えば、下線種類の場合、<cUnderlineType: 二重線 > または < 下線 : ThinThin > と入力しても構いません。

タイプ	区分	日本語タグ
文字レベルのタグ	基本文字形式	フォント
		フォントスタイル
		フォントサイズ
		行送り
		自動カーニング
		カーニング
		字送り
		大文字と小文字
		位置
		下線
		欧文合字
		分割禁止
		打ち消し線
		文字揃え
文字レベルのタグ	詳細文字形式	水平比率
		垂直比率
		ベースラインシフト
		歪み
		文字ツメ
		文字前のアキ量
		文字後のアキ量
		文字回転
		字取り
		文字の比率を基準に行の高さを調整
		グリッドの字間を基準に字送りを調整
		異体字

タイプ	区分	日本語タグ
文字レベルのタグ	文字カラー	文字カラー
		文字カラー線
		文字カラー濃淡
		文字カラー線濃淡
		文字カラー線幅
		文字カラー線オーバープリント
		文字カラー塗りオーバープリント
		文字カラー線角の比率
		文字カラー線線の位置
		文字カラー線結合
	OpenType 機能	OpenType タイトル用字形
		OpenType 前後関係に依存する字形
		OpenType スワッシュ字形
		OpenType 上付き序数表記
		OpenType 任意の合字
		OpenType 分数
		OpenType スラッシュ付きゼロ
		OpenType 数字のスタイル
		OpenType 位置依存形
		OpenType 横または縦組み用かな
		OpenType 欧文イタリック
		OpenType プロポーショナルメトリクス
	下線設定	下線線幅
		下線種類
		下線オフセット
		下線カラー
		下線濃淡
		下線線オーバープリント
		下線間隔のカラー
		下線間隔の濃淡
	打ち消し線設定	打ち消し線線幅
		打ち消し線種類
		打ち消し線オフセット
		打ち消し線カラー
		打ち消し線濃淡
		打ち消し線線オーバープリント
		打ち消し線間隔のカラー
		打ち消し線間隔の濃淡
	縦中横設定	打ち消し線間隔オーバープリント
		縦中横
		縦中横左右位置
	ルビの位置と間隔	縦中横上下位置
		ルビ
		ルビ文字
		ルビ種類
		ルビ揃え
		ルビ位置
	ルビのフォントとサイズ	ルビ横組み上下 / 縦組み左右
		ルビ横組み左右 / 縦組み上下
		ルビフォント
		ルビフォントスタイル
		ルビサイズ
		ルビ水平比率
		ルビ垂直比率
		OpenTypePro のルビ字形を使用
		ルビ組数字
		ルビ欧文も含める
		ルビ幅に合わせる

タイプ	区分	日本語タグ
文字レベルのタグ	ルビが親文字より長い時の調整	ルビ文字かけ処理
		ルビ親文字間の調整
		ルビの文字幅を自動的に詰める
		ルビの文字幅を自動的に詰めるまで
		ルビ自動行頭 / 行末揃え
	ルビカラー	ルビカラー
		ルビカラー線
		ルビカラー濃淡
		ルビカラー線濃淡
		ルビカラー線幅
		ルビカラー塗りオーバープリント
		ルビカラー線オーバープリント
	圏点設定	圏点親文字からの間隔
		圏点位置
		圏点サイズ
		圏点揃え
		圏点水平比率
		圏点垂直比率
		圏点種類
		圏点フォント
		圏点フォントスタイル
		圏点文字
		圏点文字コード
	圏点カラー	圏点カラー
		圏点カラー線
		圏点カラー濃淡
		圏点カラー線濃淡
		圏点カラー線幅
		圏点カラー塗りオーバープリント
		圏点カラー線オーバープリント
	斜体	斜体縮小率
		斜体角度
		斜体ライン揃え
		斜体ツメの調整
	割注設定	割注
		割注行数
		割注サイズ
		割注行の間隔
		割注揃え
		割注 1 行目の最小文字数
		割注最終行の最小文字数
	文字スタイルの適用	文字スタイル
	字形	特殊字形
段落レベルのタグ	インデントとスペース	揃え
		行末を揃える
		オプティカルマージンを無視
		左 / 上インデント
		右 / 下インデント
		1 行目インデント
		最終行のインデント
		段落前のアキ
		段落後のアキ
	タブ	タブ

タイプ	区分	日本語タグ
段落レベルのタグ	段落境界線	前境界線
		前境界線線幅
		前境界線濃淡
		前境界線オフセット
		前境界線左インデント
		前境界線右インデント
		前境界線幅
		前境界線間隔の濃淡
		前境界線線オーバープリント
		前境界線間隔オーバープリント
		前境界線カラー
		前境界線間隔のカラー
		前境界線種類
		前境界線フレームに収める
		後境界線
		後境界線線幅
		後境界線濃淡
		後境界線オフセット
		後境界線左インデント
		後境界線右インデント
		後境界線幅
		後境界線間隔の濃淡
		後境界線線オーバープリント
		後境界線間隔オーバープリント
		後境界線カラー
		後境界線間隔のカラー
		後境界線種類
	段落囲み罫	段落囲み罫
		段落囲み罫上線
		段落囲み罫下線
		段落囲み罫左線
		段落囲み罫右線
		段落囲み罫線
		段落囲み罫タイプ
		段落囲み罫カラー
		段落囲み罫濃淡
		段落囲み罫オーバープリント
		段落囲み罫間隔のカラー
		段落囲み罫間隔濃淡
		段落囲み罫間隔オーバープリント
		段落囲み罫線端
		段落囲み罫角の形状
		段落囲み罫左上角のシェイプ
		段落囲み罫右上角のシェイプ
		段落囲み罫左下角のシェイプ
		段落囲み罫右下角のシェイプ
		段落囲み罫角のシェイプ
		段落囲み罫左上角のサイズ
		段落囲み罫右上角のサイズ
		段落囲み罫左下角のサイズ
		段落囲み罫右下角のサイズ
		段落囲み罫角のサイズ
		段落囲み罫上オフセット
		段落囲み罫下オフセット
		段落囲み罫左オフセット
		段落囲み罫右オフセット
		段落囲み罫オフセット
		段落囲み罫上端
		段落囲み罫下端
		段落囲み罫幅
		段落囲み罫フレーム間 / 列間で段落が分割される場合は囲み罫を表示
		段落囲み罫連続する囲み罫と背景色を同じ設定で結合

タイプ	区分	日本語タグ
段落レベルのタグ	段落の背景色	段落の背景色
		段落の背景色カラー
		段落の背景色濃淡
		段落の背景色オーバープリント
		段落の背景色左上角のシェイプ
		段落の背景色右上角のシェイプ
		段落の背景色左下角のシェイプ
		段落の背景色右下角のシェイプ
		段落の背景色角のシェイプ
		段落の背景色左上角のサイズ
		段落の背景色右上角のサイズ
		段落の背景色左下角のサイズ
		段落の背景色右下角のサイズ
		段落の背景色角のサイズ
		段落の背景色上オフセット
		段落の背景色下オフセット
		段落の背景色左オフセット
		段落の背景色右オフセット
		段落の背景色オフセット
		段落の背景色上端
		段落の背景色下端
		段落の背景色幅
		段落の背景色フレームの形に合わせる
		段落の背景色プリントまたは書き出ししない
	段落分離禁止オプション	段落分離禁止前と連動
		段落分離禁止次の行数を保持
		段落の分離禁止
		段落中のすべての行を分離禁止
		段落分離禁止先頭から
		段落分離禁止段落末まで
		段落の開始位置
	ハイフネーション	ハイフネーション
		ハイフネーション単語の最小文字数
		ハイフネーション先頭の後
		ハイフネーション最後の前
		ハイフネーション最大のハイフン数
		ハイフネーション領域
		ハイフネーション多く少なく
		ハイフネーション大文字の単語をハイフンで区切る
		ハイフネーション段落末尾の単語をハイフンで区切る
	ジャスティフィケーション	段間、フレームにわたる単語をハイフンで区切る
		単語間隔最小
		単語間隔最大
		単語間隔最適
		文字間隔最小
		文字間隔最大
		文字間隔最適
		グリフ幅拡大 / 縮小最小
		グリフ幅拡大 / 縮小最大
		グリフ幅拡大 / 縮小最適
		自動行送り
		1 単語揃え
		コンポーザー
	段抜きと段分割	段抜きと段分割段落レイアウト
		段抜きと段分割段数
		段抜きと段分割段落前のアキ
		段抜きと段分割段落後のアキ
		段抜きと段分割段落間の間隔
		段抜きと段分割フレームとの間隔

タイプ	区分	日本語タグ
段落レベルのタグ	ドロップキャップと先頭文字スタイル	ドロップキャップ行数
		ドロップキャップ文字数
		ドロップキャップ詳細
		先頭文字スタイル
		先頭行スタイル
	正規表現スタイル	正規表現スタイル
	箇条書き	箇条書きリストタイプ
		箇条書き記号文字
		箇条書き記号フォント
		箇条書き記号フォントスタイル
		箇条書き記号後続テキスト
		箇条書き記号文字スタイル
		箇条書きレベル
		箇条書き自動番号
		箇条書き自動番号文字スタイル
		箇条書き開始番号
		箇条書き指定レベル以降で番号をふり直し
		箇条書き記号揃え
		箇条書き自動番号揃え
	自動縦中横設定	自動縦中横組数字桁まで
	日本語文字組版	自動縦中横欧文も含める
		禁則処理セット
		禁則調整方式
		ぶら下がり方法
		分離禁止処理
		文字組み
		行送りの基準位置
		連数字処理
		縦組み中の欧文回転
	グリッド設定	全角スペースを行末吸収
		欧文泣き別れ
		グリッド揃え
		1行目のみグリッドに揃える
表セルレベルのタグ	テキスト	グリッド行取り
		段落行取りを使用
		段落スタイルの適用
		段落スタイル
		セル方向と組方向を逆にする
		セルの余白上
		セルの余白下
		セルの余白左
		セルの余白右
		セルテキストの配置
		セルテキスト段落スペース最大値
		セルテキスト先頭ベースライン位置オフセット
		セルテキスト先頭ベースライン位置最小値
		セルテキストクリッピング
		セルの内容を回転

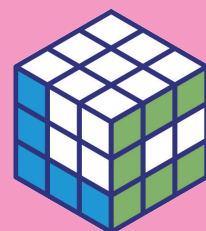
タイプ	区分	日本語タグ
表セルレベルのタグ	罫線と塗り	セルの塗りカラー
		セルの線上カラー
		セルの線下カラー
		セルの線左カラー
		セルの線右カラー
		セルの線上間隔のカラー
		セルの線下間隔のカラー
		セルの線左間隔のカラー
		セルの線右間隔のカラー
		セルの塗り濃淡
		セルの線上濃淡
		セルの線下濃淡
		セルの線左濃淡
		セルの線右濃淡
		セルの線上間隔の濃淡
		セルの線下間隔の濃淡
		セルの線左間隔の濃淡
		セルの線右間隔の濃淡
		セルの線上線幅
		セルの線下線幅
		セルの線左線幅
		セルの線右線幅
	罫線と塗り	セルの線上種類
		セルの線下種類
		セルの線左種類
		セルの線右種類
		セルの塗りオーバープリント
		セルの線上線オーバープリント
		セルの線下線オーバープリント
		セルの線左線オーバープリント
		セルの線右線オーバープリント
		セルの線上間隔オーバープリント
	斜線の設定	セルの斜線カラー
		セルの斜線間隔のカラー
		セルの斜線濃淡
		セルの斜線間隔の濃淡
		セルの斜線線幅
		セルの斜線種類
		セルの斜線オーバープリント
		セルの斜線間隔オーバープリント
		セルの斜線前面に斜線
		左上から右下の斜線
	行と列の設定	列の幅
		行の高さ
		行の高さ最小限度
		行の高さ最大限度
		行の高さ最小限度を使用
		セル次の行と連動
	表スタイルの適用	表スタイル
	セルスタイルの適用	セルスタイル
その他	条件テキスト	条件テキスト
	グラデーション	グラデーション長さ
		グラデーション角度
		グラデーション線長さ
		グラデーション線角度
		グラデーション開始位置
		グラデーション線開始位置
	分割文字	分割文字
	ページ番号	ページ番号



# 第 2 章

## テンプレートの機能

インデザインの機能だけでテンプレートを作成しますが、色々な事ができます。3つのスタイルグループ [データ接続] [データ付属] [データエリア] と、3つのルール、文字は [段落・文字スタイル]、画像は [オブジェクトスタイル]、表は [表スタイル] を使います。シンプルで容易に習得できます。



**LinkCube**

# 文字を組版しよう

## 段落スタイルまたは文字スタイルに「データ接続」スタイルグループを作る

段落スタイルまたは文字スタイル、データ接続／組版データ項目名（「データ接続」スタイルグループ内のスタイル）が適用されている文字範囲に、組版データを流し込みます。

例えば、文字スタイル「データ接続」スタイルグループ内の「商品説明」スタイルが適用されている文字範囲には、商品説明の組版データを流し込みます。

適用されている文字範囲の組版属性をオーバーライド（スタイル名に＋が表示）しても、組版データを流し込みます。

また、複数箇所に同一スタイルを適用した場合は、複数箇所に同じ組版データを流し込みます。

アンカー付オブジェクト内の文字や、グループ化されたオブジェクト内の文字、表組のセル文字などにも流し込む事が可能です。



### 項目数が多い場合

項目数が非常に多い場合、「データ接続」スタイルグループ内にスタイルグループを作成し、分類すると管理しやすくなります。

例えば、「データ接続」内に「出走データ」スタイルグループを作成した場合、データ接続 / 出走データ / 馬主  
データ接続 / 出走データ / 騎手  
としても、馬主と騎手のスタイルが適用されている箇所に、組版データの馬主と騎手項目データが流し込まれます。

## 段落スタイルと文字スタイルを使い分ける

段落スタイルで「データ接続」を使用する場合、流し込み時、自動で最後の文字に段落改行文字 <000D> を付加します。そのため、組版データに段落改行文字は必要ありません。

文字スタイルで「データ接続」を使用する場合、必要に応じてデータ中に段落改行文字を入力します。

例えば、文字スタイルが適用されている文字範囲に、段落改行文字が含まれている場合、組版データに段落改行文字 <000D> が必要になります。

また、スタイルの競合が気になる場合は、段落スタイルは使用せず、文字スタイルで、全ての組版属性を設定しない状態で使用すれば、スタイル競合しません。

## 文字を組版するには（段落スタイルを使用）

### テンプレート

① 流し込みたい段落を選択（段落内をクリックでも可）

② 段落スタイルに「データ接続」グループを作成するか、既にある場合は選択

③ 「データ接続」グループ内に、組版用テキストデータの項目名と同じ名前のスタイルを作成

## 文字を組版するには（文字スタイルを使用）

### テンプレート

① 流し込みたい文字範囲  
を選択

② 文字スタイルに「データ接続」グループ  
を作成するか、既にある場合は選択

③ 「データ接続」グループ内に、  
組版用テキストデータの項目名  
と同じ名前のスタイルを作成



# 文章中にインラインテキストフレームを発生させよう

## アンカー付オブジェクトタグを使う

テンプレートの作成方法は、セクション 10「文字を組版しよう」と同様です。

文章中にアンカー付オブジェクトタグ（リンクキューブ拡張タグ）を使用し、インラインテキストフレームを発生する事ができます。

テンプレート上にインラインテキストフレームがあり、インラインテキストフレーム中の文字にデータを流し込む場合は、セクション 10「文字を組版しよう」の方法になります。

ここでの説明は、テンプレート上にインラインテキストフレームが存在

せず、データ中のアンカー付オブジェクトタグで、インラインテキストフレームを発生させる場合です。

例えば、文章中に幅 10mm、高さ 3.5mm のインラインテキストフレームを発生させ、発生したフレーム中に「医薬品」を組版し、オブジェクトスタイル名「角丸緑」を適用する場合、

日本語タグ形式では

<アンカー付オブジェクト:=<アンカー付オブジェクトサイズ:10,3.5><アンカー付オブジェクト内容:Text>><オブジェクトスタイル:角丸緑> 医薬品 <アンカー付オブジェクト:>

冗長タグ形式では

<AnchoredObj:=<oSize:10,3.5><oContentType:Text>><ObjStyle:角丸緑> 医薬品 <AnchoredObj:>

インデザインタグの意味は、

AnchoredObj:= アンカー付オブジェクトの開始です。

oSize: オブジェクトのサイズです。省略時は、縦横 3.25mm のサイズになります。

oContentType: Text でインラインテキストフレームです。省略時は、グラフィックのフレームです。

AnchoredObj: アンカー付オブジェクトの終了です。

略書きタグ形式では

<aobj:=<osz:10,3.5><oct:Text>><ostyle:角丸緑> 医薬品 <aobj:>

と入力します。



### オブジェクトスタイルタグ

オブジェクトスタイルを作成しておき、アンカー付オブジェクトタグとオブジェクトスタイルタグを併用すると、少ないタグ記述で複雑な組版ができます。例えば、冗長タグでは

<ObjStyle: オブジェクトスタイル名> 文字とすれば、テキストフレームやインラインテキストフレームに、タグで指定したオブジェクトスタイルが適用されます。

## 文章中にインラインテキストフレームを発生するには

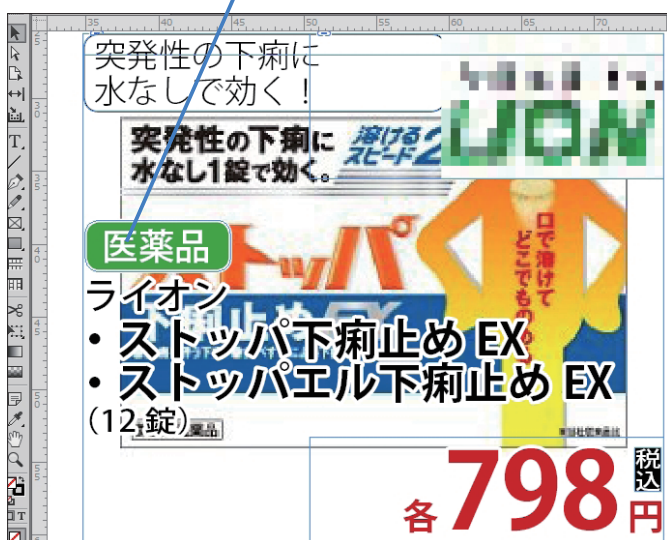
### 組版用テキストデータ

- ① アンカー付オブジェクトタグ（インラインテキストフレームタグ）を入力

	L	M
1	コメント	薬事法表示
23	突発性の下痢に<000D>水なしで効く！	<AnchoredObj=<oSize:10,3.5><oContentType:Text><ObjStyle:角丸緑>医薬品<AnchoredObj>
24	突発性の下痢に<000D>水なしで効く！	<AnchoredObj=<oSize:10,3.5><oContentType:Text><ObjStyle:角丸緑>医薬品<AnchoredObj>
25	市場最薄ヘッド&最細ネック！	
26	みがくたび、強い歯へ！	
27	みがくたび、強い歯へ！	
28	鼻のまわりが赤くなる前に<000D>やさしくいたわる。	
29	鼻のまわりが赤くなる前に<000D>やさしくいたわる。	
30	芯で消臭！	
31	厳選アロマオイルが<000D>部屋中に広がる	
32	がんばらなくても<000D>ちゃんと磨ける	
33	がんばらなくても<000D>ちゃんと磨ける	
34	ハグキの炎症を防ぐ	
35	ハグキの炎症を防ぐ	
36	歯槽膿漏が気になる方に	
37	歯槽膿漏が気になる方に	
38	更年期症状を治します	<AnchoredObj=<oSize:10,3.5><oContentType:Text><ObjStyle:角丸緑>医薬品<AnchoredObj>

### 組版結果

文章中にインラインテキストフレームを発生し、フレーム内に文字が組版されました



# 画像、動画、音声ファイルを配置しよう

## オブジェクトスタイルに「データ接続」スタイルグループを作る

オブジェクトスタイル、データ接続／組版データ項目名（「データ接続」スタイルグループ内のスタイル）が適用されているオブジェクトに、組版データの画像、動画、音声ファイルを配置します。（※以降、画像＝画像、動画、音声とします）

例えば、オブジェクトスタイル「データ接続」スタイルグループ内の「商品画像」スタイルが適用されているオブジェクトには、「商品画像」項目データのファイルを配置します。

適用されているオブジェクトの組版属性をオーバーライド（スタイル名に＋が表示）しても、組版データを配置します。

また、複数箇所に同一スタイルを適用した場合は、複数箇所に同じファイルを配置します。

画像の配置基準点は、オブジェクト選択後、（Win：右クリック、Mac：control＋クリック）オブジェクトサイズの調整→フレーム調整オプション→整列の開始位置で指定します。

画像のサイズ調整は、フレーム調整オプション→サイズ調整で指定します。

アンカー付オブジェクトや、グループ化されたオブジェクトなどにも配置可能です。



### ファイルの種類

サンプルでは、画像データを軽くするため jpg を使用していますが、InDesign がサポートしているファイルは全て配置できます。（eps、pdf など）

## 画像ファイルを配置するには

### 組版用テキストデータ

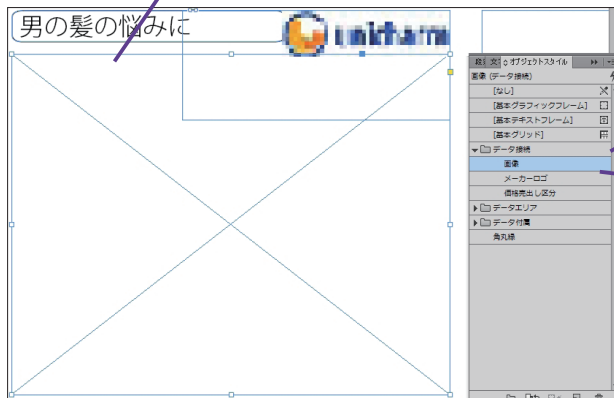
① 画像ファイルのフルパスを入力

ファイル名のみ入力し、フォルダや拡張子はテンプレート、または組版設定で設定する事もできます

	D	E
1	商品名	画像
23	・ストップ下痢止めEX	/LCサンプル画像/LCちらし/ストップ下痢止めEX.jpg
24	・ストップエル下痢止めEX	/LCサンプル画像/LCちらし/ストップ下痢止めEX.jpg
25	クリニック<000D>アドバンテージ<000D>ハブラシ	/LCサンプル画像/LCちらし/クリニックアドバンテージハブラシ.jpg
26	クリニック	/LCサンプル画像/LCちらし/クリニック.jpg
27	クリニック	/LCサンプル画像/LCちらし/クリニック.jpg
28	・エリエール贅沢保湿<000D>ローションティッシュ	/LCサンプル画像/LCちらし/エリエール+Water.jpg
29	・エリエール+Water	/LCサンプル画像/LCちらし/エリエール+Water.jpg
30	エリエール<000D>消臭+トイレット<000D>ティッシュ	/LCサンプル画像/LCちらし/エリエール消臭+トイレットティッシュ.jpg
31	消臭元スティック<000D>本体各種	/LCサンプル画像/LCちらし/消臭元スティック本体各種.jpg
32	Doクリアマルチ<000D>フィットハブラシ	/LCサンプル画像/LCちらし/Doクリアマルチフィットハブラシ.jpg
33	Doクリアマルチ<000D>フィットハブラシ	/LCサンプル画像/LCちらし/Doクリアマルチフィットハブラシ.jpg
34	・GUMアドバンスケア<000D>デンタルペースト	/LCサンプル画像/LCちらし/GUMアドバンスケアデンタルペースト.jpg
35	・GUMアドバンスケア<000D>リンス	/LCサンプル画像/LCちらし/GUMアドバンスケアデンタルペースト.jpg
36	・薬用生葉	/LCサンプル画像/LCちらし/薬用生葉ひきしめ.jpg
37	・ひきしめ生葉	/LCサンプル画像/LCちらし/薬用生葉ひきしめ.jpg
38	命の母A	/LCサンプル画像/LCちらし/命の母A.jpg

## テンプレート

- ① 画像を配置したいフレームを選択

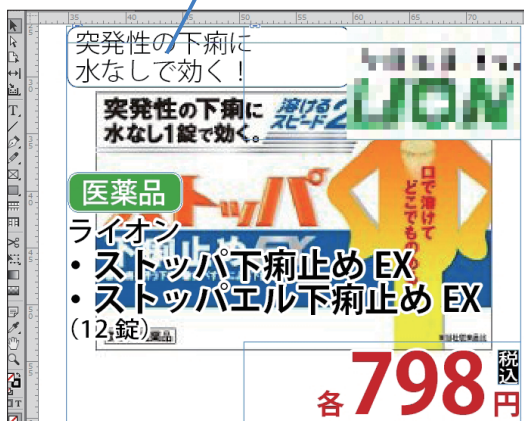


- ② オブジェクトスタイルに「データ接続」グループを作成するか、既にある場合は選択

- ③ 「データ接続」グループ内に、組版データの項目名と同じ名前のスタイルを作成

## 組版結果

フレームに画像が配置されました



## アンカー付オブジェクトに画像ファイルを配置するには

### 組版用テキストデータ

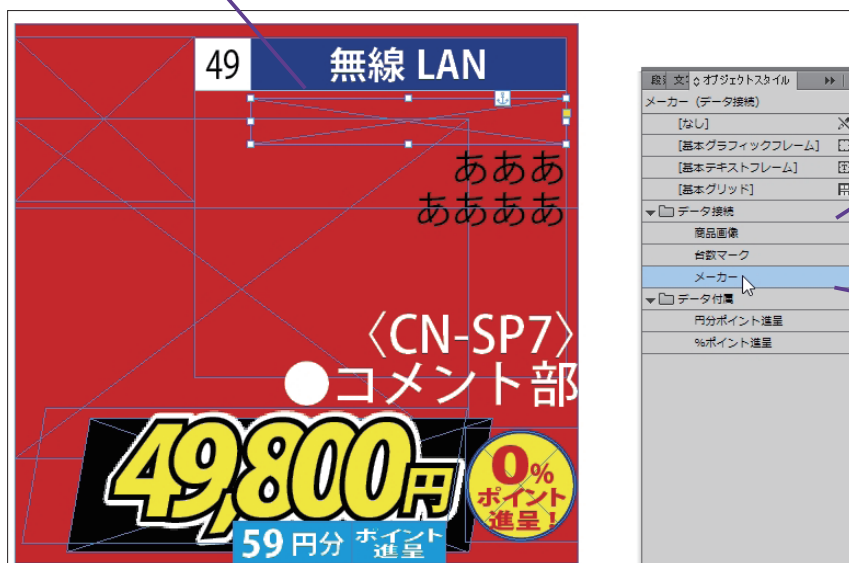
- ① 画像ファイルのフルパスを入力

ファイル名のみ入力し、フォルダや拡張子はテンプレートや組版設定で設定する事もできます

1	カテゴリー	メーカー	特長
2	ポータブルナビゲーション	/LCサンプル画像/LC電機/Panasonic.png	(7V型ワイドVGA液晶) (ワンセグチューナー内蔵) (FM-VICS標準対応) (バッテリー内蔵)
3	ウォークマン Fシリーズ	/LCサンプル画像/LC電機/SONY.png	(3.5インチ液晶)<000D>(Blu-ray Disc再生対応)
4	プリンタ複合機	/LCサンプル画像/LC電機/Canon.png	[自動両面印刷(ハガキ非対応)]
5	USBメモリ	/LCサンプル画像/LC電機/BUFFALO.png	(USB2.0)<000D>[<cSize:13GB>]
6	デジタルコードレス<000D>普通紙FAX	/LCサンプル画像/LC電機/SHARP.png	(親機表示:カナ)(子機表示:英)
7	オープンレンジ	/LCサンプル画像/LC電機/SHARP.png	[庫内容量26L]<000D><Anchored>
8	沸騰100℃炊飯器	/LCサンプル画像/LC電機/MITSUBISHI.png	[5.5合炊]<000D><Anchored>
9	メンズシェーバー	/LCサンプル画像/LC電機/IZUMI.png	(2枚刃)<000D>(充電)<000D>
10	ドライブレコーダー	/LCサンプル画像/LC電機/KEYO.png	(12V/24V対応) (音声録音可能) (静止画像撮影可能) (動感検知機能付) (2GB SDカード付属)
11	USB3.0対応外付<000D>ハードディスク	/LCサンプル画像/LC電機/LACIE.png	[バッテリー内蔵] [<cSize:13Q>2TB]

## テンプレート

- ① 画像を配置したいアンカー付オブジェクトを選択



- ② オブジェクトスタイルに「データ接続」グループを作成するか、既にある場合は選択

- ③ 「データ接続」グループ内に組版データの項目名と、同じ名前のスタイルを作成

## 組版結果

- アンカー付オブジェクトに画像が配置されました



## 文章中に画像を発生させよう

### アンカー付オブジェクトタグを使う

テンプレートの作成方法は、セクション 10「文字を組版しよう」と同様です。

文章中にアンカー付オブジェクトタグ（リンクキューブ拡張タグ）を使用し、アンカー付オブジェクトを発生する事ができます。

テンプレート上にアンカー付オブジェクトがあり、アンカー付オブジェクトに画像を配置する場合は、セクション 12「画像、動画、音声ファイルを配置しよう」の方法になります。

ここでの説明は、テンプレート上にアンカー付オブジェクトが存在せず、データ中のアンカー付オブジェクトタグで、アンカー付オブジェクトを発生させる場合です。

例えば、文章中に幅 2.75mm、高さ 2.75mm のアンカー付オブジェクトを発生させ、発生したフレームに /LC サンプル画像 /LC ユーザーガイド / 移動カーソル .png を配置する場合、

日本語タグ形式では

マウスカーソルが <アンカー付オブジェクト:=<アンカー付オブジェクトサイズ:2.75,2.75><オブジェクトスタイル: インラインアイコン><アンカー付オブジェクトリンクパス:/LC サンプル画像 /LC ユーザーガイド / 移動カーソル .png>> の状態

冗長タグ形式では

マウスカーソルが <AnchoredObj:=<oSize:2.75,2.75><ObjStyle: インラインアイコン><oLinkPath:/LC サンプル画像 /LC ユーザーガイド / 移動カーソル .png>> の状態

インデザインタグの意味は、

oLinkPath: ファイルのフルパスです。

略書きタグ形式では

マウスカーソルが <aobj:=<アンカー付オブジェクトサイズ:2.75,2.75><ostyle: インラインアイコン><olp:/LC サンプル画像 /LC ユーザーガイド / 移動カーソル .png>> の状態

と入力します。

### 文章中に画像を発生するには

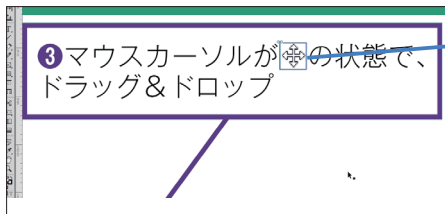
#### 組版用テキストデータ

① アンカー付オブジェクトタグを入力

ファイルはフルパスで入力します

常見出し	操作手順
加工項目を並び変えるには	① 組版設定を選択 ② 並び替えたい加工項目を単一、または複数選択 ③ マウスカーソルが <AnchoredObj:=<oSize:2.75,2.75><ObjStyle:インラインアイコン><oLinkPath:/LCサンプル画像/LCユーザーガイド/移動カーソル.png>> の状態で、ドラッグ&ドロップ ■ 加工項目を並び変えるには1.jpg ★ 加工項目が並び替えられました ■ 加工項目を並び変えるには2.jpg
数字、カタカナ、英字	① [置換]をクリック

#### 組版結果



# スニペットを配置しよう

## オブジェクトスタイルに「データ接続」スタイルグループを作る

オブジェクトスタイル、データ接続／組版データ項目名（「データ接続」スタイルグループ内のスタイル）が適用されているオブジェクトに、組版データのスニペットを配置します。

例えば、オブジェクトスタイル「データ接続」スタイルグループ内の「商品マーク類」スタイルが適用されているオブジェクトには、商品マーク類項目データのスニペットを配置します。

適用されているオブジェクトの組版属性をオーバーライド（スタイル名に+が表示）しても、スニペットを配置します。

また、複数箇所に同一スタイルを適用した場合は、複数箇所に同じスニペットを配置します。

スニペットの配置基準点は、オブジェクト選択後、（Win:右クリック、Mac:control +クリック）オブジェクトサイズの調整→フレーム調整オプション→整列の開始位置で指定します。

アンカー付オブジェクトや、グループ化されたオブジェクトなどにも配置可能です。アンカー付オブジェクトに配置する場合、スニペットは自動でグループ化され、配置先のアンカー付オブジェクトと置き換わります。置き換えるのでサイズ変更され、同じテキストフレーム内の文字レイアウトに影響します。

配置するスニペットファイルは、プロジェクトのテンプレートフォルダに必ずアップロードしてください。

## スニペットを配置するには

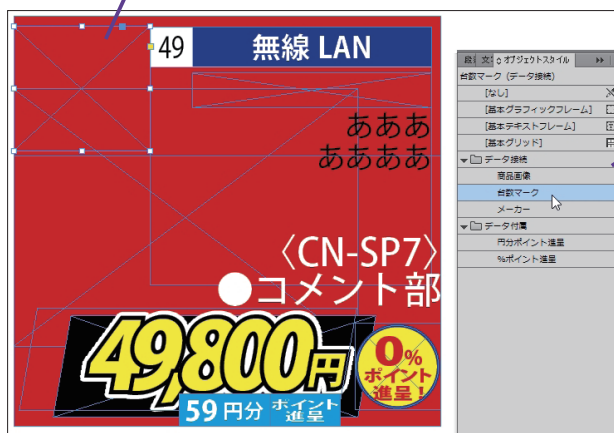
### 組版用テキストデータ

① スニペットファイルのファイル名のみ入力（.idms は省略可）

	A	B	C	D
1	No	台数マーク	台数	カテゴリー
12	49	無制限.idms		無線LAN
13	50	限り.idms	在庫限り	マイクロSDHCカード
14	51	限り.idms	在庫・<000D>展示品限り	電子辞書 高校生モデル
15	52	無制限.idms		ホームベーカリー
16	53	無制限.idms		LEDシーリングライト
17	54	無制限.idms		マイナスイオンドライヤー

## テンプレート

- ① スニペットを配置したいフレームを選択



- ② オブジェクトスタイルに「データ接続」グループを作成するか、既にある場合は選択

- ③ 「データ接続」グループ内に、組版データの項目名と同じ名前のスタイルを作成

## 組版結果

- フレームにスニペットが配置されました



## アンカー付オブジェクトにスニペットを配置するには

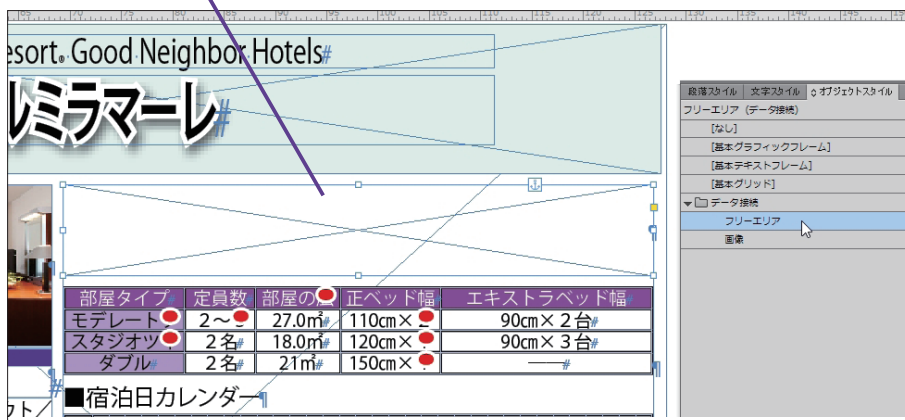
### 組版用テキストデータ

- ① スニペットファイルのファイル名のみ入力（.idms は省略可）

	H	I	J
1	フリーエリア	なかよし1	部屋タイプ表
2	なかよし4.idms	24時間滞在OK!<cSize:7Q><cHorizontalScale:0.7><レイ	ホテルイースト21東京.xls>部屋タイプ
3	なかよし46.idms		京成ホテルミラマーレ.xls>部屋タイプ
4	なかよし4.idms	焼き菓子付!<cSize:7Q><cHorizontalScale:0.7><滞在中!室	東武ホテルレバント 東京.xls>部屋タイプ
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			

## テンプレート

- ### ①スニペットを配置したいアンカー付オブジェクトを選択



- ② オブジェクトスタイルに「データ接続」グループを作成するか、既にある場合は選択

- ③ [データ接続] グループ内に、組版データの項目名と同じ名前のスタイルを作成

## 組版結果


アンカー付オブジェクトがスニペットに  
置き換わりました



**東京**

Tokyo Disney Resort. Good Neighbor Hotels

**オークラホテルズ ホテルイースト21 東京**



TEL 93-5683-5737

●チェックイン 14:00  
●チェックアウト 12:00 (通常 11:00)  
●朝食 バス・トイレ付  
●朝食 バイキング (朝食付プランのみ)  
●交通のご案内 東京メトロ東西線東洋町より徒歩7分

**朝食付プランは** (1人1室1泊) **1,500円増**

●旅行代金: お一人様 **基本代金** + **ホテル代金**

●旅行代金 / 大学生 (大学院生)・短大生・各専門門生 / お一人様 1泊2日食事なし + **14,400円/カテゴリー(スタンダード・セミダブル)** (単位: 円)



**千葉**

Tokyo Disney Resort. Good Neighbor Hotels

**京成ホテルミラマール**



TEL 043-222-2111

●チェックイン 13:00 ●チェックアウト 11:00  
●朝食 バス・トイレ付  
●朝食 バイキング (朝食付プランのみ)  
●交通のご案内 京千葉駅より徒歩8分

**朝食付プランは** (1人1室1泊) **1,200円増**

●旅行代金: お一人様 **基本代金** + **ホテル代金**

●旅行代金 / 大学生 (大学院生)・短大生・各専門門生 / お一人様 1泊2日食事なし + **14,400円/カテゴリー(スタンダード・セミダブル)** (単位: 円)

**4泊24時間滞在 OK! レイトチェックアウト 14:00**

部屋タイプ	定員数	部屋の広さ	正ベッド幅	エキストラベッド
デラックス タイプ	4名	34.5m <sup>2</sup>	110cm × 2台	100cm × 1台 + 95cm × 1台
スタンダードタイプ	3名	34.5m <sup>2</sup>	110cm × 2台	100cm × 1台
スタンダードタイプ	2名	27.0m <sup>2</sup>	110cm × 2台	—
スタンダードタイプ	2名	27.0m <sup>2</sup>	180cm × 1台	—
セミダブル	2名	19.5m <sup>2</sup>	120cm × 1台	—

■宿泊日カレンダー

1月 2月 3月

1月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

2月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28

3月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

**4泊24時間滞在 OK! レイトチェックアウト 14:00**

部屋タイプ	定員数	部屋の広さ	正ベッド幅	エキストラベッド
デラックス タイプ	4名	34.5m <sup>2</sup>	110cm × 2台	100cm × 1台 + 95cm × 1台
スタンダードタイプ	3名	34.5m <sup>2</sup>	110cm × 2台	100cm × 1台
スタンダードタイプ	2名	27.0m <sup>2</sup>	110cm × 2台	—
スタンダードタイプ	2名	27.0m <sup>2</sup>	180cm × 1台	—
セミダブル	2名	19.5m <sup>2</sup>	120cm × 1台	—

■宿泊日カレンダー

1月 2月 3月

1月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

2月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28

3月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

## 文章中にスニペットを発生させよう

### アンカー付オブジェクトタグを使う

テンプレートの作成方法は、セクション 10「文字を組版しよう」と同様です。

文章中にアンカー付オブジェクトタグを使用し、スニペットを発生する事ができます。

テンプレート上にアンカー付オブジェクトがあり、アンカー付オブジェクトにスニペットを配置する場合は、セクション 14「スニペットを配置しよう」の方法になります。

ここでの説明は、テンプレート上にアンカー付オブジェクトが存在せず、データ中のアンカー付オブジェクトタグで、スニペットを発生させる場合です。

例えば、文章中に よりどり 2 個 .idms を配置する場合、

日本語タグ形式では

<アンカー付オブジェクト := <アンカー付オブジェクトリンクパス : よりどり 2 個 .idms>>

冗長タグ形式では

<AnchoredObj := <oLinkPath: よりどり 2 個 .idms>>

略書きタグ形式では

<aobj := <olp: 商品よりどり 2 個 .idms>>

と入力します。

配置するスニペットファイルは、テンプレートフォルダ(組版に必要なテンプレートファイルがあるフォルダ)に必ず入れてください。

### 文章中にスニペットを発生するには

#### 組版用テキストデータ

① アンカー付オブジェクトタグを入力

ファイルはファイル名のみ入力します

1	容量	各
12	つめかえ用(480ml)	各
13	つめかえ用(480ml)	<AnchoredObj := <oLinkPath: よりどり2個.idms>>
14	本体(370ml)	
15		各
16		
17	つめかえ用(360g)	各
18	つめかえ用(480ml)	

## 組版結果

文章中にスニペットが発生しました

着る時、香りが蘇る

柔軟剤  
香本

P&G

LENOR  
HAPPINESS  
FLORAL  
ESSENCE

P&G  
レノアハピネス  
つめかえ用 (480ml)

各 298 円 税込

よりどり  
2個で 500 円 税込

# 配置や発生するスニペットも自動組版しよう

## 配置や発生するスニペットもテンプレート

「スニペットを配置しよう」や「文章中にスニペットを発生させよう」で扱ったスニペットを自動組版する事ができます。

自動組版の中で、配置するパーツを自動組版するイメージです。

テンプレートの共通部分と可変部分を組み合わせて自動組版する事で、テンプレート数を減らしたり、マーク類をパーツにし、マーク内の文字を自動組版する事で、パーツを減らすことができます。

「スニペットを配置しよう」や「文章中にスニペットを発生させよう」との違いは、配置するスニペットの文字や、オブジェクトに「データ接続」スタイルグループ内のスタイルを適用しておくだけです。

また、文章中に自動組版スニペットを発生させる場合、組版データにない項目を流し込む事ができます。

例えば、価格 2.idms の文字に文字スタイル、データ接続／税込価格が適用されているとします。組版データには税込価格項目がありませんが、

日本語タグ形式では

<アンカー付オブジェクト :=<アンカー付オブジェクトリンクパス : 価格 2.idms><@ 税込価格 :248>>

冗長タグ形式では

<AnchoredObj:=<oLinkPath: 価格 2.idms><@ 税込価格 :248>>

と入力すれば、「248」を流し込みます。<@ 項目名: 項目データ>を意味します。セクション 11「文章中にインラインテキストフレームを発生させよう」のインラインテキストフレームで表現できない複雑な図形で使用します。



### 自動組版中の自動組版は 1 行分

配置や発生するスニペットの自動組版は、1 行分のデータです。自動組版中の自動組版で、複数行の同一コマコード組版はできません。

## 配置するスニペットを自動組版するには

### 組版用テキストデータ

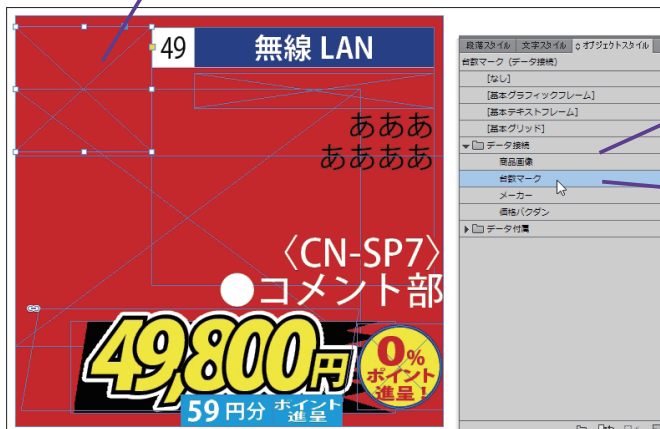
① スニペットファイルのファイル名のみ入力 (.idms は省略可)

② スニペット自動組版用の項目を用意

	A	B	C	D
1	No	台数マーク	台数	カテゴリー
2	39	限り.idms	展示品限り	ポータブルナビゲーション
3	40	限り.idms	在庫限り	ウォークマン Fシリーズ
4	41	限り.idms	在庫・<000D>展示品限り	プリンタ複合機
5	42	限り.idms	在庫限り	USBメモリ
6	43	先着.idms		5 デジタルコードレス<000D>普通紙FAX
7	44	限り.idms	在庫・<000D>展示品限り	オープンレンジ
8	45	限り.idms	在庫・<000D>展示品限り	沸騰IHジャー炊飯器
9	46	無制限.idms		メンズシェーバー

## テンプレート

- ① スニペットを配置したいフレームを選択



- ② オブジェクトスタイルに「データ接続」グループを作成するか、既にある場合は選択

- ③ 「データ接続」グループ内に、組版データの項目名と同じ名前のスタイルを作成

## 配置するスニペット

- ① 流し込みたい文字範囲を選択



- ② 「データ接続」グループを作成するか、既にある場合は選択

- ③ 「データ接続」グループ内に、組版データの項目名と同じ名前のスタイルを作成する

## 組版結果

- フレームに自動組版したスニペットが配置されました



## 発生するスニペットを自動組版するには

### 組版用テキストデータ

① アンカー付オブジェクトタグを入力

<@ 価格売出し区分 > は、隣の価格売出し区分の値 (0、1、2 のいずれか) になり、その結果、価格 0.idms、価格 1.idms、価格 2.idms となります

	J	K
1	価格	価格売出し区分
12	<AnchoredObj=<oLinkPath:価格<@価格売出し区分>.idms><税込価格:298>>	0
13	<AnchoredObj=<oLinkPath:価格<@価格売出し区分>.idms><税込価格:500>>	0
14	<AnchoredObj=<oLinkPath:価格<@価格売出し区分>.idms><税込価格:378>>	0
15	<AnchoredObj=<oLinkPath:価格<@価格売出し区分>.idms><税込価格:298>>	0
16	<AnchoredObj=<oLinkPath:価格<@価格売出し区分>.idms><税込価格:298>>	1
17	<AnchoredObj=<oLinkPath:価格<@価格売出し区分>.idms><税込価格:278>>	0
18	<AnchoredObj=<oLinkPath:価格<@価格売出し区分>.idms><税込価格:248>>	0
19	<AnchoredObj=<oLinkPath:価格<@価格売出し区分>.idms><税込価格:498>>	0
20	<AnchoredObj=<oLinkPath:価格<@価格売出し区分>.idms><税込価格:1,280>>	0
21	<AnchoredObj=<oLinkPath:価格<@価格売出し区分>.idms><税込価格:1,380>>	0
22	<AnchoredObj=<oLinkPath:価格<@価格売出し区分>.idms><税込価格:348>>	0
23	<AnchoredObj=<oLinkPath:価格<@価格売出し区分>.idms><税込価格:798>>	0
24	<AnchoredObj=<oLinkPath:価格<@価格売出し区分>.idms><税込価格:798>>	0
25	<AnchoredObj=<oLinkPath:価格<@価格売出し区分>.idms><税込価格:198>>	0
26	<AnchoredObj=<oLinkPath:価格<@価格売出し区分>.idms><税込価格:278>>	1

### テンプレート

① スニペットを発生したい文字範囲を選択



② 段落、または文字スタイルに「データ接続」グループを作成するか、既にある場合は選択

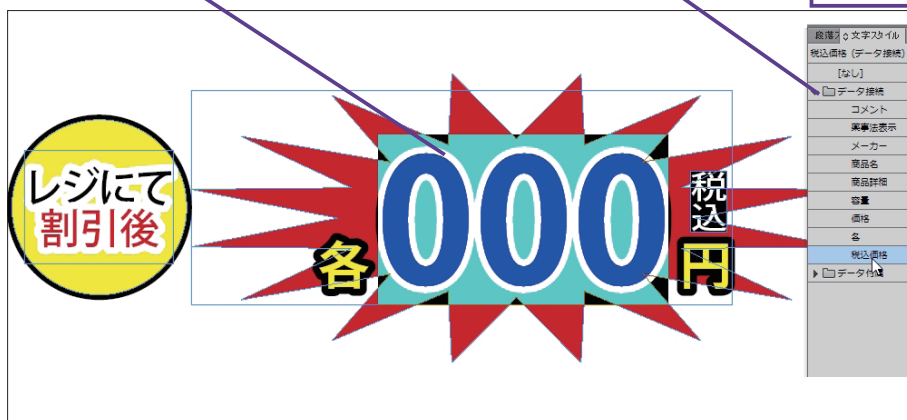
③ 「データ接続」グループ内に、組版データの項目名と同じ名前のスタイルを作成

## 発生するスニペット

① 流し込みたい文字範囲を選択

② [データ接続] グループを作成するか、既にある場合は選択

③ [データ接続] グループ内に、組版データの項目名と同じ名前のスタイル、または<@ 項目名: 項目データ>の項目名スタイルを作成する



## 組版結果

文章中に自動組版したスニペットが発生しました



# 項目データが空の時、関連する文字やオブジェクトを削除しよう

## 「データ付属」スタイルグループを作る

組版データ項目の値が空の場合に、データ付属／組版データ項目名（「データ付属」スタイルグループ内のスタイル）が適用されているオブジェクトを削除します。

文字を削除したい場合は、段落スタイルまたは文字スタイル、データ付属／組版データ項目名を文字範囲に適用します。

オブジェクトを削除したい場合は、オブジェクトスタイル、データ付属／組版データ項目名をオブジェクトに適用します。

例えば、価格データが空の時、テンプレートの文字「円」を削除したい場合、「円」に文字スタイル、データ付属／価格を適用します。オブジェクトでは、商品説明データが空の時に、商品説明のテキストフレームを削除したい場合、商品説明テキストフレームに、オブジェクトスタイル、データ付属／商品説明を適用します。

また、データ付属／組版データ項目名 1 | 組版データ項目名 2 と指定することもできます。この場合、組版データ項目名 1 または組版データ項目名 2 に付属となります。

例えば、【メーカー商品名】と組版されていて、【】に文字スタイル「データ付属／メーカー | 商品名」が適用されていた場合、メーカーと商品名、両方のデータが空だと【】が削除されます。



### 段落改行文字にデータ付属

段落改行文字に、文字スタイル「データ付属／組版データ項目名」を適用し、データが空の場合、段落を詰めて組版することができます。（※段落スタイルのデータ接続を使用した場合、段落スタイルは改行文字も含むため、自動で詰まります）メニューの【書式】【制御文字の表示】で段落改行文字を表示するとよいでしょう。

## データが空の時、関連する文字を削除するには

### 組版用テキストデータ

【容量】が空の場合があります

商品詳細	容量	各
・超コンパクト		各
・コンパクト		各
	(90g)	各
	(420ml)	各
	(100g)	各
	(100g)	各
	(420g)	

## テンプレート

① データが空の場合に削除したい文字範囲を選択



② 段落スタイル、または文字スタイルに「データ付属」グループを作成するか、既にある場合は選択

③ 「データ付属」グループ内に、組版用テキストデータの項目名と同じ名前のスタイルを作成

## 組版結果

「容量」が空なので、「データ付属／容量」スタイルを付けた段落改行が削除されました



## データが空の時、関連するオブジェクトを削除するには

### 組版用テキストデータ

「コメント」が空の場合があります

	K	L
1	価格売出し区分	コメント
21		0
22		0 すっごく吸い込む感をお試しください。
23		0 突発性の下痢に<000D>水なしで効く！
24		0 突発性の下痢に<000D>水なしで効く！
25		0 市場最薄ヘッド & 最細ネック！
26		1 みがかたび、強い歯へ！
27		1 みがかたび、強い歯へ！

## テンプレート

- ① データが空の場合に削除したいオブジェクトを選択



- ② オブジェクトスタイルに「データ付属」グループを作成するか、既にある場合は選択

- ③ 「データ付属」グループ内に、組版用テキストデータの項目名と同じ項目名のスタイルを作成

## 組版結果

- ① 「コメント」が空なので、テキストフレームが削除されました



# 表組を組版しよう（エクセルファイル）

## 表スタイルに「データ接続」スタイルグループを作る

表スタイル、データ接続／組版データ項目名（「データ接続」スタイルグループ内のスタイル）が適用されている表組オブジェクトに、組版データのエクセルファイルのシートを配置します。例えば、表スタイル「データ接続」スタイルグループ内の「価格表」スタイルが適用されている表組には、「価格表」項目データの表組ファイルを配置します。

複数箇所に同一スタイルを適用した場合は、複数箇所に同じ表組ファイルを配置します。

スタイルが適用されている表組の組版属性をオーバーライド（スタイル名に+が表示）しても、表組ファイルを配置します。

アンカー付オブジェクトの表組や、グループ化された表組などにも配置可能です。



サポートしているエクセルファイル

Excel ブック [xlsx]  
Excel マクロ有効ブック [xlsm]  
Excel97-2003 [xls]

## スタイルやスウォッチが、エクセルからインデザインの属性変換テーブル

エクセルファイルを配置する場合、表組にセルスタイル、文字スタイル、段落スタイル、スウォッチが適用されます。

各スタイル名やスウォッチ名が、テンプレートにない場合は、自動作成し適用しますが、既にテンプレートにある場合は、既存スタイルやスウォッチを適用します。例えば、文字スタイル「価格表／MS Pゴシック\_8」の基本文字形式が、フォント：小塚ゴシック Pro、サイズ：12Q と設定してあるテンプレートを使用すれば、エクセル上で、フォントがMS Pゴシック、フォントサイズが8の文字は全て、フォントが小塚ゴシック Pro、サイズが12Qになります。

同様にスウォッチも「XLS/R=255 G=0 B=0」のCMYK 値を C=0,M=100,Y=0,K=0 と設定してあるテンプレートを使用すれば、エクセル上で、R=255 G=0 B=0 の色は全て、マゼンタ (M=100) になります。つまり、テンプレートの段落・文字・セルスタイル、スウォッチは、エクセルからインデザインへの属性変換テーブルともいえます。

表幅は、テンプレートの表幅に合わせます。

列幅は、エクセルの列幅を使用します。（表幅に対しての割合）

行の高さは、テンプレートの行の高さを使用します。

また、表幅、列幅、行の高さは、設定で変更する事ができます。詳しくはセクション 29「表組の設定をしよう」.30「表組の列設定をしよう」.31「表組の行設定をしよう」をご覧ください。

## エクセル RGB 色を CMYK に変換する

エクセルで使用されている色は全て、CMYK のスウォッチに変換します。

スウォッチ名は、エクセルの RGB 値を示した XLS/R=0 ～ 255 G=0 ～ 255 B=0 ～ 255 です。CMYK 値は、RGB 色の近似値です。

## エクセルの罫線を変換する

エクセルの罫線は、InDesign の線種と線幅に変換します。変換値は以下の図です。

エクセル罫線	インデザイン線種	インデザイン線幅(mm)
なし	ベタ	0
.....	点線 (3 & 2)	0.25
-----	点線 (4 & 4)	0.25
-----	点線 (4 & 4)	0.25
-----	点線 (4 & 4)	0.25
-----	点線 (3 & 2)	0.25
-----	ベタ	0.25
-----	点線 (4 & 4)	0.5
-----	点線 (4 & 4)	0.5
-----	点線 (4 & 4)	0.5
-----	点線 (4 & 4)	0.5
-----	ベタ	0.5
-----	ベタ	0.75
=====	二重線	0.1

この変換値は変更する事ができます。詳しくはセクション 32「エクセル罫線の変換設定をしよう」をご覧ください。

## エクセルのセル属性を変換する

適用されるセルスタイルの名前は、

組版データ項目名／文字方向\_縦位置\_セル背景色

となります。

文字方向は、縦書きの場合のみ「縦組」が入ります。

縦位置は、「上揃え」「中央揃え」「下揃え」「均等配置」です。

セル背景色は、R=0～255 G=0～255 B=0～255 です。

## エクセルの文字属性を変換する

セル内の文字には、段落スタイルと文字スタイルが適用されます。

適用される文字スタイルの名前は、

組版データ項目名／フォント名\_太字\_斜体\_文字サイズ\_文字色\_下線種別\_取り消し線\_文字位置

となります。

文字色は、R=0～255 G=0～255 B=0～255 です。

下線種別は、「下線」または「二重下線」です。

文字位置は、「上付き」または「下付き」です。

適用される段落スタイルの名前は、

セル書式設定の横位置が標準以外の場合、

組版データ項目名／横位置インデント値

となります。

例えば、エクセル上で、MS Pゴシック、フォントサイズが8、文字色がR=255 G=0 B=0、横位置が中央揃えの場合、

文字スタイル名、価格表／MS Pゴシック\_8\_R=255 G=0 B=0

段落スタイル名、価格表／中央揃え

となります。（「価格表」項目のエクセルファイルを配置する場合）

文字スタイルは、フォント名のスタイルを基準スタイルとします。

上記の例では、

価格表／MS Pゴシック \_8\_R=255 G=0 B=0 スタイルの基準スタイルは、

価格表／MS Pゴシックです。

## エクセルファイルのシートを表組にするには

### 組版用テキストデータ

- ① エクセルファイル名とシートを入力  
(※シート名は省略可)

	J	K	L	M	
1	部屋タイプ表	詳細	朝食付	宿泊日カレンダー表	旅行代
2	ホテルイースト21東京.xlsx 部屋タイプ	●チェックイン／14:00<00	1,500	ホテルイースト21東京.xlsx カレンダー	■旅行
3	京成ホテルミラマーレ.xlsx 部屋タイプ	●チェックイン／13:00●	1,200	京成ホテルミラマーレ.xlsx カレンダー	■旅行
4	東武ホテルレバント東京.xlsx 部屋タイプ	●チェックイン／14:00<00	1,500	東武ホテルレバント東京.xlsx カレンダー	■旅行
5					
6					

### 表組用エクセルデータ

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1		JRセットプラン(富山発着)				追加宿泊代金			
2	宿泊日	デラックスツイン	セミダブル	スタンダードツイン スタンダードダブル		デラックスツイン	セミダブル	スタンダードツイン スタンダードダブル	
3		4名1室	3名1室	2名1室	2名1室	4名1室	3名1室	2名1室	2名1室
4		22,700	24,800	22,700	24,800	3,900	3,900	3,900	6,100
5		23,300	25,400	23,300	25,400	5,300	5,300	5,300	7,500
6		23,900	26,100	23,900	26,100	6,500	6,500	6,500	8,700
7		25,000	27,200	25,000	27,200	9,300	9,300	9,300	11,700
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									

### テンプレート

- ① 文字ツールで配置したい  
表組のセルをクリック

- ② 表スタイルに「データ接続」グループ  
を作成するか、既にある場合は選択

■旅行代金：お一人様 基本代金 + JR 加減代金				
■基本代金 / 大学生（大学院生）・短大生・各種専門学生 / お一人様・1泊2日食				
	JRセットプラン(富山発着)			
	モデルーツイン	スタジオツイン	ダブル	
	3名1室	2名1室	2名1室	2名1
	22,700	24,800	24,800	23,
	23,300	25,400	23,300	23,
	23,900	26,100	23,900	24,
	25,000	27,200	25,000	25,
	25,600	27,800	27,800	25,

- ③ 「データ接続」グループ内に、  
組版データの項目名と同じ名  
前のスタイルを作成

## 組版結果

エクセルシートが表組になりました

1. 無料ツールの文字あふれ処理を使用し、設定値を、「あふれ文字全て処理する」にチェックをいれて実行しました。
2. 文字あふれ処理の設定値を、文字スタイル「価格表/MS Pゴシック\_10\_R=255 G=255 B=255」、1行以下にする、変形、60% 限度で実行しました。

### Tokyo Disney Resort. Good Neighbor Hotels

#### オークラホテルズホテルイースト21東京

**4 24時間滞在OK! (リフトアクセス外1400)**

部屋タイプ	定員数	部屋の広さ	正ベッド幅	エキストラベッド幅
デラックス	4名	34.5㎡	110cm×2台	100cm×1台+95cm×1台
スタンダードツイン	2名	27.0㎡	110cm×2台	100cm×1台
スタンダードダブル	2名	27.0㎡	180cm×1台	—
セミダブル	2名	19.5㎡	120cm×1台	—

●チェックイン/14:00 ●チェックアウト/12:00 (通常11:00)  
●洋室/バス・トイレ付  
●朝食/和洋バイキング (朝食付プランのみ)  
●交通のご案内/東京メトロ東西線東洋町より徒歩7分

**朝食付プランは (お一人様1名につき) 1,500円増**

■旅行代金: お一人様 基本料金+宿泊料金+朝食料金+交通料金+税金 (単位: 円)

宿泊日	デラックスツイン	スタンダードツイン	スタンダードダブル	セミダブル
4名1室	22,700	24,800	22,700	24,800
3名1室	22,700	24,800	22,700	24,800
2名1室	22,700	24,800	22,700	24,800
1名1室	22,700	24,800	22,700	24,800
4名1室	3,900	3,900	3,900	3,900
3名1室	3,900	3,900	3,900	3,900
2名1室	3,900	3,900	3,900	3,900
1名1室	3,900	3,900	3,900	3,900
4名1室	5,300	5,300	5,300	5,300
3名1室	5,300	5,300	5,300	5,300
2名1室	5,300	5,300	5,300	5,300
1名1室	5,300	5,300	5,300	5,300
4名1室	6,500	6,500	6,500	6,500
3名1室	6,500	6,500	6,500	6,500
2名1室	6,500	6,500	6,500	6,500
1名1室	6,500	6,500	6,500	6,500
4名1室	9,300	9,300	9,300	9,300
3名1室	9,300	9,300	9,300	9,300
2名1室	9,300	9,300	9,300	9,300
1名1室	9,300	9,300	9,300	9,300

### Tokyo Disney Resort. Good Neighbor Hotels

#### 京成ホテルミラマール

**6 700円引!**

部屋タイプ	定員数	部屋の広さ	正ベッド幅	エキストラベッド幅
スタンダードツイン	2名	27.0㎡	110cm×2台	90cm×2台
スタンダードダブル	2名	18.0㎡	120cm×1台	90cm×3台
ダブル	2名	21㎡	150cm×1台	—

●チェックイン/13:00 ●チェックアウト/11:00  
●洋室/バス・トイレ付  
●朝食/バイキング (朝食付プランのみ)  
●交通のご案内/ JR千代田線より徒歩8分

**朝食付プランは (お一人様1名につき) 1,200円増**

■旅行代金: お一人様 基本料金+宿泊料金+朝食料金+交通料金+税金 (単位: 円)

宿泊日	スタンダードツイン	スタンダードダブル	ダブル
3名1室	22,700	24,800	24,800
2名1室	22,700	24,800	24,800
1名1室	22,700	24,800	24,800
3名1室	3,700	5,800	3,700
2名1室	3,700	5,800	3,700
1名1室	3,700	5,800	3,700
3名1室	4,300	6,400	4,300
2名1室	4,300	6,400	4,300
1名1室	4,300	6,400	4,300
3名1室	4,900	7,100	4,900
2名1室	4,900	7,100	4,900
1名1室	4,900	7,100	4,900
3名1室	6,000	8,200	6,000
2名1室	6,000	8,200	6,000
1名1室	6,000	8,200	6,000
3名1室	6,600	8,800	6,600
2名1室	6,600	8,800	6,600
1名1室	6,600	8,800	6,600

## 表組を組版しよう (csv、txt、tsv ファイル)

### 表スタイルに「データ接続」スタイルグループを作る

表スタイル、データ接続／組版データ項目名（「データ接続」スタイルグループ内のスタイル）が適用されている表組オブジェクトに、組版データの csv、txt、tsv ファイルを配置します。

例えば、表スタイル「データ接続」スタイルグループ内の「価格表」スタイルが適用されている表組には、価格表項目データの表組ファイルを配置します。

複数箇所に同一スタイルを適用した場合は、複数箇所に同じ表組ファイルを配置します。

スタイルが適用されている表組の組版属性をオーバーライド（スタイル名に+が表示）しても、表組ファイルを配置します。

アンカー付オブジェクトの表組や、グループ化された表組などにも配置可能です。

### csv、txt、tsv ファイルを配置する

csv、txt、tsv ファイルを配置する場合、テンプレート表組の文字属性、罫線、色を使用します。

データ中にセルの InDesign タグを使用し、セル背景色、列幅、行の高さ、セル組方向、罫線などを変更できます。

詳しくは、セクション 9 「インデザインタグとリンクキューブ拡張タグを使おう」をご覧ください。

表幅は、テンプレートの表幅に合わせます。

列幅は、テンプレートの列幅を使用します。テンプレート列数とデータ列数が異なる場合、最後の列を使用します。

行の高さは、テンプレートの行の高さを使用します。テンプレート行数とデータ行数が異なる場合、最後の行を使用します。

表幅、列幅、行の高さは、設定で変更する事ができます。表幅を「成り行き」にしたり、テンプレート列数とデータ列数が異なる場合、最後の列ではなく、指定した列を増減する事ができます。詳しくはセクション 29 「表組の設定をしよう」.30 「表組の列設定をしよう」.31 「表組の行設定をしよう」をご覧ください。

また、セル結合はデータ値で判定します。

行方向に（次の行と）セル結合したい場合は、同じ値を入力します。

列方向に（次の列と）セル結合したい場合は、なにも入力しません。

例えば、以下の csv ファイルの場合、セル 1 は列方向にセル結合し、セル 2 は行方向にセル結合します。

セル 1,, セル 2

セル 3, セル 4, セル 2

## csv、txt、tsv ファイルを表組にするには

### 組版用テキストデータ

- 1 csv、txt、tsv ファイルのファイル名のみ入力

	D	E	F
1	素材グループ	画像	予約電話番号
2		ホテルイースト21東京	TEL 03-5683-5737
3		京成ホテルミラマーレ	TEL 043-222-2111
4	東武ホテルレバント東京-素材.csv	東武ホテルレバント東京	TEL 03-5611-5617
5			

### 表組用テキストデータ

	A	B	C	D	E
1	<cc:C=100 M=0 Y=0 K=0>素材グループ004<0008><cc:Black>B券<cc:C=0 M=100 Y=100 K=0>★3652-301				
2	販売素材	食事なし		朝食付	
3	販売素材	基本	なかよ4	基本	なかよ4
4	スタンダードツイン/<000D>カジュアルツイン	<cc:C=100 M=0 Y=0 K=0>032	<cc:C=100 M=0 Y=0 K=0>033	<cc:C=100 M=0 Y=0 K=0>034	<cc:C=100 M=0 Y=0 K=0>035

### テンプレート

- 1 文字ツールで配置したい表組のセルをクリック

素材

あ	あ	あ	あ	あ

表 | セルスタイルと表スタイル

素材グループ (データ接続)

[基本表]

▼ データ接続

素材グループ

価格表

部屋タイプ表

宿泊日カレンダー表

部屋タイプ

定員数

部屋の広

正ベッド幅

エキストラベッド幅

モテレートツ

2~3

27.0㎡

110cm×2

90cm×2台

- 2 表スタイルに [データ接続] グループを作成するか、既にある場合は選択

- 3 [データ接続] グループ内に、組版データの項目名と同じ名前のスタイルを作成

### 組版結果

csv、txt、tsv ファイルが表組になりました

無料ツールの文字あふれ処理を使用し、設定値を、文字スタイル「素材グループ文字」、1行以下にする、変形、50% 限度で実行しました。

素材グループ 004

B 券★ 3652-301

販売素材	食事なし	朝食付
	基本	なかよ4
スタンダードツイン/カジュアルツイン	032	033
	034	035

焼き菓子付! (滞在中1室につき1個)

# データ行毎にテンプレートを変えよう

## 組版データにテンプレート項目を用意する

組版データに項目名「テンプレート」があり、テンプレート名が入力してあれば、テンプレートを切り替えて自動組版します。

テンプレート名の入力がない場合は、組版実行で指定したテンプレートを使用します。

テンプレート名が見つからない場合は、ログで警告終了となり、詳細説明に見つからなかったファイル名を記載します。

## データ行毎にテンプレートを変えるには

### 組版用テキストデータ

① [テンプレート] 項目を用意

② テンプレートを変更したい行に、テンプレートファイル名を入力

	A	B	C	D	E	
1	テンプレート	No.	台数マーク	台数	カテゴリー	メーカー
	テンプレート大.idms	32	無制限大.idms		355ℓ片開き4ドア冷蔵庫	AQUA
2						
	テンプレート大.idms	33	限り大.idms	在庫限り	426ℓ片開き5ドア冷蔵庫	TOSHIBA
3						
		39	限り.idms	展示品限り	ポータブルナビゲーション	Panasonic
4						
		40	限り.idms	在庫限り	ウォークマン Fシリーズ	SONY
5						
		41	限り.idms	在庫・<000D>展示品限り	プリンタ複合機	Canon
6						
		42	限り.idms	在庫限り	USBメモリ	BUFFALO
7						

### 組版結果

入力したテンプレートに変更されました



## 複数データ行を表組にしよう（増減行）

### 複数データ行が1つの表組になる

頁をまたがる大きい表組、例えば、カラオケ本、チケット情報、表組型の名簿、表組型の索引や、1つの小組で、複数の商品コードが表組になっているカタログ、旅行行程表などに利用します。

自動組版は通常、1データ行で1小組を作成しますが、ここでの説明は、複数データ行を1つの表組として自動組版する方法です。複数データ行を1つとして扱うために、組版データに項目名「コマコード」が必要になります。「コマコード」のデータ値が、連続して同じものを1つとして扱います。例えば「コマコード」の値がAJ-001が3行続き、次にBJ-005が2行続けば、全体のデータ行数は5行ですが、作成する小組は2つです。

テンプレートの作成方法は、セル内の文字やオブジェクトに、文字・段落・オブジェクトスタイル「データ接続／組版データ項目名」を適用します。詳しくは、セクション10「文字を組版しよう」12「画像、動画、音声ファイルを配置しよう」14「スニペットを配置しよう」をご覧ください。

次に表スタイル、データエリア／増減行（「データエリア」スタイルグループ内の「増減行」スタイル）を表組に適用します。

テンプレート表組の1行分を使用し「データ接続／組版データ項目名」を適用すれば、データ行に合わせて1行単位で増減します。

テンプレート表組の3行分を使用し「データ接続／組版データ項目名」を適用すれば、データ行に合わせて3行単位で増減します。（データ行が2行なら6行の表組を作成）

また、組版データに項目名「増減行テンプレート」があり、テンプレート名（スニペットファイル名、.idmsは省略可）が入力されていると、行の途中でレイアウトを変更することができます。

組版データに項目名「増減行テンプレート」が不要な方法は、37「データ条件でテンプレートを切り替えよう」をご覧ください。

「増減行テンプレート」に入力されているレイアウト変更用表組に、ヘッダー行が含まれていても、本文行のみ組版します。

増減行の表組と、レイアウト変更用表組の列数を同じにする必要があります。列数を変化（列方向のセル結合）させたい場合、レイアウト変更用表組にヘッダー行（組版されない）を作成し、増減行の表組と列数を同じにします。列数が違う場合、ログに警告終了として記載されます。

増減行には、フィルター機能があります。増減行スタイル名に＜重複なし＞を含めると、増減行に含まれている組版データ項目値が全て重複している行を組版しません。例えば、データエリア／増減行＜重複なし＞とし、セル内の文字に「データ接続／サイズ」、「データ接続／価格」スタイル名があるとします。その場合、サイズ、価格の値が重複するデータ行は組版しません。

その他のフィルター機能として、＜項目名＝値＞、＜項目名！＝値＞があります。例えば、データエリア／増減行＜種別＝1＞とすれば、データ項目名「種別」の値が1のデータ行のみ組版します。！＝は反対の意味になります。＜種別！＝1＞とすれば、「種別」の値が1ではないデータ行のみ組版します。

1つの小組で2つ以上の増減行を組版したい場合は、表組に異なる増減行スタイル名を適用します。例えば、「増減行 - 価格」、「増減行 - 注文番号」など「増減行」から始まるスタイル名は全て、増減行の表組として扱います。



#### セル結合

増減行の表組と、レイアウト変更用表組のヘッダー列数を同じにしておく事で、列方向のセル結合を表現できます。行方向のセル結合は、セクション35「複数行データのまとめ設定をしよう」をご覧ください。

「増減行 - 価格」のレイアウトを途中で変更する場合は、組版データに項目名「増減行 - 価格テンプレート」を用意します。つまり、増減行スタイル名+「テンプレート」となります。

## 複数データ行を表組にするには

### 組版用テキストデータ

① [コマコード] 項目を用意

② コマコードに1つにしたい行分、同じ値を入力

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	コマコード	シリーズ	データ転送速度	データ転送能力	遅延時間	GB	枚数	品番	価格
2	SDY1600L	SDY1600L	PC3L<000D>12800	1600	11	2		SDY1600L-2G	5,600
3	SDY1600L	SDY1600L	PC3L<000D>12800	1600	11	4		SDY1600L-4G	9,000
4	SDY1600L	SDY1600L	PC3L<000D>12800	1600	11	8		SDY1600L-8G	19,200
5	SDY1600L	SDY1600L	PC3L<000D>12800	1600	11	4		SDY1600L-H4G	8,000
6	SDY1600	SDY1600	PC3<000D>12800	1600	11	2		SDY1600-2G	5,600
7	SDY1600	SDY1600	PC3<000D>12800	1600	11	4		SDY1600-4G	9,000
8	SDY1600	SDY1600	PC3<000D>12800	1600	11	8		SDY1600-8G	19,200
9	SDY1600	SDY1600	PC3<000D>12800	1600	11	2	2	SDY1600-2Gx2	11,000
10	SDY1600	SDY1600	PC3<000D>12800	1600	11	4	2	SDY1600-4Gx2	17,200
11	SDY1600	SDY1600	PC3<000D>12800	1600	11	8	2	SDY1600-8Gx2	36,800
12	SDY1333	SDY1333	PC3<000D>10600	1333	9	2		SDY1333-2G	5,600
13	SDY1333	SDY1333	PC3<000D>10600	1333	9	4		SDY1333-4G	8,000
14	SDY1333	SDY1333	PC3<000D>10600	1333	9	8		SDY1333-8G	17,200
15	SDY1333	SDY1333	PC3<000D>10600	1333	9	2	2	SDY1333-2Gx2	11,000
16	SDY1333	SDY1333	PC3<000D>10600	1333	9	4	2	SDY1333-4Gx2	15,000
17	SDY1333	SDY1333	PC3<000D>10600	1333	9	1		SDY1333-H1G	3,000
18	SDY1333	SDY1333	PC3<000D>10600	1333	9	2		SDY1333-H2G	5,000
19	SDY1066	SDY1066	PC3<000D>8500	1066	7	2		SDY1066-2G	5,600

### テンプレート

① セル内の文字範囲やオブジェクトに「データ接続/組版データ項目名」を適用

② 文字ツールで配置したい表組のセルをクリック

**SDY1600L**シリーズ(Windows 専用モデル)

Win PC3 12800 転送レート 12800 CL=5 204ピン S.O.DIMM

2GB×2枚 **SDY1600-2GX2** ¥36,800

表 セルスタイル 表スタイル

増減行+ (データエリア)

[基本表]

▼ データエリア

増減行+

③ 表スタイルに [データエリア] グループを作成するか、既にある場合は選択

④ [データエリア] グループ内に、[増減行] スタイルを作成

## 組版結果

同一コマコード行分の表組が組版されました

SDY1600 シリーズ (Windows 専用モデル)			
Win	PC3 12800	転送レート 1600	CL=11 204ピン S.O.DIMM
2GB	SDY1600-2G		¥5,600
4GB	SDY1600-4G		¥9,000
8GB	SDY1600-8G		¥19,200
2GB × 2枚	SDY1600-2GX2		¥11,000
4GB × 2枚	SDY1600-4GX2		¥17,200
8GB × 2枚	SDY1600-8GX2		¥36,800

## 複数データ行の途中で、行レイアウトを変えるには

### 組版用テキストデータ

① [増減行テンプレート] 項目を用意

② 表組行のテンプレートを変更したい行に、テンプレートファイル名 (idms) を入力

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	コマコード	増減行テンプレート	シリーズ	データ転送速度	データ転送能力	遅延時間	モデル	GB	枚数	品番	価格
2	SDY1600L	モデル付き	SDY1600L	PC3L<000D>12800	1600	11	低電圧対応モデル	2		SDY1600L-2G	5,600
3	SDY1600L		SDY1600L	PC3L<000D>12800	1600	11	低電圧対応モデル	4		SDY1600L-4G	9,000
4	SDY1600L		SDY1600L	PC3L<000D>12800	1600	11	低電圧対応モデル	8		SDY1600L-8G	19,200
5	SDY1600L	モデル付き	SDY1600L	PC3L<000D>12800	1600	11	低電圧対応低消費電力モデル	4		SDY1600L-H4G	8,000
6	SDY1600		SDY1600	PC3<000D>12800	1600	11		2		SDY1600-2G	5,600
7	SDY1600		SDY1600	PC3<000D>12800	1600	11		4		SDY1600-4G	9,000
8	SDY1600		SDY1600	PC3<000D>12800	1600	11		8		SDY1600-8G	19,200
9	SDY1600		SDY1600	PC3<000D>12800	1600	11		2	2	SDY1600-2GX2	11,000
10	SDY1600		SDY1600	PC3<000D>12800	1600	11		4	2	SDY1600-4GX2	17,200
11	SDY1600		SDY1600	PC3<000D>12800	1600	11		8	2	SDY1600-8GX2	36,800
12	SDY1333		SDY1333	PC3<000D>10600	1333	9		2		SDY1333-2G	5,600
13	SDY1333		SDY1333	PC3<000D>10600	1333	9		4		SDY1333-4G	8,000
14	SDY1333		SDY1333	PC3<000D>10600	1333	9		8		SDY1333-8G	17,200
15	SDY1333		SDY1333	PC3<000D>10600	1333	9		2	2	SDY1333-2GX2	11,000
16	SDY1333		SDY1333	PC3<000D>10600	1333	9		4	2	SDY1333-4GX2	15,000
17	SDY1333	モデル付き	SDY1333	PC3<000D>10600	1333	9	低消費電力モデル	1		SDY1333-H1G	3,000
18	SDY1333		SDY1333	PC3<000D>10600	1333	9		2		SDY1333-H2G	5,000
19	SDY1066		SDY1066	PC3<000D>8500	1066	7		2		SDY1066-2G	5,600

## テンプレート

① セル内の文字範囲やオブジェクトに [データ接続/組版データ項目名] を適用

② 表組に表スタイル [データエリア/増減行] を適用

SDY1600L シリーズ (Windows 専用モデル)			
Win	PC3 12800	転送レート 12800	CL=5 204ピン S.O.DIMM
2GB × 2枚	SDY1600-2GX2		¥36,800

表 セルスタイル 表スタイル

増減行+ (データエリア)

[基本表]

▼ データエリア

増減行+

## レイアウト変更用増減行テンプレート

① セル内の文字範囲やオブジェクトに  
[データ接続/組版データ項目名] を適用

② 列数は同じにしておく

レイアウト変更用の表は、[データ  
エリア/増減行] スタイルを適用す  
る必要はありません

低電圧対応モデル			
2GB × 2枚	SDY1600L-H4G	¥36,800	

配置	文字スタイル	オブジェクト
品番 (データ接続)		
[なし]		
▼ データ接続		
シリーズ		
GB		
枚数		
価格		
データ転送速度		
データ転送能力		
遅延時間		
品番		
モデル		
▼ データ付属		
枚数		

## 組版結果

増減行の途中でレイアウト  
が変更されました

SDY1600Lシリーズ (Windows 専用モデル)				
Win	PC3L 12800	転送レート 1600	CL=11	204ピン S.O.DIMM
低電圧対応モデル				
2GB	SDY1600L-2G		¥5,600	
4GB	SDY1600L-4G		¥9,000	
8GB	SDY1600L-8G		¥19,200	
低電圧対応低消費電力モデル				
4GB	SDY1600L-H4G		¥8,000	

# 複数データ行を組版しよう (増減テキスト)

## 複数データ行から1つの文章を作る

ページをまたがる文章、例えば、辞典、参考書、名簿、索引、ユーザーガイドなどに利用します。

複数データ行を1つとして扱うために、組版データに項目名「コマコード」が必要になります。「コマコード」については、セクション21「複数データ行を表組にしよう（増減行）」をご覧ください。

テンプレートの作成方法は、1つのテキストフレーム内の文字やオブジェクトに、文字・段落・オブジェクトスタイル「データ接続／組版データ項目名」を適用します。詳しくは、セクション10「文字を組版し

よう」.12「画像、動画、音声ファイルを配置しよう」.14「スニペットを配置しよう」をご覧ください。

次にオブジェクトスタイル、データエリア／増減テキスト（「データエリア」スタイルグループ内の「増減テキスト」スタイル）をテキストフレームに適用します。

あらかじめページ数がわからない場合は、InDesignの「スマートテキストのリフロー処理」機能を使用してください。

組版データに項目名「増減テキストテンプレート」があり、テンプレート名（スニペットファイル名、.idmsは省略可）が入力されていると、文章の途中でレイアウトを変更することができます。

組版データに項目名「増減テキストテンプレート」が不要な方法は、37「データ条件でテンプレートを切り替えよう」をご覧ください。

増減テキストには、フィルター機能があります。増減テキストスタイル名に＜項目名＝値＞または＜項目名！＝値＞を含めると、項目値に一致または一致しないデータ行のみ組版します。例えば、データエリア／増減テキスト＜種別＝1＞とすれば、データ項目名「種別」の値が1のデータ行のみ組版します。！＝は反対の意味になります。＜種別！＝1＞とすれば、「種別」の値が1ではないデータ行のみ組版します。

1つの小グループで2つ以上の増減テキストを組版したい場合は、テキストフレームに異なる増減テキストスタイル名を適用します。例えば、「増減テキスト - 価格」、「増減テキスト - 注文番号」など「増減テキスト」から始まるスタイル名は全て、増減テキストのテキストフレームとして扱います。

「増減テキスト - 価格」のレイアウトを途中で変更する場合は、組版データに項目名「増減テキスト - 価格テンプレート」を用意します。つまり、増減テキストスタイル名＋「テンプレート」となります。



### ユーザーガイド

このユーザーガイドは、増減テキストを使用し作成しました。セクションが同一コマコードで、帯見出し（～するには）が1行分のデータです。

1. 自動組版
2. 画面イメージの操作手順位置や、指示線などを手作業で調整
3. ブックファイルにし、PDF出力という作業手順です。

## 複数データ行を、増減テキストで組版するには

### 組版用テキストデータ

① [コマコード] 項目を用意

② コマコードに1つにしたい行分、同じ値を入力

	A	B	C	D	
1	コマコード	Section番号	章タイトル	タイトル	本文
20	複数データ行を組版しよう(増減テキスト)	26	テンプレートの機能	複数データ行を組版しよう(増減テキスト)	<p>【見出し】複数データ行か</p> <p>【本文】ページをまたがる</p> <p>複数データ行を1つとして</p> <p>さい。</p> <p>テンプレートの作成方法</p> <p>ン「文字を組版しよう」「画</p> <p>次にオブジェクトスタイル、</p> <p>あらかじめページ数がわか</p> <p>また、組版データに項目名</p> <p>ができます。</p>
	複数データ行を組版しよう(増減テキスト)	26	テンプレートの機能	複数データ行を組版しよう(増減テキスト)	

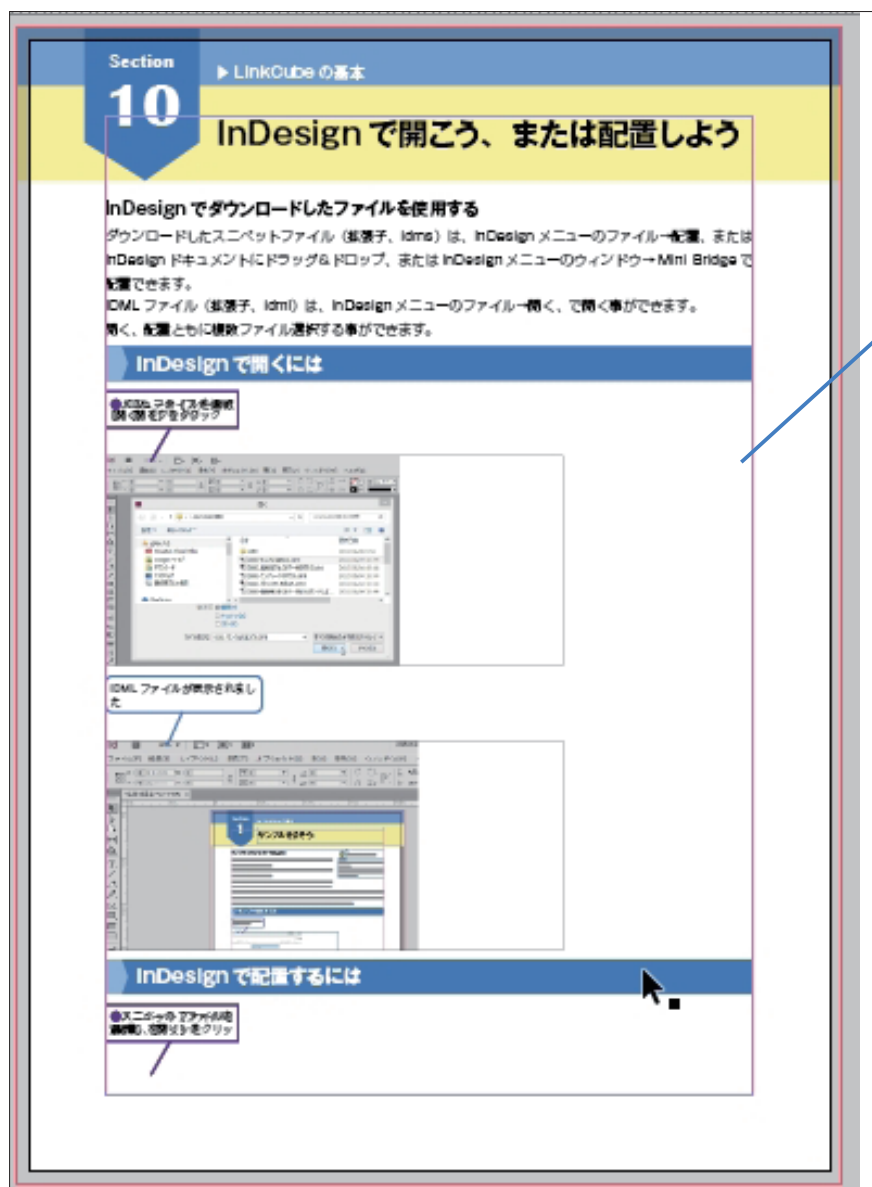
### テンプレート

① テキストフレームの文字範囲やオブジェクトに [データ接続/組版データ項目名] を適用

② 選択ツールで、流し込みたいテキストフレームを選択

③ オブジェクトスタイルに [データエリア] グループを作成するか、既にある場合は選択

④ [データエリア] グループ内に、[増減テキスト] スタイルを作成



同一コマコード行分の文章  
が組版されました

## 複数データ行の途中で、増減テキストレイアウトを変えるには

### 組版用テキストデータ

① [増減テキストテンプレート] 項目を用意

② 増減テキストで、テンプレート変更したい行に、テンプレートファイル名 (idms) を入力

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	
1	コマコード	増減テキストテンプレート	章番号	章見出し	大見出し	中見出し	重要度	用語文字数+2	用語	解説
2	世界のすがた	大見出しテンプレート	1	世界のすがた	1 地球のすがた	① 六大陸と三大洋	1	4	大陸	地球上 オースト <0000
3	世界のすがた		1	世界のすがた	1 地球のすがた	① 六大陸と三大洋	1	9	ユーラシア大陸	六大陸 州と東
4	世界のすがた		1	世界のすがた	1 地球のすがた	① 六大陸と三大洋	1	6	南極大陸	六大陸 によって
5	世界のすがた		1	世界のすがた	1 地球のすがた	① 六大陸と三大洋	2	4	陸地	地球表 <0000
6	世界のすがた		1	世界のすがた	1 地球のすがた	① 六大陸と三大洋	4	12	プレートテクトニクス	地球上 たり地
7	世界のすがた	中見出しテンプレート	1	世界のすがた	1 地球のすがた	② 地図と地球儀	1	5	地球儀	じめに、 クスの考
8	世界のすがた		1	世界のすがた	1 地球のすがた	② 地図と地球儀	4	11	図法 (地図投影法)	地球の 緯線、 い距離

### テンプレート

① テキストフレームの文字範囲やオブジェクトに [データ接続/組版データ項目名] を適用

② テキストフレームにオブジェクトスタイル [データエリア / 増減テキスト] を適用

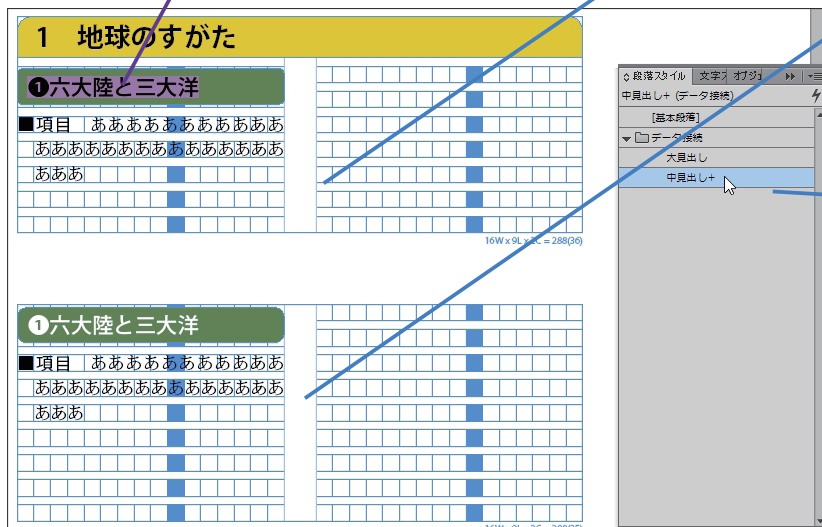


## レイアウト変更用増減テキストテンプレート

① テキストフレームの文字範囲やオブジェクトに「データ接続／組版データ項目名」を適用

大見出しテンプレート .idms

中見出しテンプレート .idms



レイアウト変更用のテキストフレームは、[データエリア／増減テキスト] スタイルを適用する必要はありません

## 組版結果

増減テキストの途中でレイアウトが変更されました



# 複数データ行をまとめて組版しよう（統合テキスト）

## 複数データ行から、重複部分を除いて1つのテキストを作る

複数商品を、1つの小組にまとめるチラシなどに利用します。1つの小組にまとめるためには、複数行データの重複部分、内容の前後関係などを考慮する必要がありますが、全て自動で判断し、組版します。

複数データ行を1つとして扱うために、組版データに項目名「コマコード」が必要になります。「コマコード」については、セクション 21「複数データ行を表組にしよう（増減行）」をご覧ください。

テンプレートの作成方法は、1つのテキストフレーム内の文字やオブジェクトに、文字・段落・オブジェクトスタイル「データ接続／組版データ項目名」を適用します。詳しくは、セクション 10「文字を組版しよう」.12「画像、動画、音声ファイルを配置しよう」.14「スニペットを配置しよう」をご覧ください。

次にオブジェクトスタイル、データエリア／統合テキスト（「データエリア」スタイルグループ内の「統合テキスト」スタイル）をテキストフレームに適用します。

データエリア／統合テキストを適用したテキストフレーム内の文字は、項目データ重複や前後関係を考慮したテキスト内容になります。



### 複数の統合テキストフレーム

1つの小組で統合テキストフレームを2つ以上使いたい場合は、それぞれ別の名前にします。例えば、商品説明・統合テキスト、価格・統合テキストなどです。オブジェクトスタイル名は、統合テキストで終わる必要があります。

## 複数データ行を、統合テキストでまとめて組版するには

### 組版用テキストデータ

① [コマコード] 項目  
を留意

② コマコードに1つにしたい  
行分、同じ値を入力

	A	B	C	
1	コマコード	メーカー	メーカーロゴ	商品名
2	A	P&G	/LCサンプル画像/LCちらし/<@メーカー>.jpg	h&s for men<000D>ポリ
3	A	P&G	/LCサンプル画像/LCちらし/<@メーカー>.jpg	h&s for men<000D>ポリ
4	B	P&G	/LCサンプル画像/LCちらし/<@メーカー>.jpg	h&s for men<000D>ポリ
5	B	P&G	/LCサンプル画像/LCちらし/<@メーカー>.jpg	h&s for men<000D>ポリ
6	C	P&G	/LCサンプル画像/LCちらし/<@メーカー>.jpg	プログラインドシルバー
7	D	ユニ・チャーム	/LCサンプル画像/LCちらし/<@メーカー>.jpg	ソフィボディフィット
8	D	ユニ・チャーム	/LCサンプル画像/LCちらし/<@メーカー>.jpg	ソフィボディフィット
9	E	ユニ・チャーム	/LCサンプル画像/LCちらし/<@メーカー>.jpg	ソフィはだおもい
10	F	P&G	/LCサンプル画像/LCちらし/<@メーカー>.jpg	アリエールスピードブラ
11	F	P&G	/LCサンプル画像/LCちらし/<@メーカー>.jpg	アリエールスピードブラ
12	G	P&G	/LCサンプル画像/LCちらし/<@メーカー>.jpg	レノアハピネス
13	G	P&G	/LCサンプル画像/LCちらし/<@メーカー>.jpg	レノアハピネス
14	H	P&G	/LCサンプル画像/LCちらし/<@メーカー>.jpg	ファブリーズ
15	I	ユニ・チャーム	/LCサンプル画像/LCちらし/<@メーカー>.jpg	チャームナップ<000D>吸
16	J	ユニ・チャーム	/LCサンプル画像/LCちらし/<@メーカー>.jpg	ソフィ超熟睡ガード
17	K	ライオン	/LCサンプル画像/LCちらし/<@メーカー>.jpg	トップ<000D>HYGIA(ハ
18	L	ライオン	/LCサンプル画像/LCちらし/<@メーカー>.jpg	香り<000D>デオドラ
19	M	ライオン	/LCサンプル画像/LCちらし/<@メーカー>.jpg	ルック<000D>おふろの
20	M	ライオン	/LCサンプル画像/LCちらし/<@メーカー>.jpg	ルック<000D>おふろの

## テンプレート

① テキストフレームの文字範囲やオブジェクトに「データ接続／組版データ項目名」を適用

② 選択ツールで、まとめ組版したいテキストフレームを選択

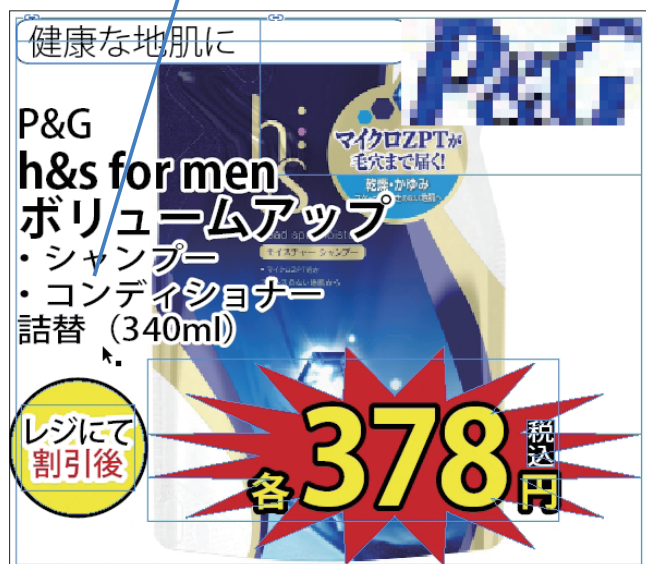


③ オブジェクトスタイルに「データエリア」グループを作成するか、既にある場合は選択

④ オブジェクトスタイル「データエリア」グループ内に「統合テキスト」スタイルを作成

## 組版結果

同一コマコード行分の統合テキストフレームがまとめ組版されました



# 

## 

### 

#### 

##### 

###### 

###### 

###### 

###### 

###### 

###### 

###### 

###### 

###### 

###### 

###### 

###### 

###### 

###### 

###### 

###### 

###### 

###### 

###### 

###### 

###### 

###### 

###### 

######

## 小組を複数配置したテンプレートを自動組版するには

### 組版用テキストデータ

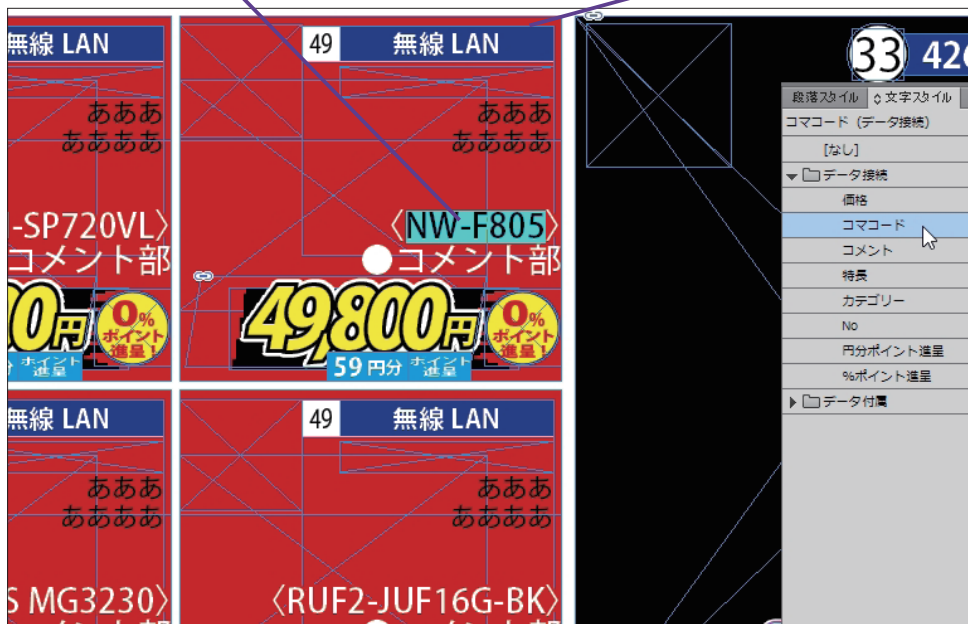
① [コマコード] 項目を用意

メーカー	特長	コマコード	価格	価格バク
Panasonic	(7V型ワイドVGA液晶) (ワンセグチューナー内蔵) (FM-VICS標準対応) (バッテリー内蔵)	CN-SP720VL	XXX	/LOサン
SONY	(3.5インチ液晶)<000D>(Bluetooth対応)<000D>	NW-F805	XXX	/LOサン
Canon	[自動両面印刷(ハガキ非対応)]	PXUS MG3230	XXX	/LOサン
BUFFALO	(USB2.0)<000D>[<cSize:13Q>16GB]	RUF2-JUF16G-BK	XXX	/LOサン
SHARP	(親機表示:カナ)(子機表示:カナ)<000D>[ワン	UX-310CL-W	XXX	/LOサン
SHARP	[庫内容量26&lt;>000D><AnchoredObj=<oLinkPa	RE-S26F-B	XXX	/LOサン
MITSUBISHI	[5.5合炊]<000D><AnchoredObj=<oLinkPath:省	NJ-E10J1-W	XXX	/LOサン
IZUMI	(2枚刃)<000D>(充電)<000D>(水洗いOK)	IZFV20-S	XXX	/LOサン
KEYO	(12V/24V対応) (音声録音可能) (静止画撮影可能) (動態検知機能付) (2GB SDカード付属) (バッテリー内蔵)	AN-R007	XXX	/LOサン
LACIE	[<cSize:13Q>2TB]	LCH-MND020U3	XXX	/LOサン

### テンプレート

① 段落スタイルまたは文字スタイル、データ接続/コマコードを適用

② 小組単位でグループ化するか、小組が1つのテキストフレームの場合、オブジェクトスタイル [データエリア/コマフレーム] を適用



### 組版結果

配置済みの小組が自動組版されました

## 一部分だけ自動組版するには

### 組版用テキストデータ

① [コマコード] 項目を用意

② 組版したい項目のみ用意

コマコード	価格	価格バクダン	%ポイント進呈	円分ポイント進呈
AQR-361B-S	60,800			
CN-SP720VL	49,800	/LOサンプル画像/LO電機チラシ/バクダン		
NW-F805	16,800	/LOサンプル画像/LO電機チラシ/バクダン		
PIXUS MG3230	5,880	/LOサンプル画像/LO電機チラシ/バクダン		59
RUF2-JUF16G-BK	850	/LOサンプル画像/LO電機チラシ/バクダン	5	43

## テンプレート

「小组を複数配置したテンプレートを自動組版するには」  
の組版結果

## 組版結果



複数の配置済みテンプレートを一度に自動組版するには

組版用テキストデータ

① [テンプレート] 項目を用意

② [コマコード] 項目を用意

テンプレート	コマコード	No	台数マーク	台数	カテゴリー
カテゴリー1.idms	AQR-361B-S	32	無制限大.idms		355ℓ片開き4ドア冷蔵
	CN-SP720VL	39	限り.idms	展示品限り	ポータブルナビゲーション
	NW-F805	40	限り.idms	在庫限り	ウォークマンFシリーズ
	PIXUS MG3230	41	限り.idms	在庫・<000D>展示品限り	プリンタ複合機
	RUF2-JUF16G-BK	42	限り.idms	在庫限り	USBメモリ
カテゴリー2.idms	UX-310CL-W	43	先着.idms		5 デジタルコードレス<000D>
カテゴリー2.idms	RE-S26F-B	44	限り.idms	在庫・<000D>展示品限り	オープンレンジ
カテゴリー2.idms	NJ-E10J1-W	45	限り.idms	在庫・<000D>展示品限り	沸騰Hジャー炊飯器
カテゴリー2.idms	IZFV20-S	46	無制限.idms		メンズシェーバー

テンプレート

カテゴリー 1.idms

カテゴリー 2.idms



## 組版結果



複数の配置済みテンプレートが一度に自動組版されました  
(2ファイル作成)





# 第 3 章

## 組版設定の機能

組版設定がなくても自動組版は可能ですが、組版設定を作ると簡単な文字入力で、複雑な組版が可能になります。設定の種類、方法をマスターしましょう。



LinkCube

## 加工項目を作ろう

### より高度な自動組版ができる

加工項目設定がなくても自動組版は可能ですが、加工項目設定を作ると、文字の置換、条件による文字の付加、エクセル表組の罫線設定、索引登録など色々な事ができます。



#### 編集と複数選択

加工項目をダブルクリックしても編集画面が表示されます。

また、加工項目は、(Win) Ctrl キー / (Mac) command キー + クリック、Shift キー + クリックなどで複数選択できます。

### 加工が必要なデータ項目分だけ作る

1つの組版設定に対して、複数の加工項目を追加できます。組版設定をクリック選択すると、加工項目の追加、複製、編集、削除が行えます。

加工したい組版データ項目名を、そのまま加工項目名にします。例えば、組版データ項目名「価格」の値に三桁カンマを挿入したい、とします。その場合、加工項目名は「価格」となります。

組版データ項目名「通常価格」と「特別価格」に三桁カンマを挿入したい、とします。その場合、加工項目名を「通常価格」「特別価格」の2つを追加してもよいのですが、今回は加工内容（三桁カンマを挿入したい）が同じなので、「通常価格 | 特別価格」という加工項目名にすれば、1つの追加で済みます。「|」は、「または」という意味になります。

その他の加工項目名のルールとして、「\* 価格」とすれば、最後が「価格」で終わる項目名に一致します。「\*」はワイルドカードです。「\* 価格 | 説明 \*」のように「|」と同時に使う事もできます。

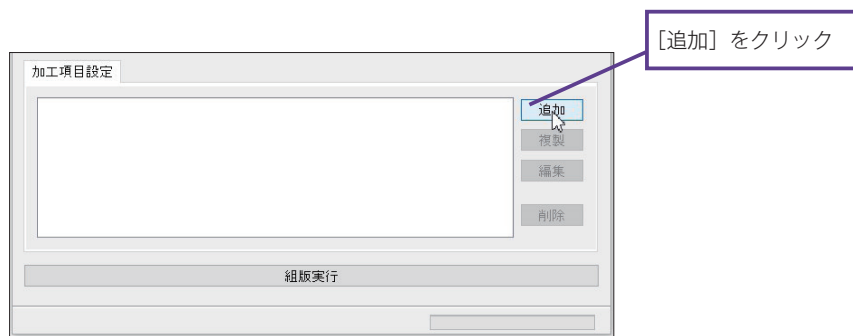
正規表現で一致させたい場合は、「<>」を使用します。例えば、「特別」で始まる4文字の項目名にマッチさせたい時は、「<^ 特別 ...>」とします。

ワイルドカードや正規表現を使用した加工項目を複数追加する場合、加工項目の順番に注意してください。使用する加工項目は、上から順に検索します。一致する加工項目名が見つければ、それ以降、検索しません。例えば、1番目に加工項目名「\*」があり、2番目に「\* 価格」がある場合、「\* 価格」の加工内容は処理されません。全ての項目名は、1番目の「\*」で一致するためです。

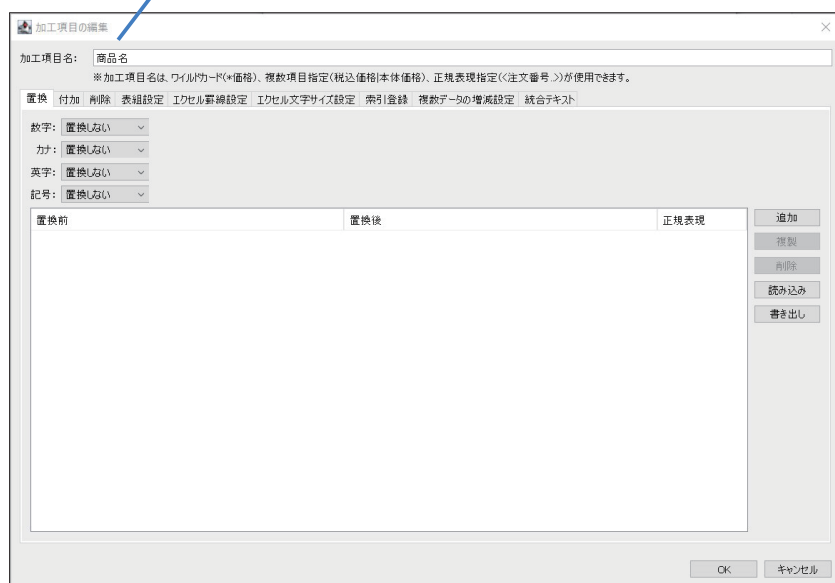
また、エクセルシートや csv、txt、tsv ファイルを表組配置する項目名で設定すると、表組の全セルに対して処理を行います。

例えば、加工項目名「価格表」として、処理内容を「三桁カンマを挿入する」にした場合、全セル文字の数字に、三桁カンマが挿入されます。（三桁カンマを挿入できると判定した場合）

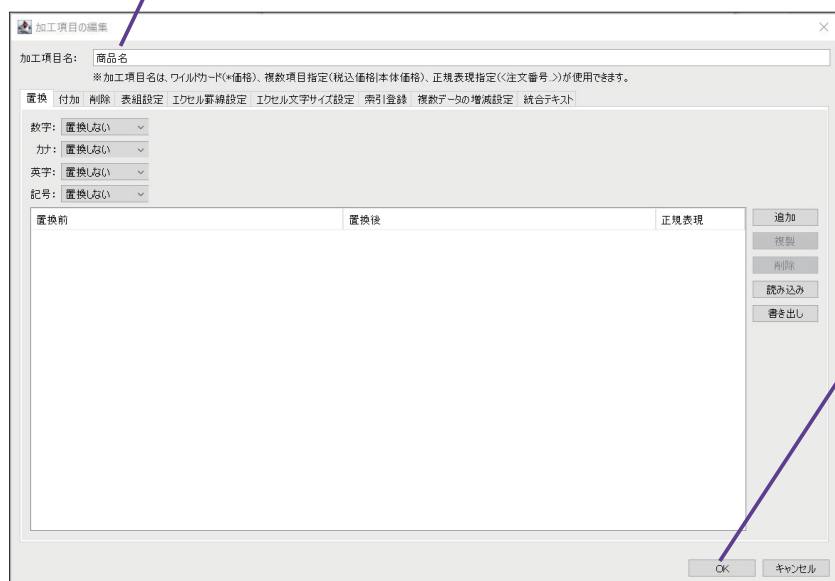
## 加工項目を追加するには



[加工項目の追加] 画面が表示されました



① 加工する項目名を入力



② [OK] をクリック

加工項目が追加されました

加工項目設定

商品名  
画像  
商品詳細

追加  
複製  
編集  
削除

組版実行

## 加工項目を複製するには

① 複製元にする加工項目を選択

② [複製] をクリック

加工項目設定

商品名  
画像  
商品詳細

追加  
複製  
編集  
削除

組版実行

[元の名前のコピー] 加工項目が複製されました

加工項目設定

商品名  
画像  
商品詳細  
商品名のコピー

追加  
複製  
編集  
削除

組版実行

## 加工項目を編集するには

① 編集する加工項目を選択

② [編集] をクリック

加工項目設定

商品名  
画像  
商品詳細  
商品名のコピー

追加  
複製  
編集  
削除

組版実行

「加工項目の編集」画面が表示されました

① 名前や設定を編集

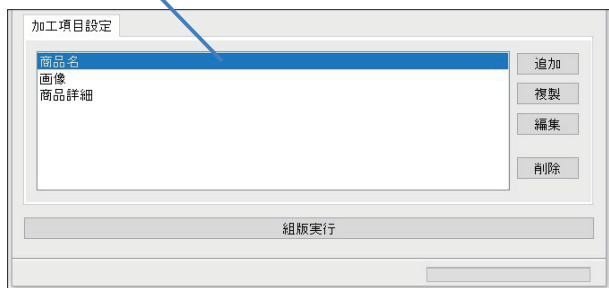
② [OK] をクリック

## 加工項目を削除するには

① 削除する加工項目を単一、または複数選択


② [削除] をクリック

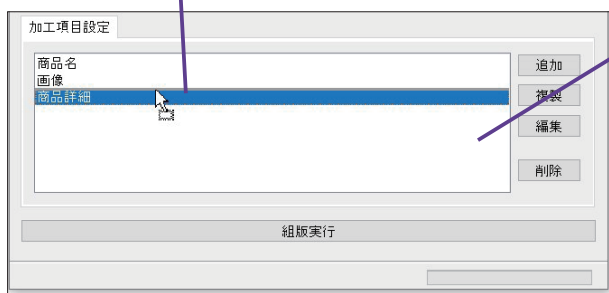
加工項目が削除されました



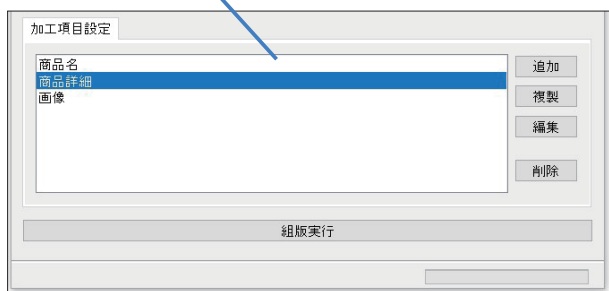
## 加工項目を並び変えるには

① 並び替えたい加工項目を  
単一、または複数選択

② マウスカースルがの状態  
で、ドラッグ&ドロップ



加工項目が並び替えられました



# 文字を置換しよう

## 単純置換や正規表現置換で文字を整形する

加工項目の置換設定で、組版データを置換して流し込む事ができます。

数字は半角・全角・漢数字に統一できます。カナ、英字、記号は半角・全角に統一できます。また、この文字をこの文字に、といった置換リストを登録できます。単純な文字の置換だけでなくインデザインタグに置換する事もできます。

指定文字の置換リストは、上から順番に置換処理します。1番目の置換処理結果を2番目の置換処理に、2番目の置換結果を3番目の…、と続きます。置換処理順で結果が変わる場合があるので、注意してください。また、指定文字の置換リストで、正規表現列にチェックを入れれば、正規表現の置換機能を使用する事ができます。正規表現の置換機能は、ルビや索引登録に利用できます。

例えば、モノルビの場合、組版データを

「リンクキューブはクラウド型 **{自動組版:じ どう くみ はん}** サービスです」 （※赤太字の文字は全角で入力）

と入力し、

置換前：**{(.+?):(.\*)}**

置換後：<ルビ:1><ルビ文字:\$2>\$1<ルビ:>

正規表現：チェックを入れる

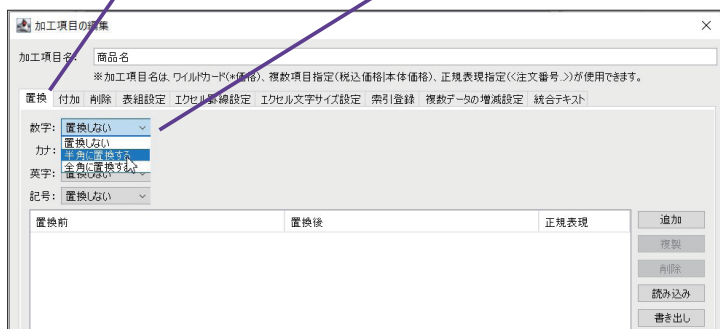
を置換リストに追加します。組版データに直接インデザインタグを入力する場合、置換リストは不要です。

索引登録の例は、セクション 34「索引登録をしよう」をご覧ください。

## 数字、カタカナ、英字、記号を置換するには

① [置換] をクリック

② [数字:] [カナ:] [英字:]  
[記号:] からいずれかを選択



## 置換リストを追加するには

加工項目の編集

加工項目名: 商品名

※加工項目名は、ワイルドカード(\*)価格、複数項目指定(税込価格|本体価格)、正規表現指定(<注文番号>)が使用できます。

置換 付加 削除 表組設定 エキセル罫線設定 エキセル文字サイズ設定 索引登録 複数データの増減設定 統合テキスト

数字: 置換しない  
カナ: 置換しない  
英字: 置換しない  
記号: 置換しない

置換前	置換後	正規表現
		<input type="checkbox"/>

追加  
複製  
削除  
読み込み  
書き出し

① [追加] をクリック

② 置換前、置換後をダブルクリックし、文字を入力

③ 正規表現を使用する場合はチェックを入れる

## 置換リストを複製するには

加工項目の編集

加工項目名: 価格

※加工項目名は、ワイルドカード(\*)価格、複数項目指定(税込価格|本体価格)、正規表現指定(<注文番号>)が使用できます。

置換 付加 削除 表組設定 エキセル罫線設定 エキセル文字サイズ設定 索引登録 複数データの増減設定 統合テキスト

数字: 置換しない  
カナ: 置換しない  
英字: 置換しない  
記号: 置換しない

置換前	置換後	正規表現
<?1>+	\$1<chHorizontalScale:0.999>\$2<chHorizontalScale:1.0>	<input checked="" type="checkbox"/>
<?1>+	\$1<chHorizontalScale:0.999>\$2<chHorizontalScale:1.0>	<input checked="" type="checkbox"/>

追加  
複製  
削除  
読み込み  
書き出し

① 複製元になる置換行をクリック

② [複製] をクリック

## 置換リストを編集するには

加工項目の編集

加工項目名: 価格

※加工項目名は、ワイルドカード(\*)価格、複数項目指定(税込価格|本体価格)、正規表現指定(<注文番号>)が使用できます。

置換 付加 削除 表組設定 エキセル罫線設定 エキセル文字サイズ設定 索引登録 複数データの増減設定 統合テキスト

数字: 置換しない  
カナ: 置換しない  
英字: 置換しない  
記号: 置換しない

置換前	置換後	正規表現
<?1>+	\$1<chHorizontalScale:0.999>\$2<chHorizontalScale:1.0>	<input checked="" type="checkbox"/>

追加  
複製  
削除  
読み込み  
書き出し

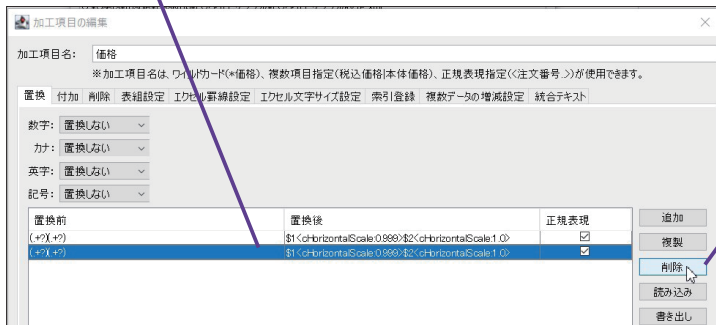
① 置換前、置換後をダブルクリックし、文字を入力

② 正規表現を使用する場合はチェックを入れる

## 置換リストを削除するには

① 削除する置換リストを単一または複数選択

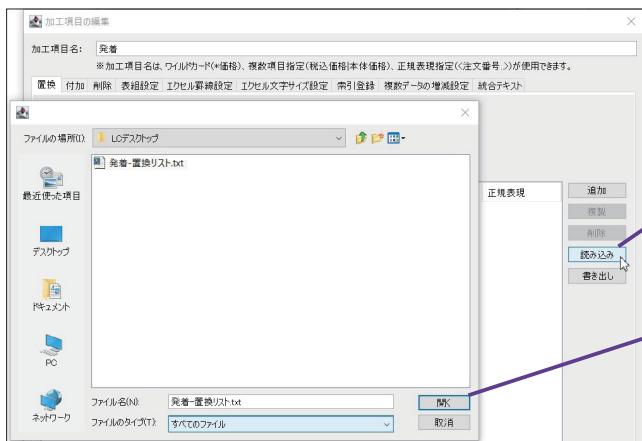
② [削除] をクリック



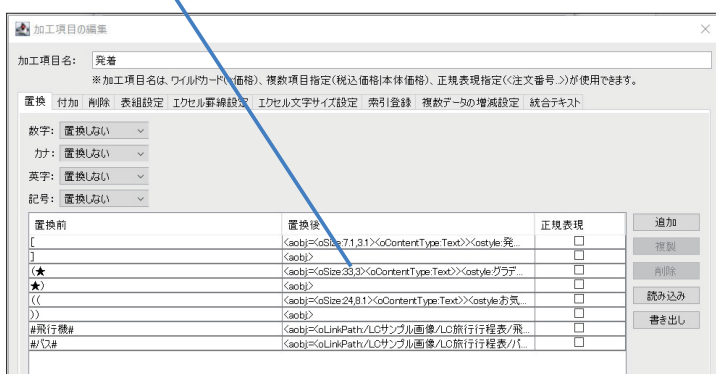
## 置換リストを読み込むには

① [読み込み] をクリック

② 読み込みたいファイルを選択し、[開く] をクリック



置換リストが読み込まれました



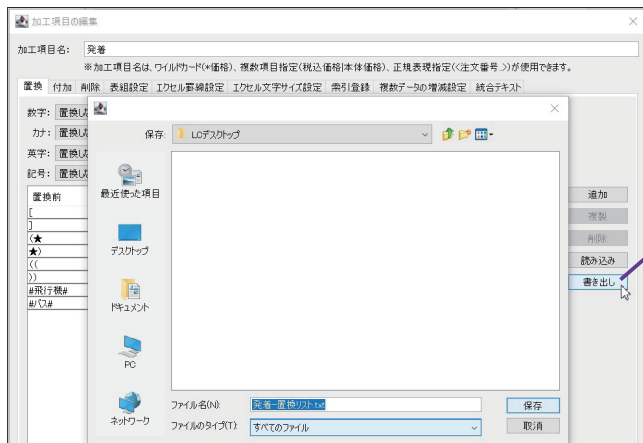
## 置換リストの読み込みと書き出し

置換リストの読み込みは、csv、txt、tsv ファイルに対応しています。文字コードや区切り文字は、セクション 2「組版用テキストデータを作ろう」と同様です。

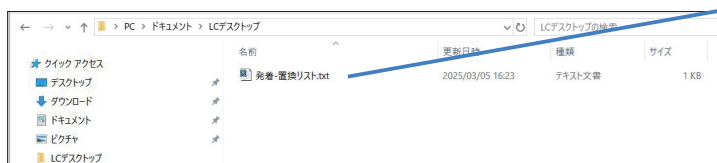
フォーマットは置換前、置換後、正規表現の順で、正規表現にチェックを入れる場合は、「true」と入力します。

置換リストにファイルをドラッグ＆ドロップしても読み込む事ができます。

## 置換リストを書き出すには




① [書き出し] をクリック

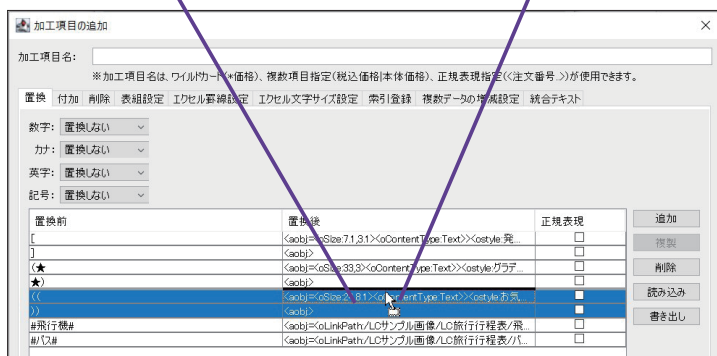


置換リストが書き出されました

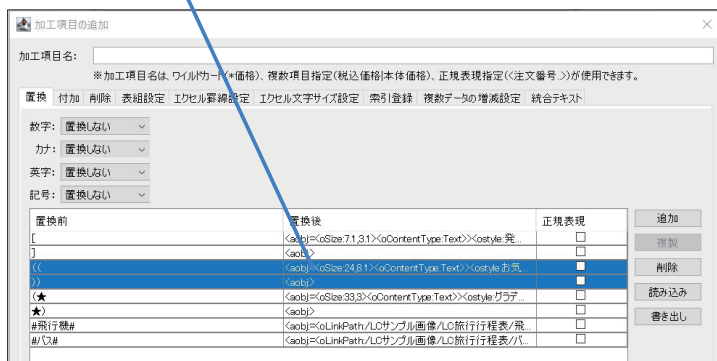
## 置換リストを並び変えるには

① 並び替えた置換リストを  
単一、または複数選択

② マウスカursorがの状態、  
ドラッグ&ドロップ



置換リストが並び替えられました



## 文字を付加しよう

### 単純付加やデータ条件で文字やインデザインタグを付加する

加工項目の付加設定で、組版データにない文字を付加して流し込む事ができます。三桁カンマを挿入したり、ファイル名にフォルダパスや拡張子を付加したり、条件が一致した場合、組版データの前後に、指定した文字やインデザインタグを付加できます。

三桁カンマにチェックを入れると、組版データに、三桁カンマを挿入できる数字がある場合、カンマを挿入します。

付加文字リストには、項目名、値、条件、前付加文字、後付加文字を設定できます。

項目名は、組版データの項目名です。入力しない場合、現在設定中の加工項目名となります。

値は、左列の項目名の値です。

条件は、左列の値に対しての条件です。条件として「で始まる」「で始まらない」「で終わる」「で終わらない」「と等しい」「と等しくない」「を含む」「を含まない」「条件なし」「文字数」「文字数以上」「文字数以下」「入力項目数」「入力項目数以上」「入力項目数以下」「正規表現マッチ」があります。

「条件なし」は、組版データに必ず前付加文字、後付加文字を付加します。項目名、値は無視します。

「条件なし」以外は、項目名、値、条件が一致した時、組版データに前付加文字、後付加文字を付加します。

「文字数」「文字数以上」「文字数以下」は、インデザインタグを除いた文字数です。また項目名はカンマ区切りで複数指定する事ができます。

例えば、姓と名の合計文字数が 7 文字の場合、文字サイズを 24 級にしたい、とします。

項目名は「姓, 名」、値は「7」、条件は「文字数」、続きは「なし」、前付加文字は「< フォントサイズ :24Q>」となります。

「入力項目数」「入力項目数以上」「入力項目数以下」は、項目名をカンマ区切りで複数指定する事ができます。項目名は「住所 1, 住所 2, 住所 3」、値は「2」、条件は「入力項目数」とすれば、住所 1, 住所 2 に入力（空文字ではない）がある時、住所 1, 住所 3 に入力がある時、住所 2, 住所 3 に入力がある時、文字を付加します。続きは、複数条件を設定するときを使用します。続きには、「かつ」「または」「なし」があります。続きが「なし」の行に、前付加文字、後付加文字を設定します。

例 1 :

項目名「価格」の組版時、項目名「価格区分」の値が「特別価格」の場合に、文字サイズを 24 級にしたい、とします。

その場合、加工項目名は「価格」、項目名は「価格区分」、値は「特別価格」、条件は「と等しい」、続きは「なし」、前付加文字は「< フォントサイズ :24Q>」となります。

例 2 :

項目名「価格」の組版時、項目名「価格区分」の値が「特別価格」の場合、かつ項目名「カラー」の値が「赤」の場合、文字サイズを 32 級にしたい、とします。

その場合、加工項目名は「価格」、項目名は「価格区分」、値は「特別価格」、条件は「と等しい」、続きは「かつ」、前付加文字、後付加文字は入力なし、追加ボタンで 1 行追加し、



#### 単純な付加文字はデータ付属

単純な文字を付加したい場合、例えば価格に「円」を付けるなどは、データ付属機能を使用し、テンプレートに「円」組版したほうがいいでしょう。（表組データの全セルに「円」を付ける場合は除く）この機能で付加する文字は、インデザインタグ、フォルダパスや拡張子、表組データのセル文字に対してなどが多くなるでしょう。

項目名は「カラー」、値は「赤」、条件は「と等しい」、続きは「なし」、前付加文字は「< フォントサイズ :32Q>」となります。

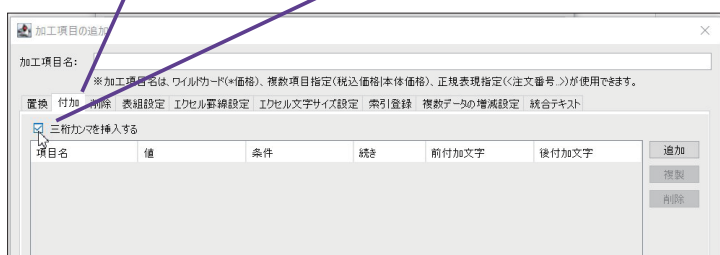
付加文字リストを複数登録する場合、順番に注意してください。付加文字リストは上から順に検索します。条件が一致すると、それ以降、検索しません。「条件なし」は、必ず一致と扱うので、付加文字リストの一番下に登録してください。

例えば、1番目に「条件なし」があり、2番目に「と等しい」がある場合、組版データが2番目の条件に一致しても、2番目の付加文字は処理されません。全て1番目の「条件なし」で一致するためです。

## 三桁カンマを挿入するには

① [付加] をクリック

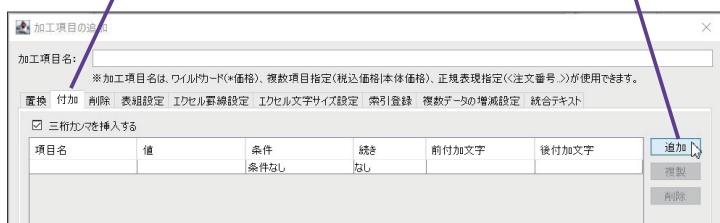
② [三桁カンマを挿入する] にチェックを入れる



## 付加文字リストを追加するには

① [追加] をクリック

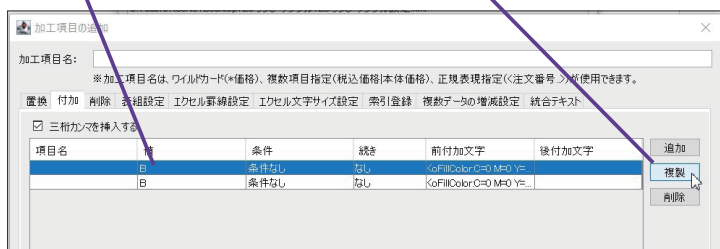
② 項目名、値、条件、前付加文字、後付加文字をダブルクリックし、文字を入力



## 付加文字リストを複製するには

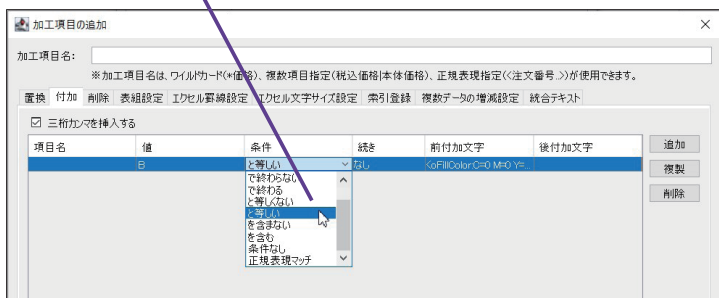
① 複製元になる付加文字行を単一選択

② [複製] をクリック



## 付加文字リストを編集するには

① 項目名、値、条件、前付加文字、後付加文字をダブルクリックし、文字を入力



## 付加文字リストを削除するには


① 削除する付加文字リストを単一または複数選択

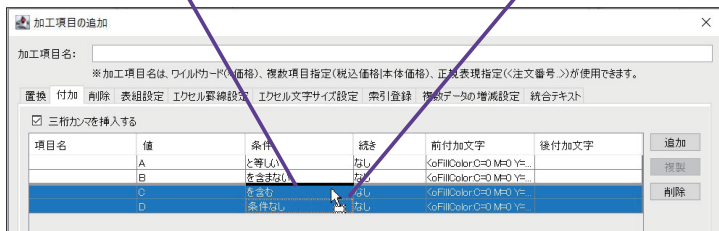
② [削除] をクリック



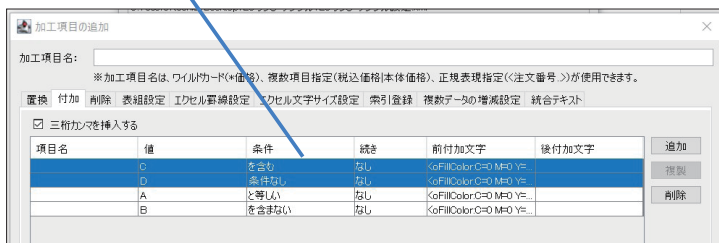
## 付加文字リストを並び変えるには

① 並び替えたい付加文字リストを単一、または複数選択

② マウスカースルがの状態  
で、ドラッグ&ドロップ



付加文字リストが並び替えられました



# 項目データが空の時、画像フレームを削除しよう

## 設定で画像フレームを削除する

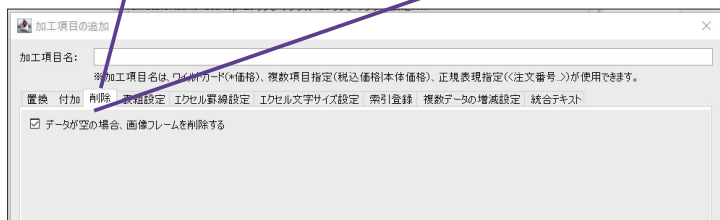
加工項目の削除設定で、データが空の場合、画像フレームを削除する事ができます。

「データが空の場合、画像フレームを削除する」にチェックを入れると、画像フレームを削除します。同様の事は、セクション 17「項目データが空の時、関連する文字やオブジェクトを削除しよう」でも可能ですが、画像フレーム項目が多い場合、オブジェクトスタイル「データ付属／項目名」で行うより、加工設定名にワイルドカードを使用すると、簡単な場合があります。

## データが空の時、画像フレームを削除するには

① [削除] をクリック

② [データが空の場合、画像フレームを削除する] にチェックを入れる



# 表組の設定をしよう

## 表の幅や組版領域を変更する

加工項目の表組設定で、表の幅やエクセルシート配置時の領域を設定することができます。

表の幅は、「表幅を成り行きにする」「テンプレートの表幅に合わせる」を選択できます。表幅を「テンプレートの表幅に合わせる」とした場合、テンプレートの列数と表組データの列数が異なっても、常にテンプレートの表幅に合わせて組版します。「表幅を成り行きにする」とした場合、表組データの列数に応じて、表の幅が変化します。

エクセル組版領域は、「自動」「印刷領域」を選択できます。「自動」は、セルに値が入力されているか、罫線があるセル範囲を組版します。「印刷領域」は、エクセルシートに設定してある印刷領域を組版します。

## 表の幅を設定するには

① [表組設定] をクリック

② [表の幅] を選択

## エクセルシートの組版領域を設定するには

① [エクセル組版領域] で自動、または印刷領域を選択

# 表組の列設定をしよう

## 列幅の詳細設定をする

加工項目の表組設定で、列幅を設定することができます。列幅は、「エクセルの列幅を使用する」「テンプレートの列幅を使用する」を選択できます。

「エクセルの列幅を使用する」とした場合、エクセル列幅の近似値です。前セクション、表の幅が「テンプレートの表幅に合わせる」となっていれば、近似値計算後の表幅に対する割合になります。表組データがcsv、txt、tsv ファイルの場合は、テンプレートの列幅を使用します。

「テンプレートの列幅を使用する」とした場合、InDesign テンプレートの列幅を使用します。テンプレート列数と表組データ列数が異なる場合は、「列数可変時、□列目を増減する」で指定した列を増減します。未入力の場合は、最終列を増減します。

前セクション、表の幅が「テンプレートの表幅に合わせる」の場合、テンプレート列数と表組データ列数が異なると、各列幅は割合となりますが、列番号を指定して元の列幅を維持する事ができます。「最初の□列分を列幅固定する」「最後の□列分を列幅固定する」「指定列□を列幅固定する」で設定します。

指定列は、カンマ区切りで入力します。1,3 と入力すると、1 列目と 3 列目が、元の列幅を維持します。



### 表組データで列幅を指定

セル文字内に、インデザインタグで列幅を指定する事もできます。

例えば、冗長タグで列幅 80mm にする場合、  
<tColAttrWidth:80mm> セル文字  
と入力します。

## 列幅を設定するには

### ① [列の幅] を選択

## テンプレートで増減する列を指定するには

- ① [列数可変時、☐列目を増減する]で増減する列番号を入力

加工項目の追加

加工項目名: 価格表

※加工項目名は、ワイルドカード(\*)価格、複数項目指定(税込価格|本体価格)、正規表現指定(<注文番号>)が使用できます。

置換 付加 削除 表組設定 エクセル罫線設定 エクセル文字サイズ設定 索引登録 複数データの増減設定 統合テキスト

表の設定

表の幅: テンプレートの表幅に合わせる

エクセル組版領域: 自動

列の設定

列の幅: エクセルの列幅を使用する

列数可変時、☒ 列目を増減する

最初の 1 列分を列幅固定する

最後の 3 列分を列幅固定する

指定列 3 を列幅固定する

行の設定

行の高さ: テンプレートの行の高さを使用する

行数可変時、☐ 行目を増減する

## 列幅を固定するには

- ① [最初の☐列分を列幅固定する]  
[最後の☐列分を列幅固定する]  
[指定列☐を列幅固定する] などを入力

加工項目の追加

加工項目名: 価格表

※加工項目名は、ワイルドカード(\*)価格、複数項目指定(税込価格|本体価格)、正規表現指定(<注文番号>)が使用できます。

置換 付加 削除 表組設定 エクセル罫線設定 エクセル文字サイズ設定 索引登録 複数データの増減設定 統合テキスト

表の設定

表の幅: テンプレートの表幅に合わせる

エクセル組版領域: 自動

列の設定

列の幅: エクセルの列幅を使用する

列数可変時、☒ 列目を増減する

最初の 1 列分を列幅固定する

最後の 3 列分を列幅固定する

指定列 3 を列幅固定する

行の設定

行の高さ: テンプレートの行の高さを使用する

行数可変時、☐ 行目を増減する

# 表組の行設定をしよう

## 行の高さの詳細設定をする

加工項目の表組設定で、行の高さを設定することができます。行の高さは、「エクセルの行の高さを使用する」「テンプレートの行の高さを使用する」を選択できます。

「エクセルの行の高さを使用する」とした場合、エクセルの「セルの書式設定、配置タブ、折り返して全体を表示する」にチェックが入っていると、InDesign で行の高さは「最小限度」になります。「折り返して全体を表示する」チェックがない場合は、InDesign で行の高さは「指定値を使用」になり、値はエクセル行の高さの近似値です。表組データが csv、txt、tsv ファイルの場合は、テンプレートの行の高さを使用します。

「テンプレートの行の高さを使用する」とした場合、InDesign テンプレートの行の高さを使用します。テンプレート行数と表組データ行数が異なる場合は、「行数可変時、□行目を増減する」で指定した行を増減します。未入力の場合は、最終行を増減します。



### 表組データで行の高さを指定

セル文字内に、インデサインタグで行の高さを指定する事もできます。

例えば、冗長タグで最小限度値 2mm、最大限度 20mm にする場合、

<tRowAutoGrow:1><tRowAttrMinRowSize:2mm><tRowAttrMaxRowSize:20mm> セル文字

と入力します。

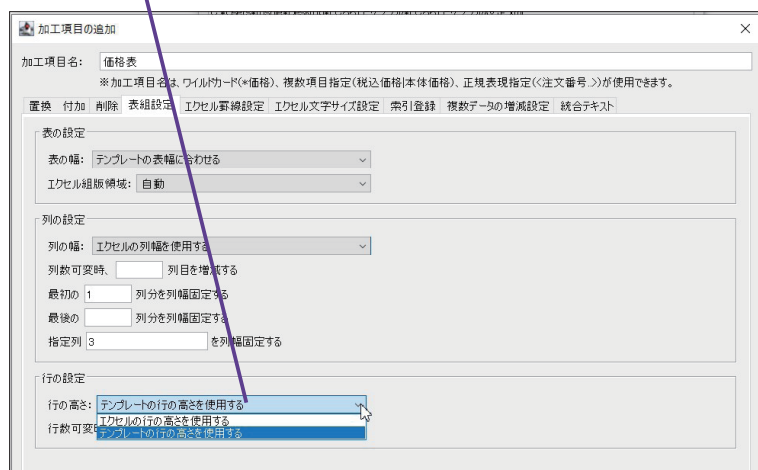
指定値を使用し、行の高さを 10mm にする場合、

<tRowAutoGrow:0><tRowAttrHeight:10mm> セル文字

と入力します。

## 行の高さを設定するには

### ① [行の高さ] を選択



## テンプレートで増減する行を指定するには

① [行数可変時、□行目を増減する]  
で増減する行番号を入力

加工項目の追加

加工項目名:

※加工項目名は、ワイルドカード(\*)価格、複数項目指定(税込価格|本体価格)、正規表現指定(<<注文番号>>)が使用できます。

置換 付加 削除 表組設定 エキセル罫線設定 エキセル文字サイズ設定 索引登録 複数データの増減設定 統合テキスト

表の設定

表の幅:

エクセル組版領域:

列の設定

列の幅:

行数可変時、☐ 列目を増減する

最初の  列分を列幅固定する

最後の  列分を列幅固定する

指定列  を列幅固定する

行の設定

行の高さ:

行数可変時、☒ 行目を増減する

# エクセル罫線の変換設定をしよう

## エクセル罫線を、指定した InDesign 罫線に変換できる

加工項目のエクセル罫線設定で、エクセルの各罫線を、InDesign の線種、線幅、スウォッチ名を指定して変換する事ができます。インデザイン線種は、18 種類から選択します。インデザイン線幅は mm 単位で入力します。スウォッチ名は、必須ではありません。入力しなければ、RGB 色から CMYK に変換したスウォッチを適用します。スウォッチ名を入力した罫線は、入力したスウォッチを適用します。



### インデザインタグでセル罫線

セル文字内に、インデザインタグで罫線を指定する事もできます。

例えば、冗長タグで上の罫線色を指定する場合、  
<tCellTopStrokeColor:C=100 M=0 Y=0 K=0> セル文字  
と入力します。

## エクセル罫線を変換するには

① [エクセル罫線設定] をクリック

② 各エクセル罫線に対して [インデザイン線種] を選択

③ [インデザイン線幅 (mm)]、必要なら [インデザインスウォッチ名] を入力

加工項目名: 価格表  
※加工項目名は、ロイヤルカード(+価格)、複数項目指定(税込価格|本体価格)、正規表現指定(<注文番号>)が使用できます。

置換 付加 削除 表組設定 エクセル罫線設定 エクセル文字サイズ設定 索引登録 複数データの増減設定 統合テキスト

エクセル罫線	インデザイン線種	インデザイン線幅 (mm)	インデザインスウォッチ名
なし	パタ	0.0	
.....	点線 (3 & 2)	0.1	
-----	点線 (4 & 4)	0.1	
- - - - -	点線 (4 & 4)	0.1	
- . - . -	点線 (4 & 4)	0.1	
-----	点線 (3 & 2)	0.1	
-----	パタ	0.1	
- - - - -	点線 (4 & 4)	0.25	
- . - . -	点線 (4 & 4)	0.25	
- - - - -	点線 (4 & 4)	0.25	
- . - . -	点線 (4 & 4)	0.25	
-----	パタ	0.25	C=0 M=100 Y=0 K=0
-----	パタ	0.5	
=====	二重線	0.1	

OK キャンセル

# エクセル文字サイズの変換設定をしよう

## エクセル文字サイズを、指定文字サイズに変換できる

加工項目のエクセル文字サイズ設定で、エクセルの文字サイズをインデザインの文字サイズに変換する事ができます。エクセルの文字サイズは、範囲で指定する事もできます。インデザイン文字サイズは単位を付けて指定できます。単位がない場合は、ポイントになります。

例えば、エクセルの文字サイズ 8 ～ 12 を、インデザインの文字サイズ 10 級にする場合は、エクセル文字サイズの入力は「8-12」、インデザイン文字サイズの入力は「10Q」とします。

この変換設定を使用せず、セクション 18「表組を組版しよう（エクセルファイル）」のテンプレート文字スタイルで変換する事も可能ですが、多くの文字サイズがあると、文字スタイルも多くなります。この変換設定で統一できる文字サイズがある場合には、テンプレート作成の作業効率が上がります。

## 💡 エクセル文字サイズ変換方法は3つ

1 つめは、文字スタイルで設定する方法です。

2 つめは、この設定です。

3 つめは、インデザインタグです。

例：<フォントサイズ:8Q>

## エクセル文字サイズ変換を追加するには

① [エクセル文字サイズ設定] をクリック

③ [エクセル文字サイズ] [インデザイン文字サイズ] をダブルクリックし入力

② [追加] をクリック

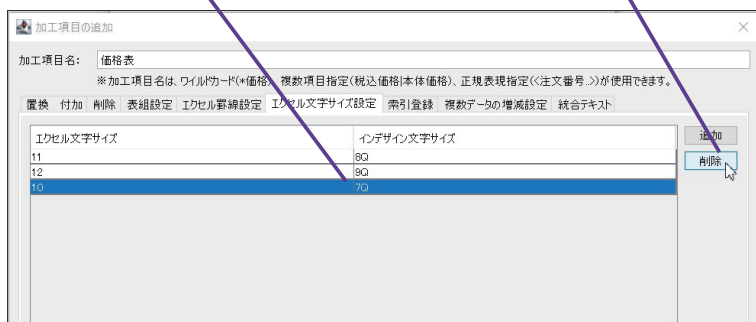
## エクセル文字サイズ変換を編集するには

① [エクセル文字サイズ] [インデザイン文字サイズ] をダブルクリックし入力

## エクセル文字サイズ変換を削除するには

① エクセル文字サイズ変換リストを単一または複数選択

② [削除] をクリック



# 索引登録をしよう

## 索引の項目名や読みを登録できる

加工項目の索引登録設定で、索引を登録できます。索引項目を作成するにチェックを入れれば、現在設定中の加工項目名データ値が、索引として登録されます。索引の登録位置は、流し込む文字の先頭です。

索引項目名は、現在設定中の加工項目名以外に、索引として登録したい組版データ項目名がある場合に、入力します。

読み項目名は、索引読みとして登録したい組版データ項目名がある場合に、入力します。（読みがない場合、InDesign は索引項目でソートします）

索引登録は、この設定を使用せず、インデザインタグで登録する事もできます。

例えば、マニュアルなど文章の途中で、索引登録部分がある場合は、「リンクキューブはクラウド型 **自動組版 # じどうくみはん** サービスです」

と入力し、（※赤太字の文字は全角で入力）

セクション 26「文字を置換しよう」置換リストで、

置換前： **{(.+?) # (.\*)}**

置換後： <IndexEntry:=<IndexEntryType:IndexPageEntry><IndexEntryRangeType:kCurrentPage><IndexEntryDisplayString:\$1><IndexEntrySortString:\$2>>\$1

正規表現：チェックを入れる

とすれば、「索引項目：自動組版、読み：じどうくみはん」として InDesign の索引パネルに登録されます。

組版データに直接インデザインタグを入力する場合、置換リストは不要です。



### インデザインタグで索引登録

冗長タグ形式では

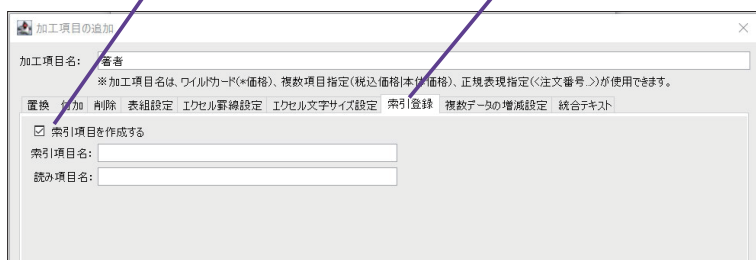
```
<IndexEntry:=<IndexEntryType:IndexPageEntry><IndexEntryRangeType:kCurrentPage><IndexEntryDisplayString: 索 引 項 目><IndexEntrySortString: 索 引 読 み>>
```

と入力します。

## 索引を作成するには

② [索引項目を作成する]にチェックを入れる

① [索引登録] をクリック



## 索引項目名を設定するには

- ① [索引項目名] に組版データ項目名を入力

加工項目の追加

加工項目名: 著者

※加工項目名は、ワイルドカード(\*)価格)、複数項目指定(税込価格|本体価格)、正規表現指定(<注文番号>)が使用できます。

置換 付加 削除 表組設定 エクセル罫線設定 エクセル文字サイズ設定 索引登録 複数データの増減設定 統合テキスト

☒ 索引項目を作成する

索引項目名: 著者

読み項目名:

## 索引読み項目名を設定するには

- ① [読み項目名] に組版データ項目名を入力

加工項目の追加

加工項目名: 著者

※加工項目名は、ワイルドカード(\*)価格)、複数項目指定(税込価格|本体価格)、正規表現指定(<注文番号>)が使用できます。

置換 付加 削除 表組設定 エクセル罫線設定 エクセル文字サイズ設定 索引登録 複数データの増減設定 統合テキスト

☒ 索引項目を作成する

索引項目名: 著者

読み項目名: 著者読み

## 複数行データのまとめ設定をしよう

### 複数行データのレイアウトを変える

加工項目の複数データの増減設定で、画像フレームを増減させたり、セクション 21「複数データ行を表組にしよう（増減行）」の表組セルを、次の行と結合する事ができます。この設定は「コマコード」を使用した組版に影響します。「コマコード」については、セクション 21「複数データ行を表組にしよう（増減行）」をご覧ください。

「画像フレームを増減する」にチェックを入れると、画像フレームの数が、同一コマコード行数と同じになります。例えば、テンプレートに、オブジェクトスタイル「データ接続／商品画像」が適用されているフレームが1つあるとします。

加工項目名：商品画像の設定で、「画像フレームを増減する」にチェックを入れます。

同じコマコードのデータ3行を組版すると、商品画像フレームを増やして3つにします。テンプレートに商品画像フレームが3つあり、同じコマコードのデータが1行だと、商品画像フレームを減らして1つにします。「データ値が同じ場合、次行のセルと結合する」にチェックを入れると、「複数データ行を表組にしよう（増減行）」で作成した表組のセル結合を行います。セル結合の条件は、同じ値が入力されている場合です。例えば、1つのセルに、「発送数」「発送単位」の2項目データを流し込んでいる場合、次行セルと、2項目データ値が同じで、「発送数」「発送単位」加工項目に「データ値が同じ場合、次行のセルと結合する」にチェックが入っていれば、結合します。



**最後の画像フレームが増減する**

増減する画像フレームは、左上の位置が、左→右→下の順でソートした最後のフレームになります。増える場合、右下方向に重ねます。

### 画像フレームを増減させるには

② [画像フレームを増減する] にチェックを入れる

① [複数データの増減設定] をクリック



## 表の増減行機能で、同じ値をセル結合するには

- ① [データ値が同じ場合、次行のセルと結合する] にチェックを入れる

加工項目の追加

加工項目名: 価格表

※加工項目名は、ワイルドカード(\*)価格、複数項目指定(税込価格/本体価格)、正規表現指定(<<注文番号>>)が使用できます。

置換 付加 削除 表組設定 エクセル罫線設定 エクセル文字サイズ設定 索引登録 複数データの増減設定 結合テキスト

画像フレーム

☐ 画像フレームを増減する

表の増減行

☒ データ値が同じ場合、次行のセルと結合する

## 統合テキストの設定をしよう

### 統合テキストのレイアウトを変える

加工項目の統合テキスト設定で、統合テキストのレイアウトを変更することができます。統合テキストについては、セクション 23「複数データ行をまとめ組版しよう（統合テキスト）」をご覧ください。

「連結可能な場合、連結する」にチェックを入れると統合テキスト内で連結します。

「連結文字」を入力すると、連結時、入力した文字を間に入れます。

例えば、統合テキストの結果が、

●伊藤園

お〜いお茶

健康ミネラルむぎ茶

●サントリー

烏龍茶

とします。加工項目名:商品名（※お〜いお茶、烏龍茶など）の設定で「連結可能な場合、連結する」にチェックを入れ、「連結文字」に・（中黒）を入力すると、結果は

●伊藤園

お〜いお茶・健康ミネラルむぎ茶

●サントリー

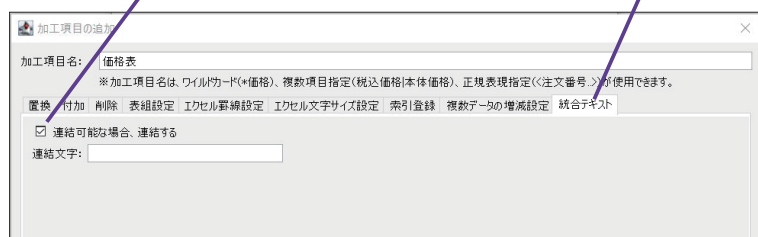
烏龍茶

となります。連結するのは、隣接した商品名だけです。烏龍茶も商品名ですが、サントリーが間にあるので連結しません。

### 統合テキストを連結するには

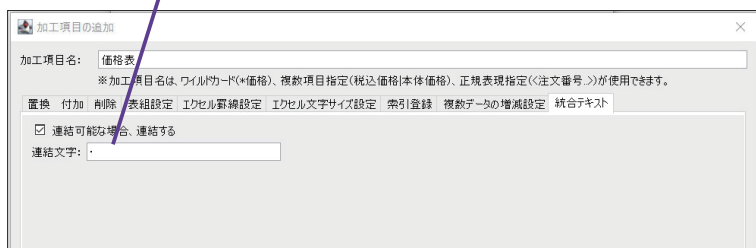
② 「連結可能な場合、連結する」にチェックを入れる

① 「統合テキスト」をクリック



## 連結文字を設定するには

① [連結文字] を入力



加工項目の追加

加工項目名: 価格表

※加工項目名は、ワイルドカード(\*)価格、複数項目指定(税込価格|本体価格)、正規表現指定(<注文番号>)が使用できます。

置換 付加 削除 表組設定 エクセル範囲設定 エクセル文字サイズ設定 索引登録 複数データの増減設定 統合テキスト

☒ 連結可能な場合、連結する

連結文字:

# データ条件でテンプレートを切り替えよう

## データ条件によってテンプレートを切り替える

テンプレートを切り替えるには、組版データにテンプレート項目（増減テキストテンプレート、増減行テンプレート含む）を作成し切り替える方法がありますが、データ条件によって切り替えることもできます。データ条件の切り替え方法と、組版データにテンプレート項目を作成する方法が混在していても構いません。その場合、組版データのテンプレート項目が優先されます。

条件テンプレート設定のリストには、項目名、値、条件、続き、テンプレート種別、テンプレート名を設定します。項目名は、組版データの項目名です。

値は、条件が「で始まる」「で始まらない」「で終わる」「で終わらない」「と等しい」「と等しくない」「を含む」「を含まない」「正規表現マッチ」の場合、左列の項目名の値を入力します。条件が「行ごと反復」「行目」の場合、整数を入力します。条件が「値が変化」の場合、未入力（入力があっても無視）となります。

条件の「値が変化」は、項目名で指定した項目値が変化したときのみ、テンプレートが切り替わります。

続きは、「かつ」「または」「なし」があります。「かつ」「または」は選択した場合、次行でさらに条件を追加します。「なし」までが1つの条件となります。

テンプレート種別は、テンプレート、増減テキストテンプレート、増減行テンプレートを選択します。

テンプレートは、切り替えるテンプレートを選択します。選択できるのはテンプレートフォルダにあるテンプレートファイルです。

条件テンプレート設定のリストを複数登録する場合、順番に注意してください。リストは上から順に検索します。条件が一致すると、それ以降、検索しません。

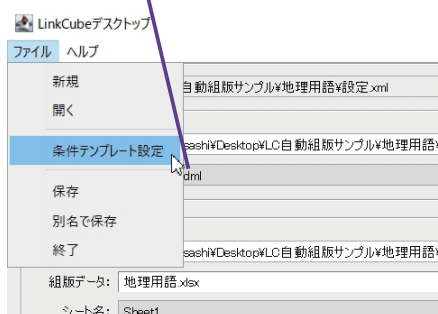
例えばデータ項目に大分類、中分類、小分類がありそれぞれ値が変わったときのみ、大分類用増減行テンプレート、中分類用増減行テンプレート、小分類用増減行テンプレートを切り替えたいとします。

データで大分類と中分類が同時に値が変わった場合、条件テンプレートリストの最初が中分類の設定だと正しい組版になりません。（中分類のテンプレートを使用し、大分類のテンプレートにならない）

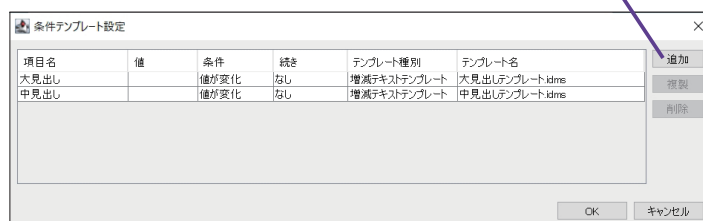
条件テンプレートリストの順番を、大分類、中分類、小分類とすることで正しくテンプレートが切り替わります。

## 条件テンプレートリストを追加するには

① ファイルメニュー、[ 条件テンプレート設定 ] をクリック



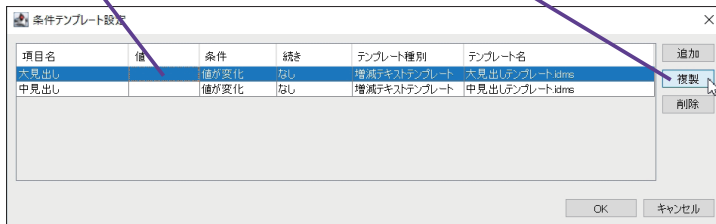
② [ 追加 ] をクリック



## 条件テンプレートリストを複製するには

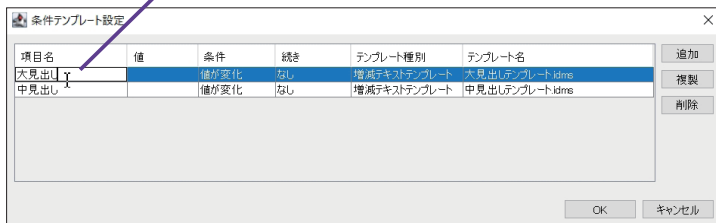
①複製元になる行を単一選択

② [複製] をクリック



## 条件テンプレートリストを編集するには

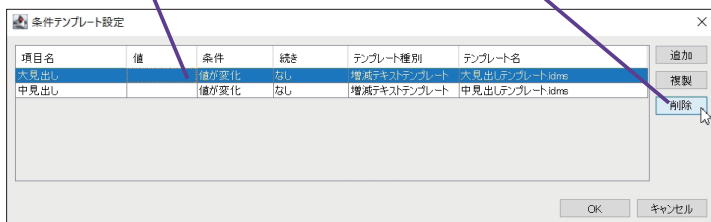
①項目名、値はダブルクリックし、文字を入力。その他はクリックで選択



## 条件テンプレートリストを削除するには


①削除するリストを単一または複数選択

② [削除] をクリック



## 条件テンプレートリストを並び変えるには

①並び替えたいリストを単一、または複数選択

②マウスカーソルがの状態  
で、ドラッグ&ドロップ

